

令和7年度 小山町民意識調査(アンケート) 報告書

令和7年 11月

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
Ⅰ 基本的事項	2
問1 あなたの性別は.....	2
問2 あなたの年齢は.....	2
問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか.....	2
問4 あなたには子どもはいますか。(別居を含む)	3
(問4で「子どもがいる」を選んだ方)子どもの人数.....	3
問5 あなたは今後も小山町に住み続けたいと思いますか.....	4
問6 あなたは町の政策全体についてどの程度満足していますか.....	7
Ⅱ 町の政策全般について	10
問7 あなたが普段、小山町の暮らしについて感じていることについてお聞きます.....	10
(1)災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	13
(2)災害に対して自ら策を講じている	15
(3)消防・救護体制が整っている	17
(4)交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる	19
(5)消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	21
(6)安心して子どもを生み育てられる環境が整っている	23
(7)高齢者が自立していきいきと暮らしている	25
(8)町民が地域で互いに支えあって暮らしている	27
(9)障がいのある人が社会参加し、自立している	29
(10)町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる	31
(11)必要な時に適切な医療が受けられる	33
(12)人権が尊重され、差別のないまちである	35
(13)普段の生活の中で、男女が平等である	37
(14)子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている	39
(15)次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	41
(16)生涯学習活動の機会や場が充実している	43
(17)町民が伝統文化や郷土を大切にしている	45
(18)音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある	47
(19)町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	49
(20)イベント等の異文化交流が活発に行われている	51
(21)小山町は企業誘致を活発に進めている	53
(22)買い物に不便がないと感じる	55
(23)小山町が観光客でにぎわっている	57
(24)普段から地元の農作物を食べようと心がけている	59
(25)樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている	61
(26)町内の自然環境が適切に保全されている	63
(27)清らかで豊かな水資源が守られている	65
(28)小山町は環境にやさしい設備や機器の導入など地球温暖化対策に取り組んでいる	67
(29)普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる	69
(30)公共交通が必要な時に利用できる	71
(31)安全な水道水が安定供給されている	73
(32)汚水下水が適切に処理されている	75
(33)安全に通行できる道路が整備されている	77
(34)利便性が高い道路網が整備されている	79

(35)小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている	81
(36)富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている	83
(37)小山町には愛着・親しみを持てる公園・緑地がある	85
(38)住んでいる地域に良好な住環境が整っている	87
(39)町職員の窓口対応及び各種対応に満足している	89
(40)小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている	91
(41)無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	93
(42)小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる	95
(43)町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある	97
(44)町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している	99
(45)町からの必要な情報が適切に伝わっている	101
満足度・取組度のまとめ	103
地区別結果のまとめ	105
年齢別結果のまとめ	108
Ⅲ 自由意見	111
自由意見一覧	111
自由意見の分析	114

1.調査概要

■ 調査の目的

町では、小山町総合計画の進捗状況を検証するとともに、町民の意向を町の施策に反映するために「小山町町民意識調査」(町民アンケート)を毎年実施しています。

今年度は、「第5次小山町総合計画 後期基本計画」の策定を進めるため、まちづくりの主体である町民の意見を調査し、後期基本計画の推進にあたり必要となる指標の現状値等を把握することを目的として実施しました。

■ 対象、方法、期間

(調査対象)

町内在住の16歳以上の男女

(調査期間)

令和7(2025)年7月1日～7月31日

(調査方法)

郵送にて調査票を配布、郵送またはWEB回答による回収

(配布票数)

1500票(層化2段無作為抽出法を用い、町内5地区よりバランスよく無作為抽出)

(回収結果)

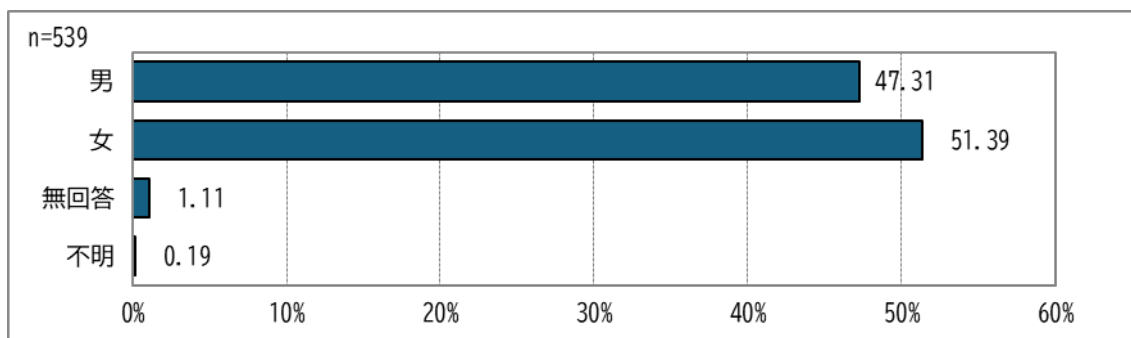
539票(回収率 35.9%) <参考:昨年度回収率 33%>

2.調査結果

I 基本的事項

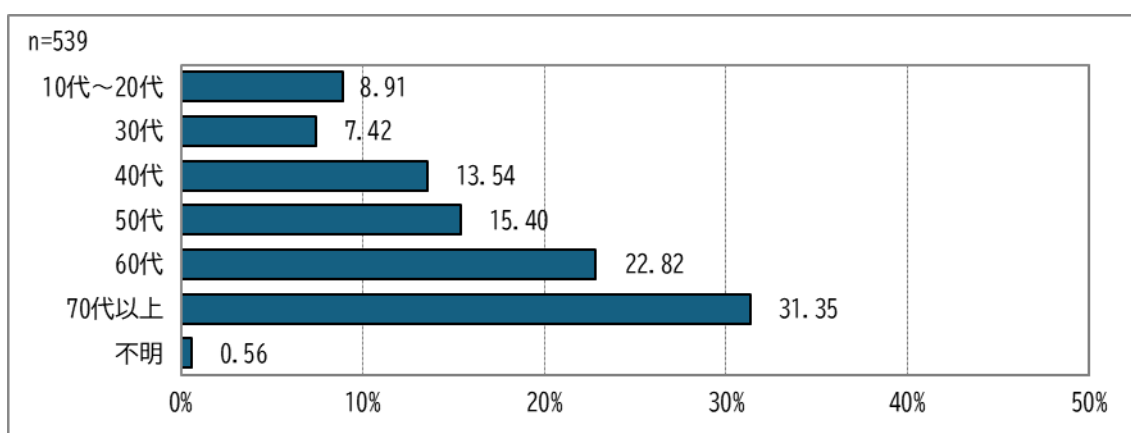
問1 あなたの性別は。

「男性」が47.31%、「女性」が51.39%となっています。



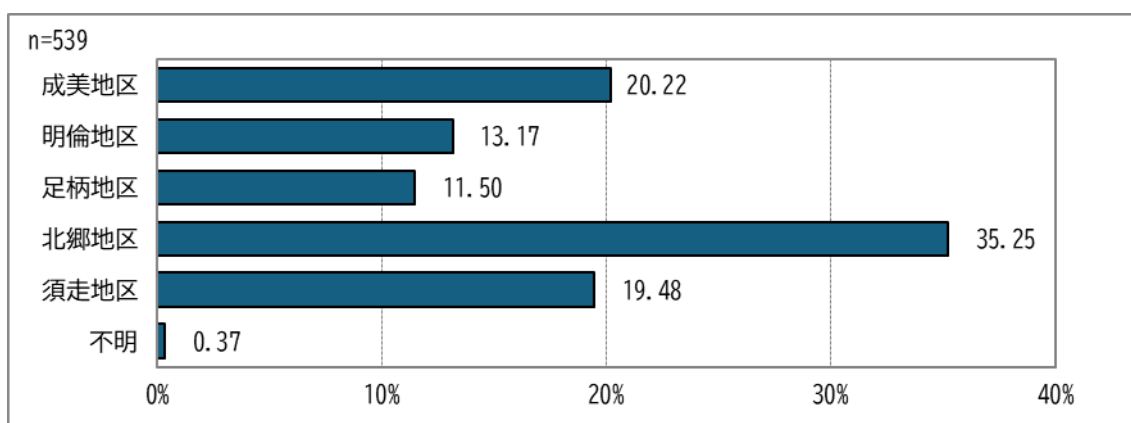
問2 あなたの年齢は。

「70代以上」が31.35%と最も高く、次いで「60代」が22.82%、「50代」が15.40%となっています。



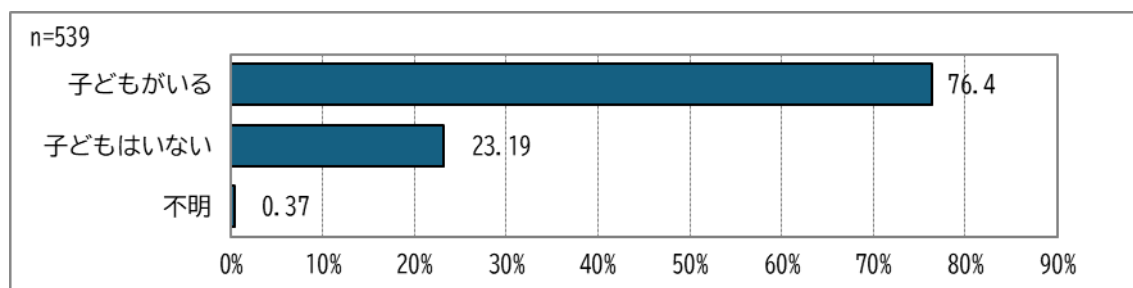
問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。

「北郷地区」が35.25%と最も高く、次いで「成美地区」が20.22%、「須走地区」が19.48%となっています。



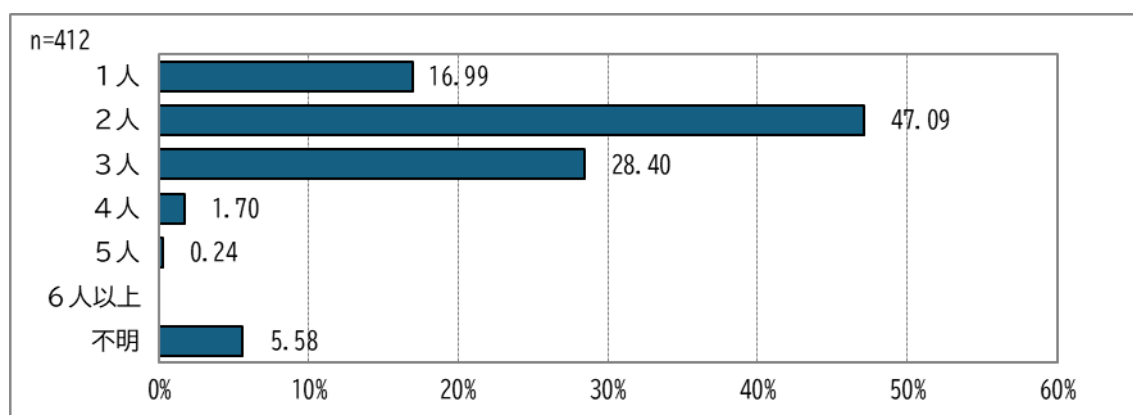
問4 あなたには子どもはいますか。(別居を含む)

「子どもがいる」が76.44%、「子どもはいない」が23.19%となっています。



(問4で「子どもがいる」を選んだ方)子どもの人数

「2人」が47.09%と最も高く、次いで「3人」が28.40%、「1人」が16.99%となっています。



問5 あなたは今後も小山町に住み続けたいと思いますか。

今回の調査で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した町民の割合を、“今後も小山町に住み続けたい”という定住意向のある人としています。

定住意向のある人の割合:74.8%

※小数点第二位以下は四捨五入

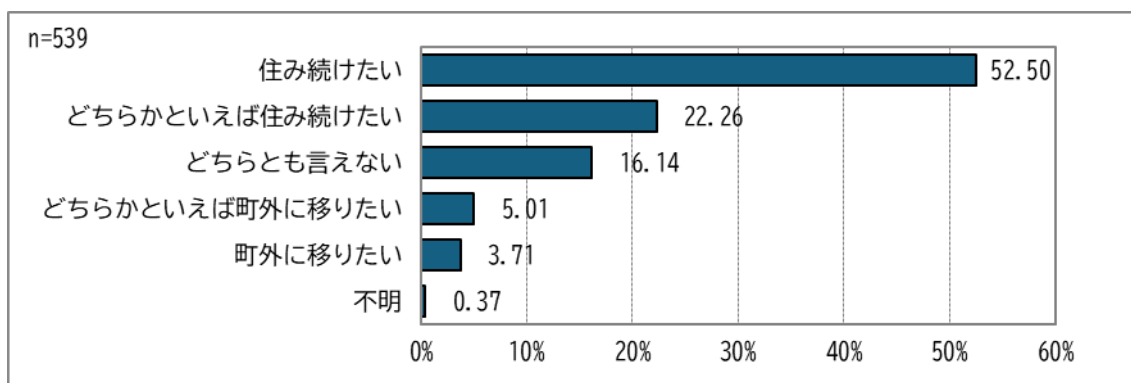
【全体結果】

「住み続けたい」が52.50%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が22.26%、「どちらとも言えない」が16.14%となっています。定住意向については74.76%と高くなっています。

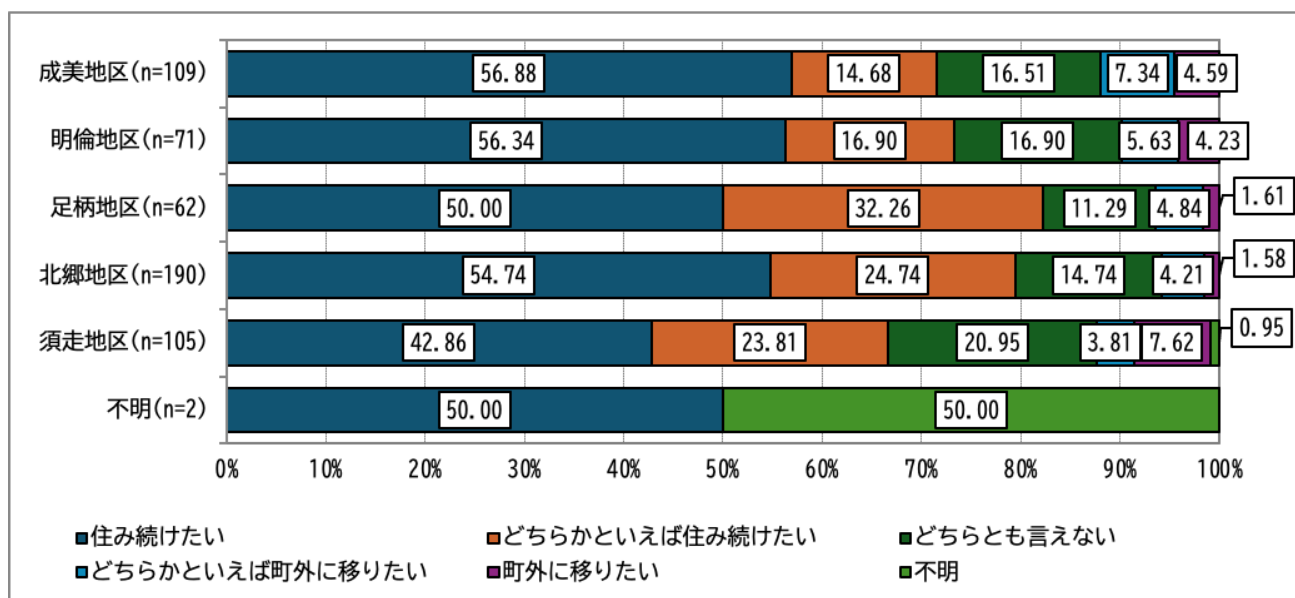
地区別でみると、須走地区以外では、「住み続けたい」が50%を超えており、「どちらかといえば住み続けたい」と合わせると70%以上で、定住意向の高さがうかがえます。足柄地区では、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計が、82.26%と他の地区よりも高くなっています。一方で、須走地区では、唯一60%台となっており、他の地区と比較するとやや低くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて積極的な定住意向である「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあり、「10代～20代」と「70代以上」では約58ポイントの差があります。一方で、30代、40代では「どちらかといえば住み続けたい」という消極的な定住意向が30%を超え、定住意向のある人の割合としては70%以上となっています。50代では対照的に、「どちらかといえば住み続けたい」が12.05%で、定住意向が57.83%と、10代～20代に次いで低くなっています。

男女別にみると、男性の方が、女性よりも定住意向が高いことが分かります。



【地区別】

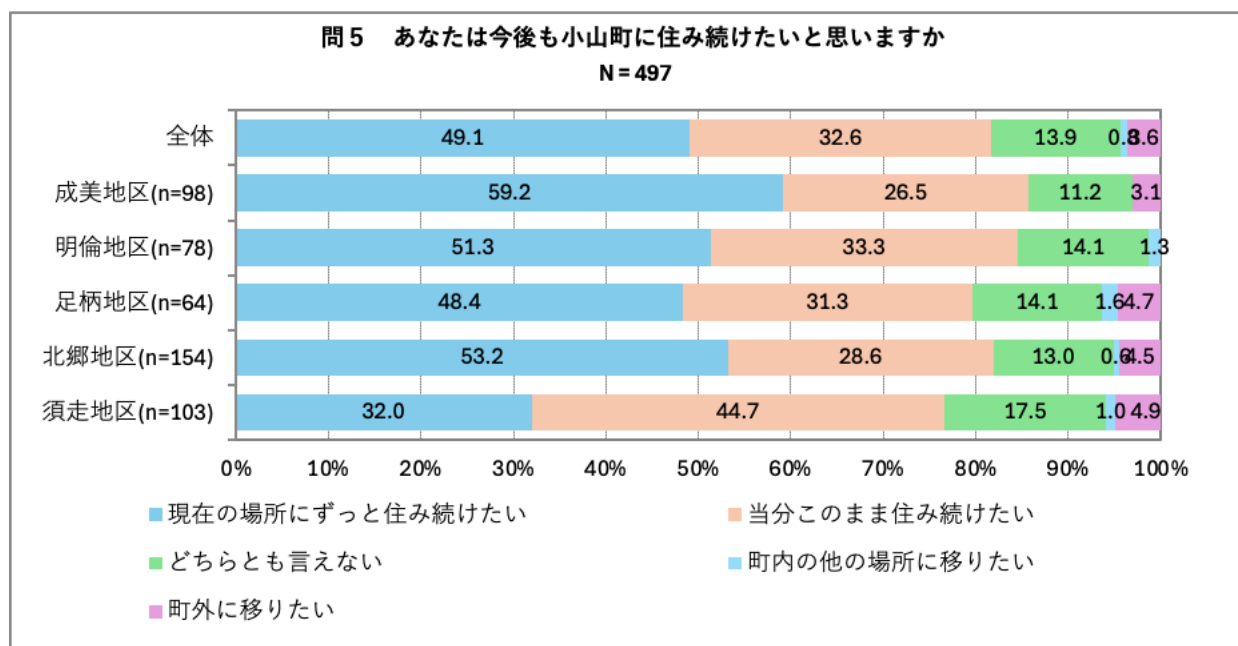


<定住意向> ※小数点第二位以下は四捨五入

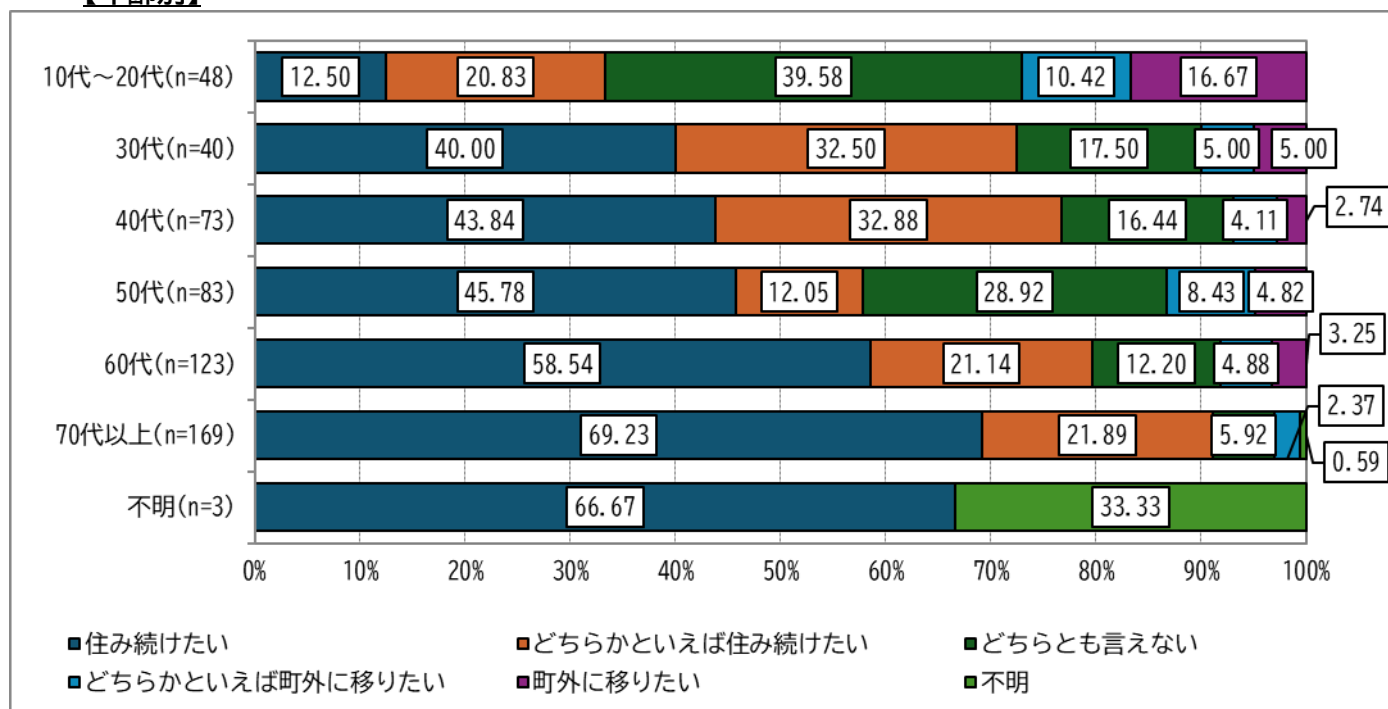
全体	74.8%
成美地区	71.6%
明倫地区	73.2%
足柄地区	82.3%
北郷地区	79.5%
須走地区	66.7%

<前回(令和6年度)調査結果>

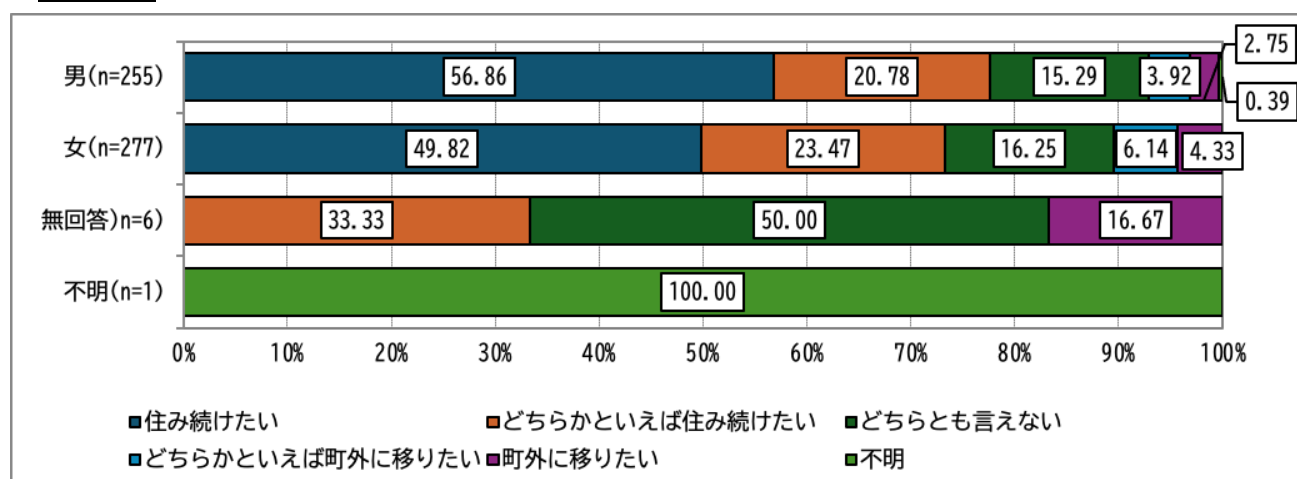
※項目が異なるため、参考として前回調査結果を掲載しています。



【年齢別】



【男女別】



問6 あなたは町の政策全体についてどの程度満足していますか。

今回の調査で「満足している」「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全体に満足している人の割合とします。

町の施策全体に満足している人の割合:46.9%

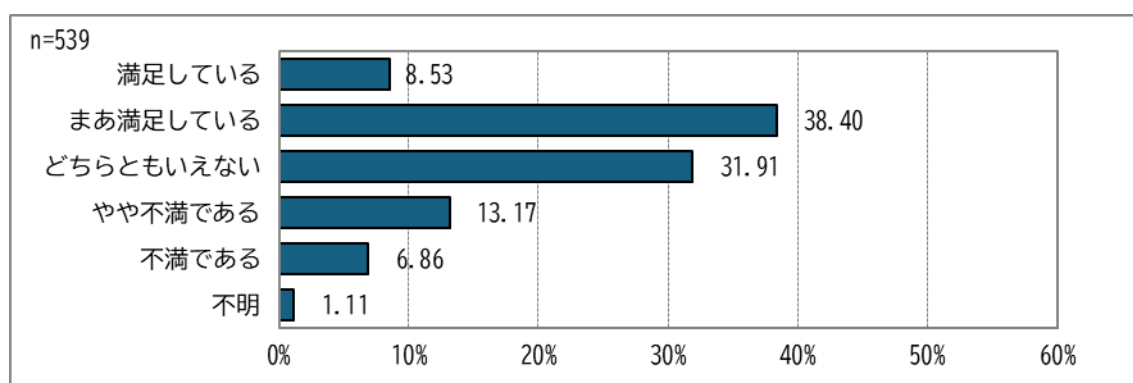
※小数点第二位以下は四捨五入

【全体結果】

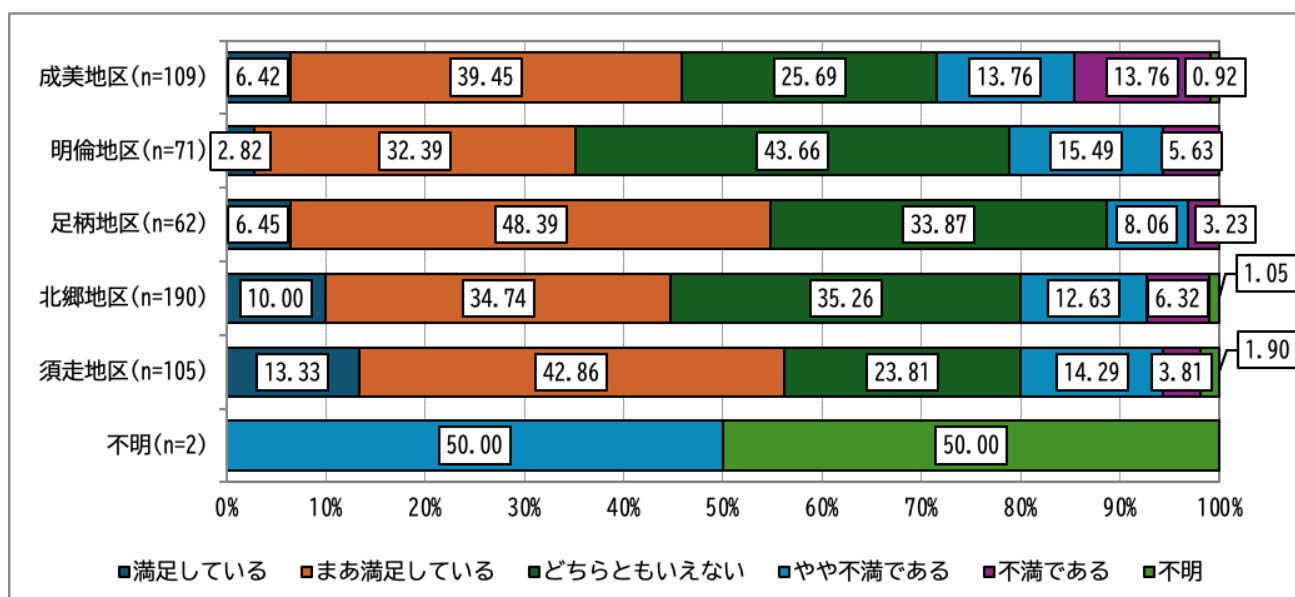
「まあ満足している」が38.40%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.91%、「やや不満である」が13.17%となっています。満足している人の割合は46.93%となり、前年度が55.0%であったため、前年よりも約8.1ポイント減少しました。

地区別にみると、定住意向が低かった須走地区の町の施策全体に満足している人が56.19%と最も高くなっています。一方で、明倫地区では、「満足している」「まあ満足している」のどちらもが他の地区より少なく、唯一の30%台で最も低くなっています。一方で「どちらともいえない」の割合が他の地区よりも高く、不満が突出しているわけではありません。

年齢別にみると、町の施策全体に満足している人の割合は、70代以上が最も高く、次いで40代、30代と続きます。一方で、最も低いのは50代で、次いで10代～20代となっています。10代～20代、50代については、定住意向も他の年齢と比較し低いことから、一定の相関関係がみられます。



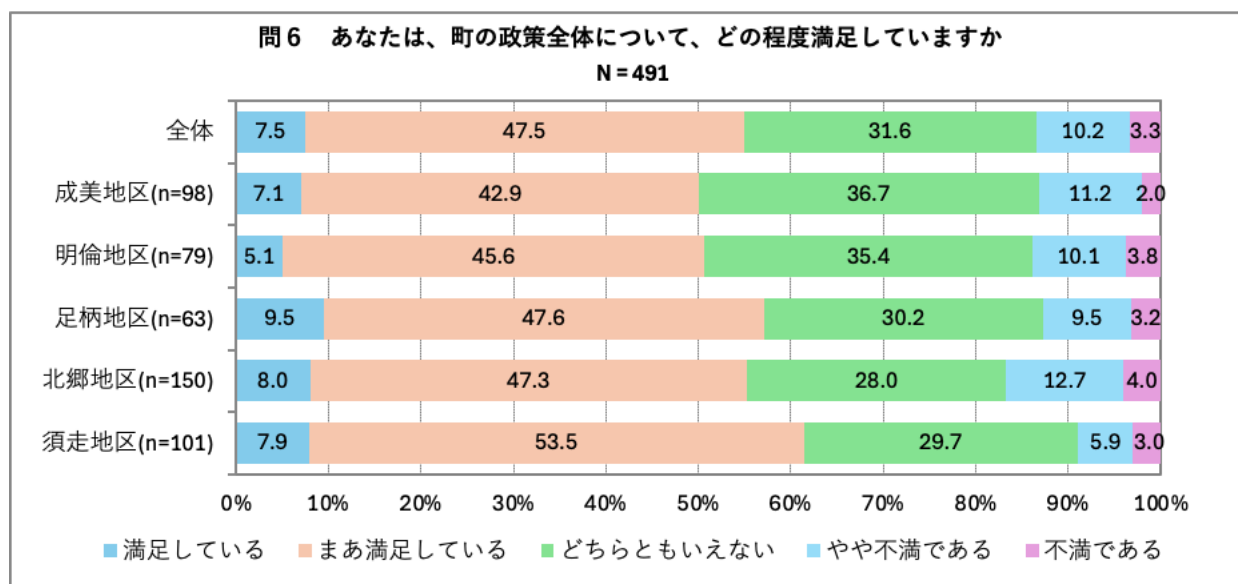
【地区別】



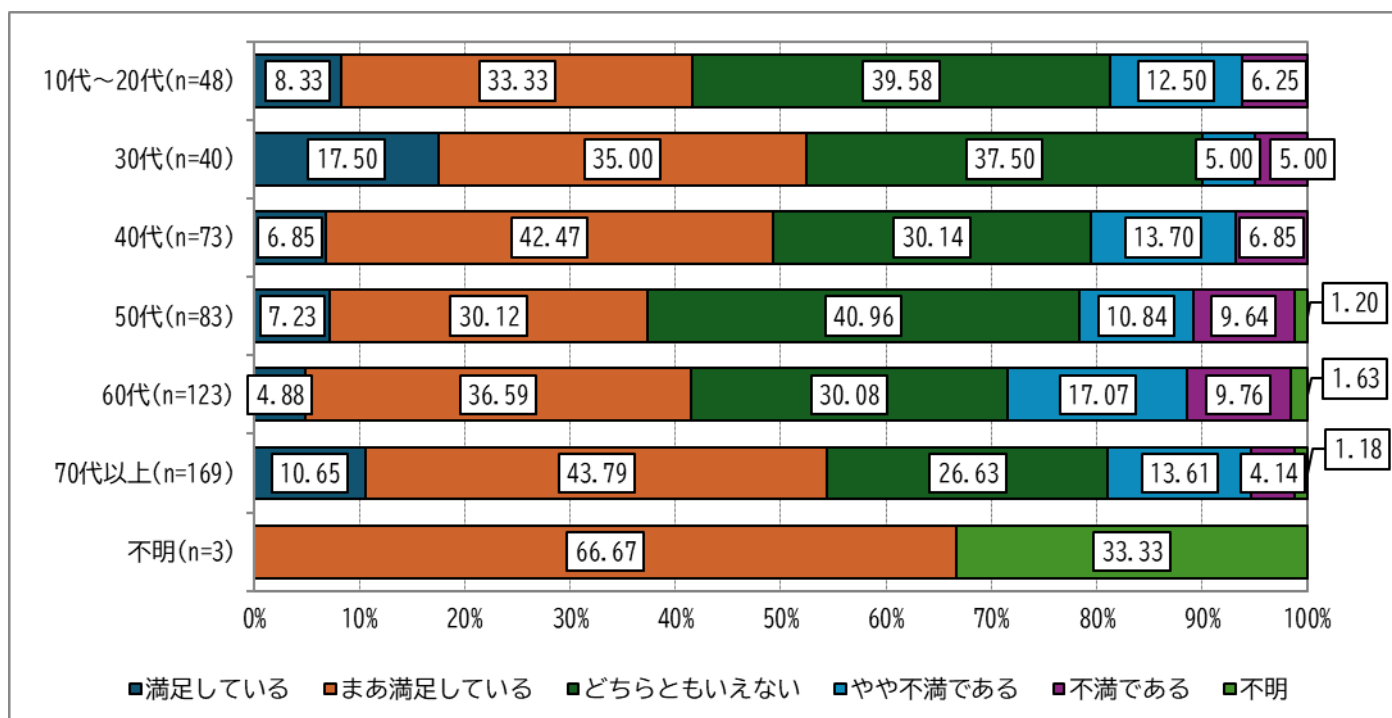
<満足度> ※小数点第二位以下は四捨五入

全体	46.9%
成美地区	45.9%
明倫地区	35.2%
足柄地区	54.8%
北郷地区	44.7%
須走地区	56.2%

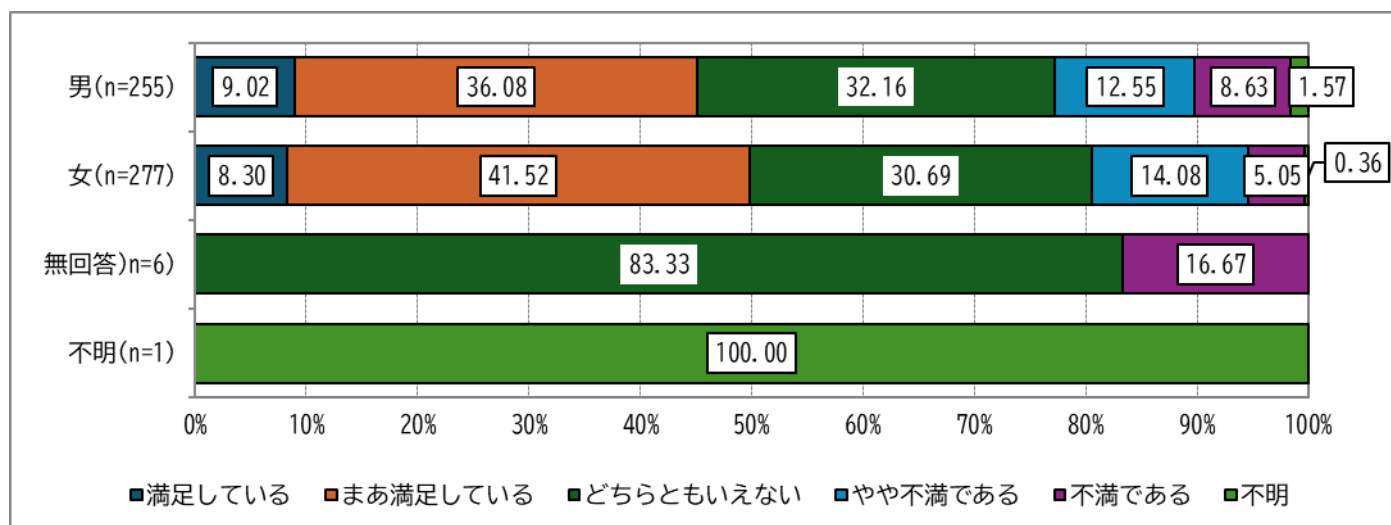
<前回(令和6年度)調査結果>



【年齢別】



【男女別】



Ⅱ 町の政策全般について

問7 あなたが普段、小山町の暮らしについて感じていることについてお聞きします。

(お考えに近いもの1つに○)

問7のすべての質問において、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した町民の割合を、町民の満足度もしくは町民の取組度としています。

※小数点第二位以下は四捨五入しています。

番号	施策	アンケート項目	R7	目標
1	1-1	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	58.4%	60%
2	1-1	災害に対して自ら対策を講じている	47.1%	50%
3	1-2	消防・救護体制が整っている	50.1%	55%
4	1-3	交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる	76.4%	77%
5	1-3	消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	70.3%	71%
6	2-1	安心して子どもを生み育てられる環境が整っている	52.3%	57%
7	2-2	高齢者が自立していきいきと暮らしている	44.4%	45%
8	2-2	町民が地域で互いに支えあって暮らしている	50.7%	55%
9	2-2	障がいのある人が社会参加し、自立している	28.2%	—※
10	2-3	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる	42.7%	45%
11	2-3	必要な時に適切な医療が受けられる	42.1%	50%
12	2-4	人権が尊重され、差別のないまちである	54.0%	60%
13	2-4	普段の生活の中で、男女が平等である	48.1%	53%
14	3-1	子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている	44.5%	50%
15	3-1	次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	56.0%	60%
16	3-2	生涯学習活動の機会や場が充実している	44.3%	50%
17	3-3	町民が伝統文化や郷土を大切にしている	54.2%	60%
18	3-3	音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある	32.8%	40%
19	3-4	町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	36.9%	40%
20	3-5	イベント等の異文化交流が活発に行われている	36.0%	46%
21	4-1	小山町は企業誘致を活発に進めている	59.7%	70%
22	4-1	買い物に不便がないと感じる	18.4%	20%
23	4-2	小山町が観光客でにぎわっている	13.7%	20%
24	4-3	普段から地元の農作物を食べようと心がけている	60.1%	65%

25	4-4	樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている	29.5%	34.5%
26	5-1	町内の自然環境が適切に保全されている	40.6%	45%
27	5-1	清らかで豊かな水資源が守られている	69.9%	75%
28	5-2	小山町は環境にやさしい設備や機器の導入など地球温暖化対策に取り組んでいる	28.0%	33%
29	5-3	普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる	67.5%	75%
30	6-1	公共交通が必要な時に利用できる	18.0%	20%
31	6-2	安全な水道水が安定供給されている	87.9%	90%
32	6-2	汚水下水が適切に処理されている	66.4%	70%
33	6-3	安全に通行できる道路が整備されている	49.7%	65%
34	6-3	利便性が高い道路網が整備されている	44.7%	60%
35	6-4	小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている	36.2%	40%
36	6-4	富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている	72.7%	75%
37	6-5	小山町には愛着・親しみを持てる公園・緑地がある	43.8%	50%
38	6-5	住んでいる地域に良好な住環境が整っている	43.8%	45%
39	7-1	町職員の窓口対応及び各種対応に満足している	52.9%	55%
40	7-1	小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている	36.4%	40%
41	7-2	無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	77.4%	78%
42	7-2	小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる	36.2%	40%
43	7-3	町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある	36.2%	50%
44	7-3	町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している	52.9%	50%
45	7-3	町からの必要な情報が適切に伝わっている	55.8%	65%

※総合計画の指標としては採用しておらず、目標値の設定を行っていません。

【町民の満足度と取組度の違いについて】

満足度・・・町が実施している施策に対する質問に対応

取組度・・・町民が主体となり実施・参画しているかをたずねる質問に対応(下記質問)

番号	施策	質問内容
2	1-1	災害に対して自ら対策を講じている
7	2-2	高齢者が自立していきいきと暮らしている
8	2-2	町民が地域で互いに支えあって暮らしている
9	2-2	障がいのある人が社会参加し、自立している
10	2-3	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる
17	3-3	町民が伝統文化や郷土を大切にしている
29	5-3	普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる
44	7-3	町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している

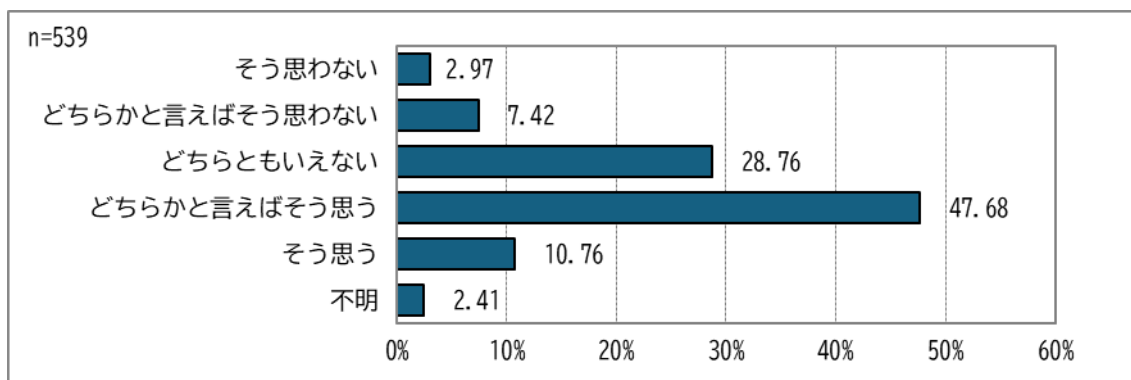
(1)災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる

【全体結果】

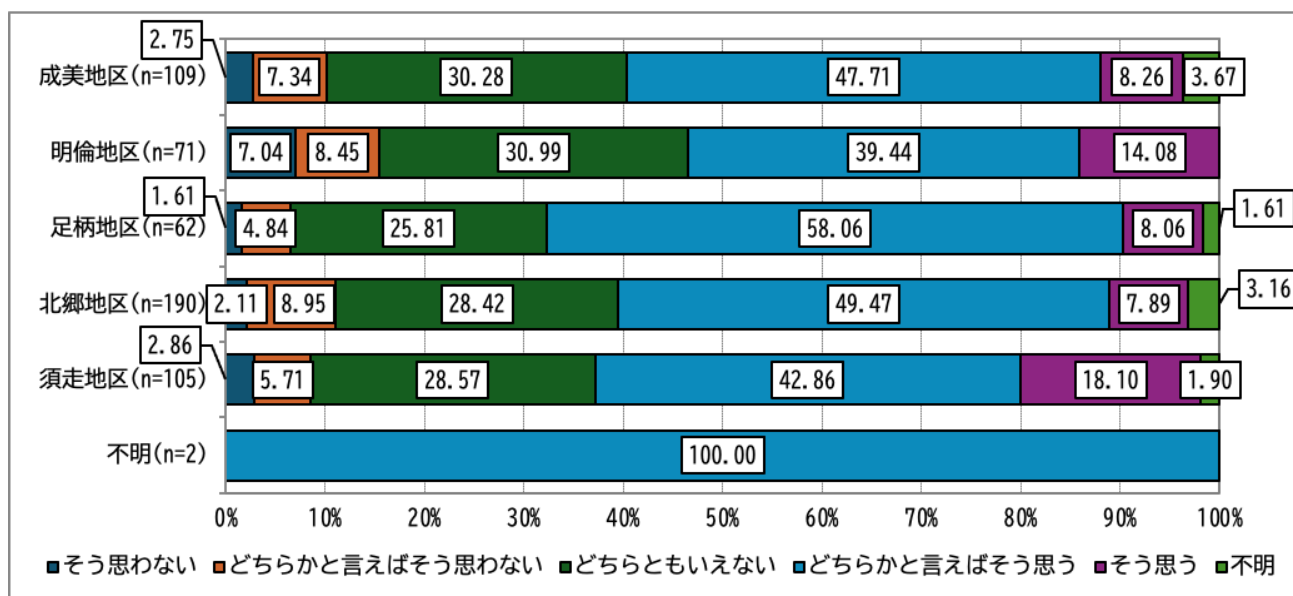
「どちらかと言えばそう思う」が47.68%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.76%、「そう思う」が10.76%となっており、町民の満足度は58.44%となりました。

地区別にみると、どの地区も満足度が50%を超えています。特に足柄地区の満足度が66.12%と最も高くなっています。

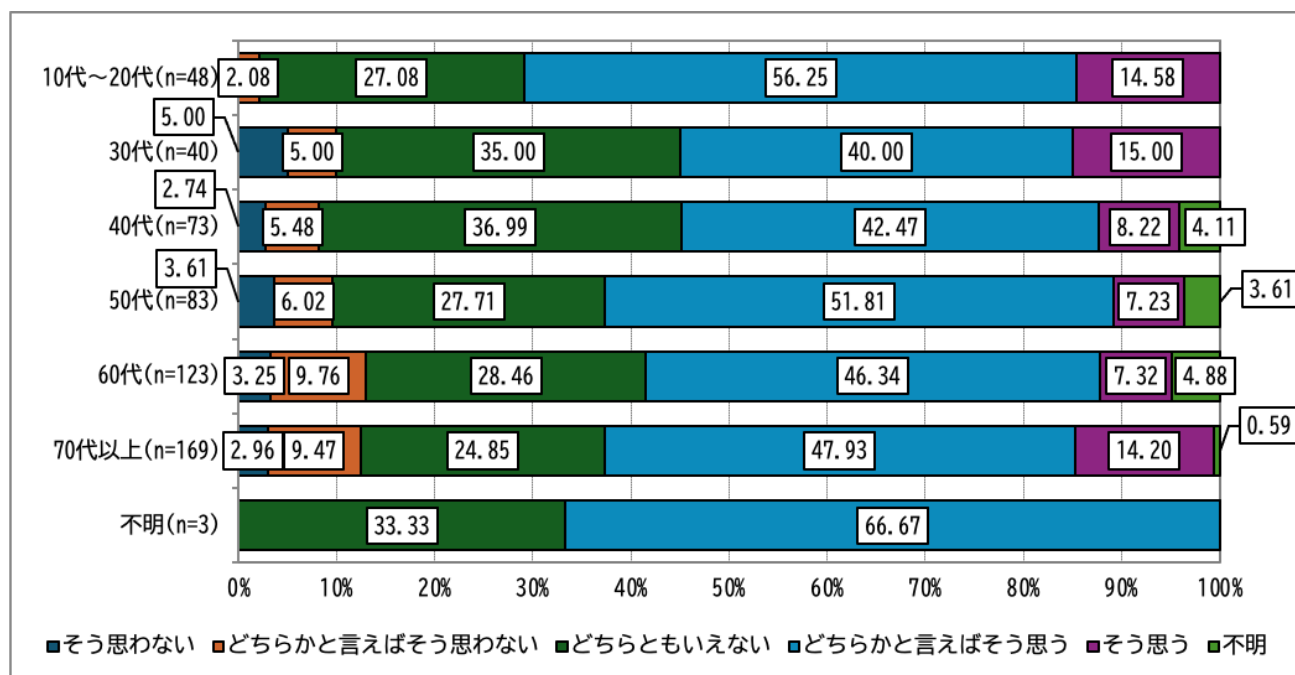
年齢別にみると、どの年齢でも満足度が50%を超えています。特に10代～20代の満足度が70.83%と最も高くなっています。



【地区別】



【年齢別】



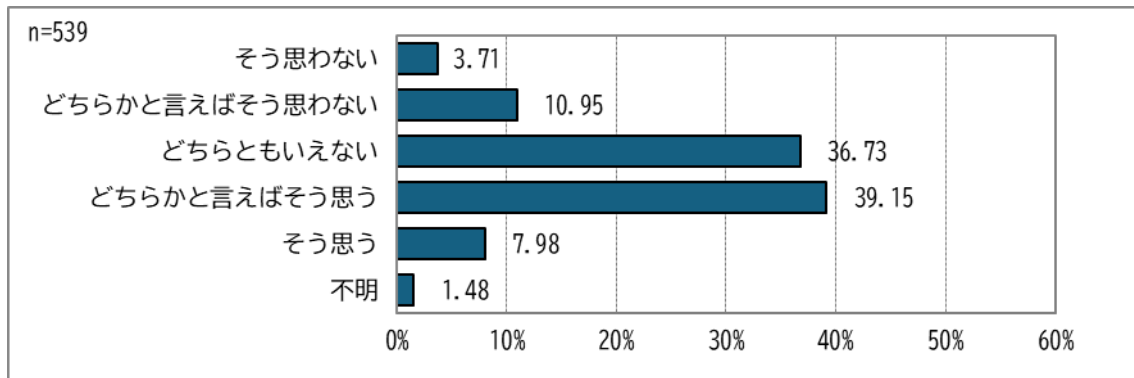
(2)災害に対して自ら策を講じている

【全体結果】

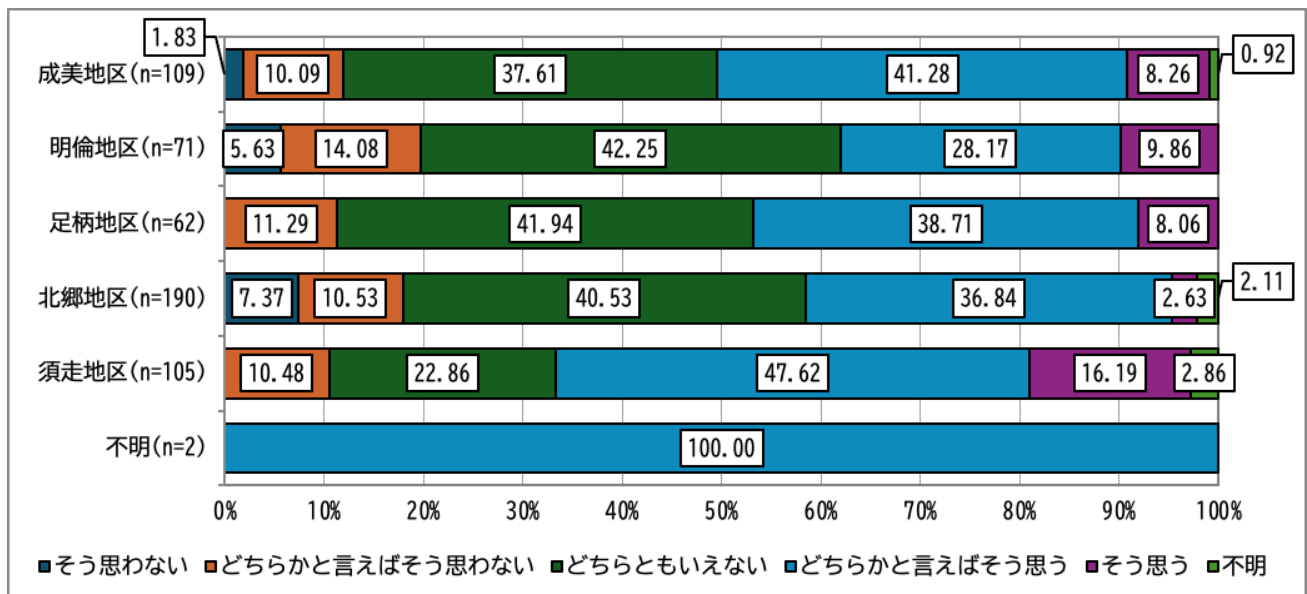
「どちらかと言えばそう思う」が39.15%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.73%、「どちらかと言えばそう思わない」が10.95%となっており、町民の取組度は47.13%となりました。

地区別にみると、特に須走地区の取組度が63.81%と最も高くなっています。一方で、明倫地区では38.03%、北郷地区では39.47%と、約25ポイント差があり、地区ごとの差が大きくなっています。

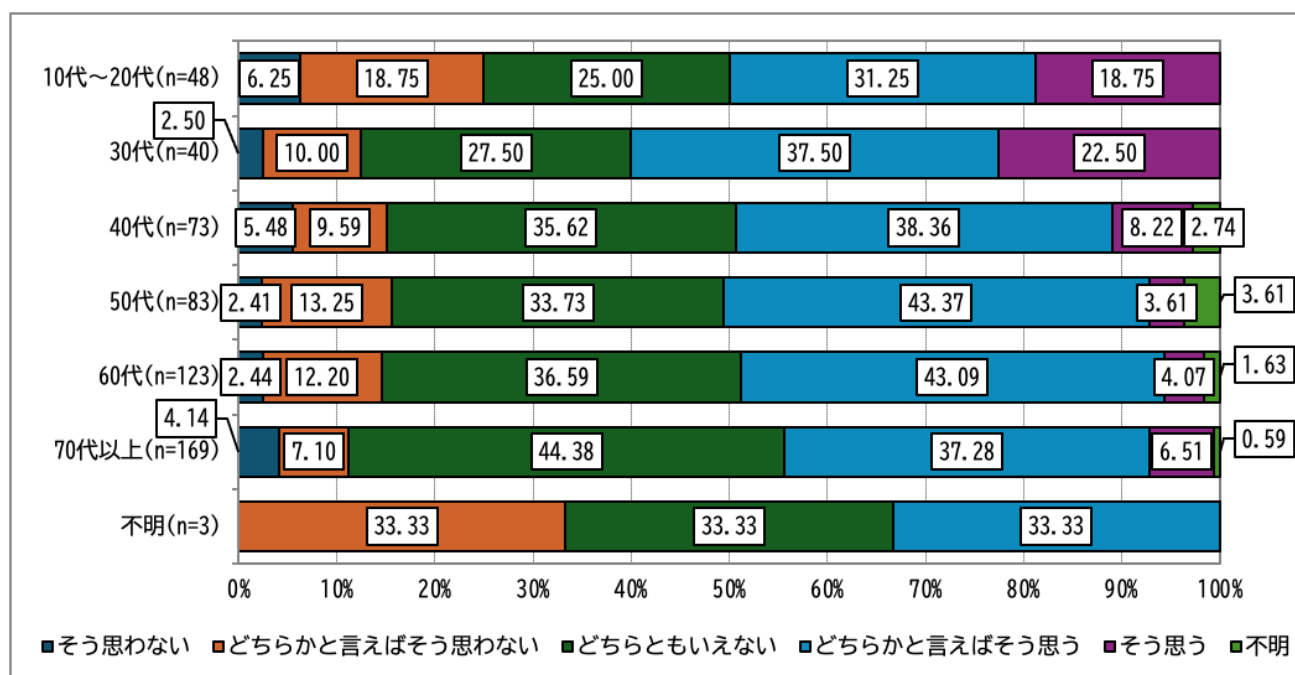
年齢別にみると、特に30代の取組度が60.00%と最も高くなっています。



【地区別】



【年齢別】



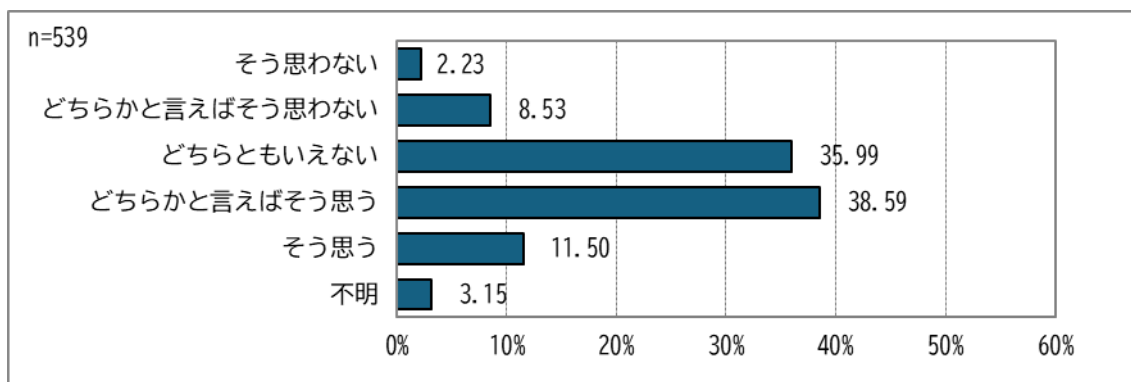
(3)消防・救護体制が整っている

【全体結果】

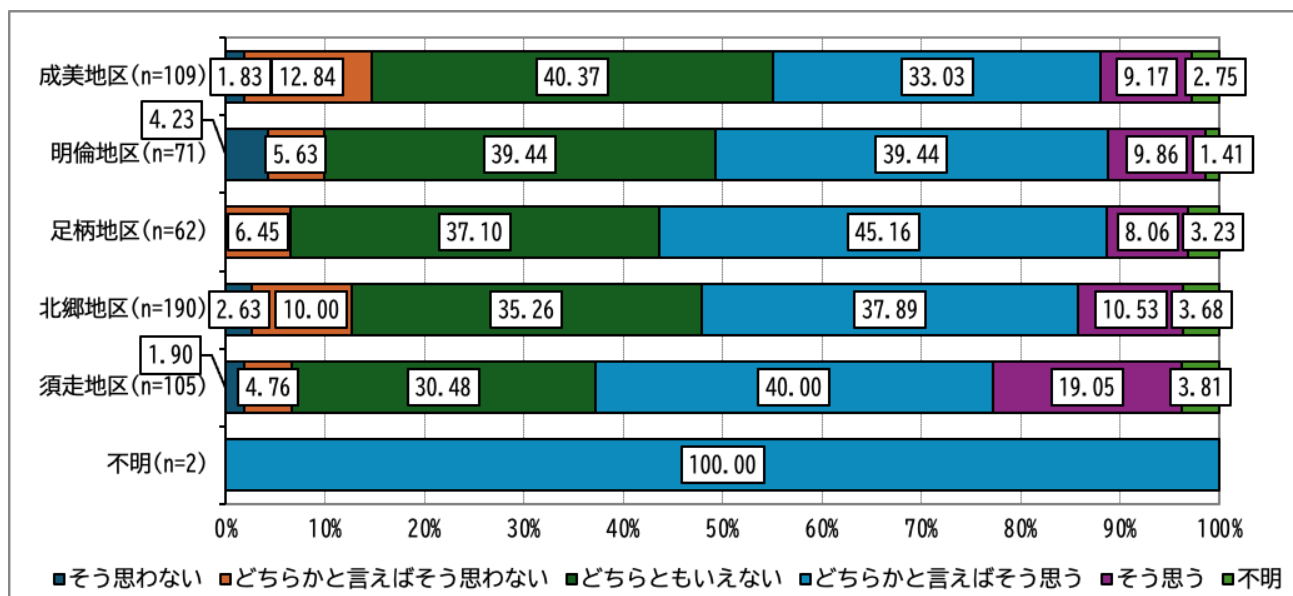
「どちらかと言えばそう思う」が38.59%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.99%、「そう思う」が11.50%となっており、町民の満足度は50.09%となりました。

地区別にみると、須走地区では59.05%が満足していますが、成美地区では42.20%と約17ポイントの差があります。

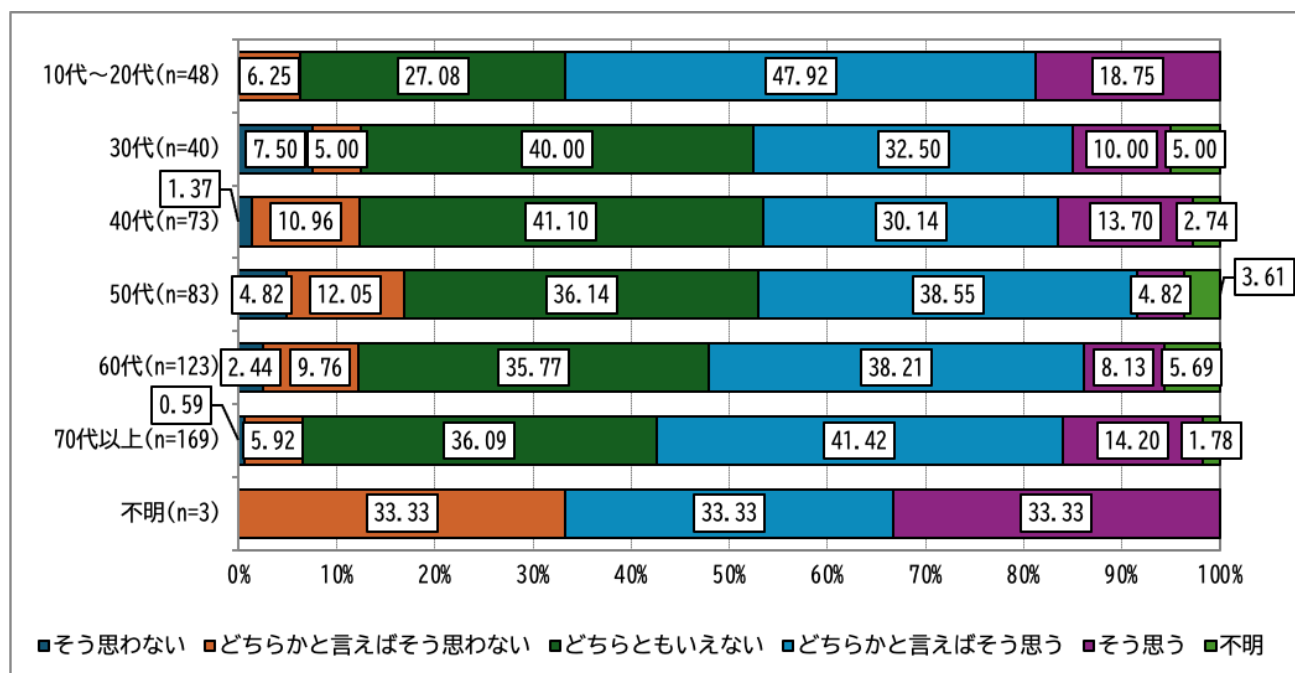
年齢別にみると、10代～20代で66.7%と高い一方、30代から60代では50%に満たない結果となっています。



【地区別】



【年齢別】



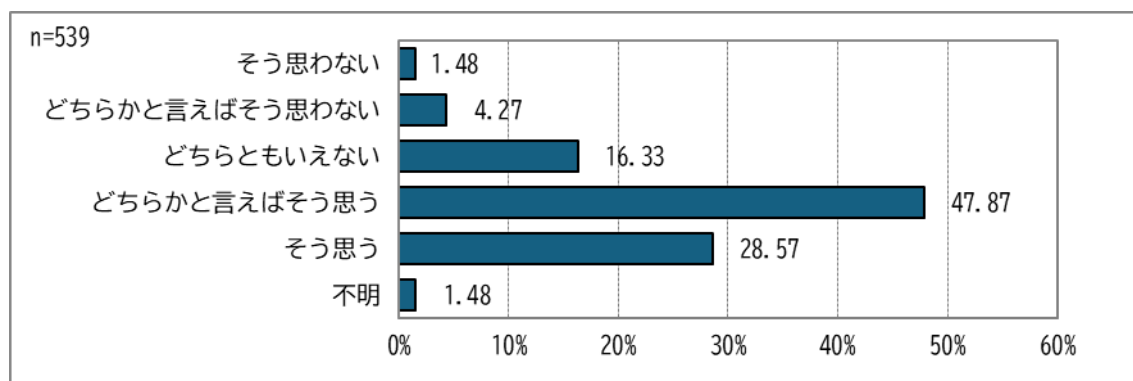
(4)交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる

【全体結果】

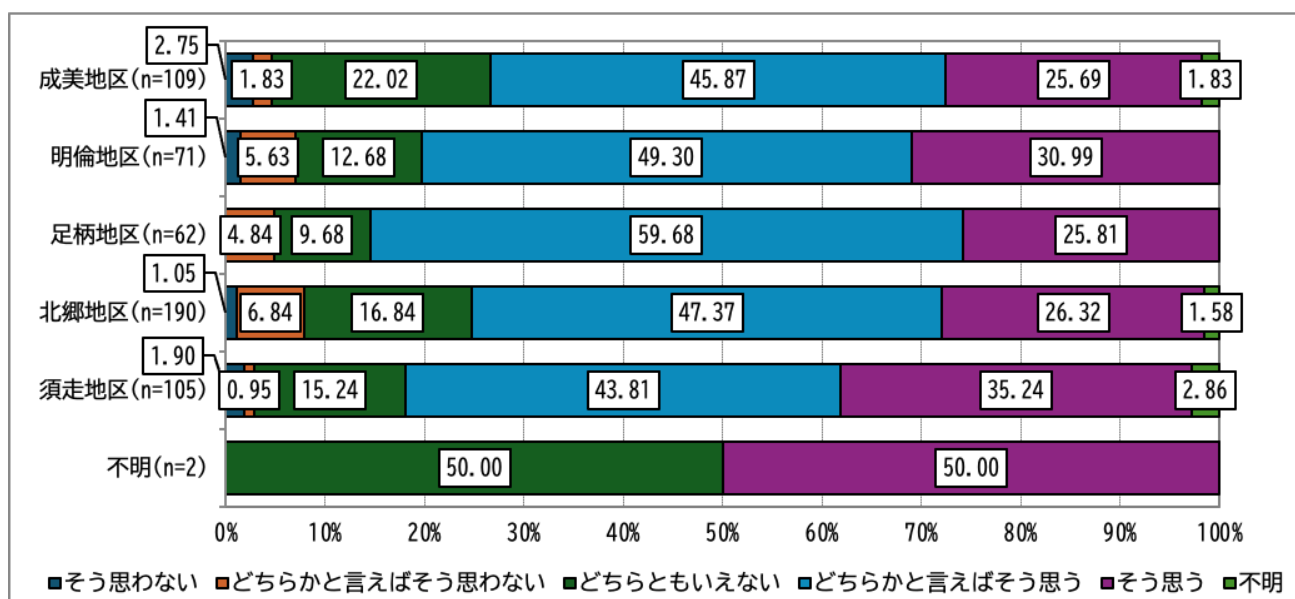
「どちらかと言えばそう思う」が47.87%と最も高く、次いで「そう思う」が28.57%、「どちらともいえない」が16.33%となっており、町民の満足度は76.44%となりました。

地区別にみると、総じて満足度が高く、すべての地区で70%以上が満足しています。

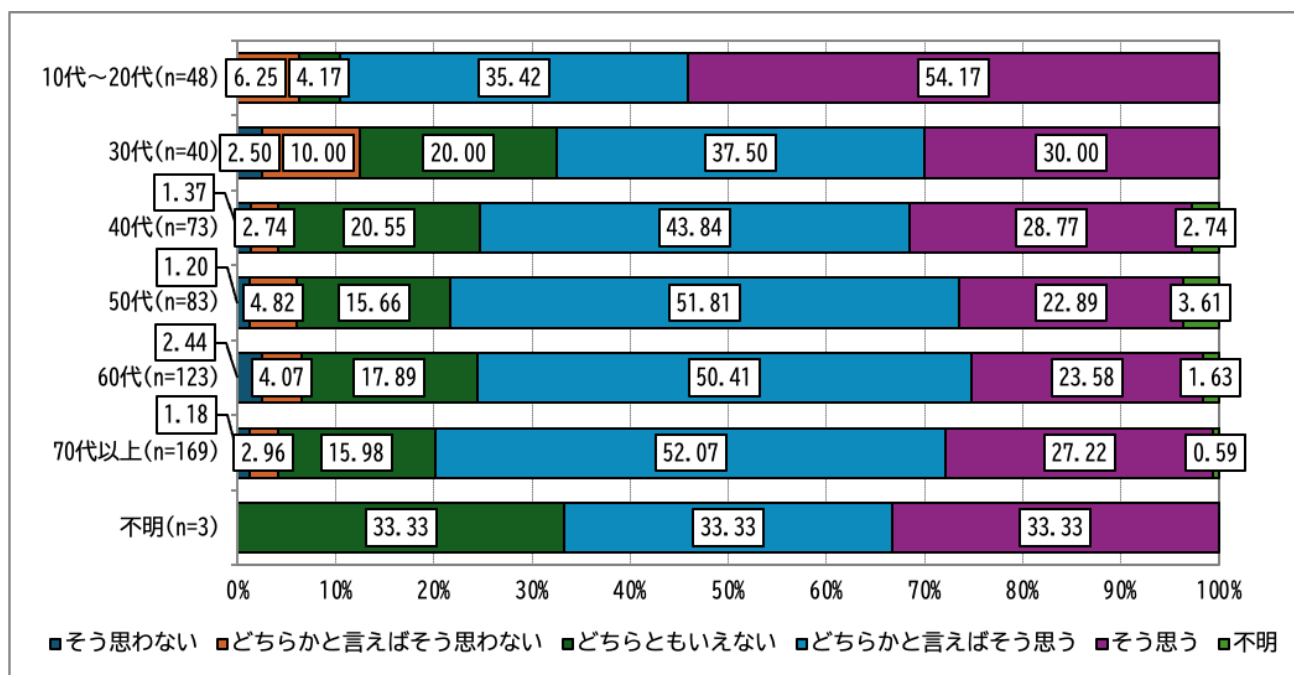
年齢別にみると、30代のみ満足度が67.50%となっていますが、その後は70%以上となっており、どの年齢でも、満足度が高いことが分かります。



【地区別】



【年齢別】



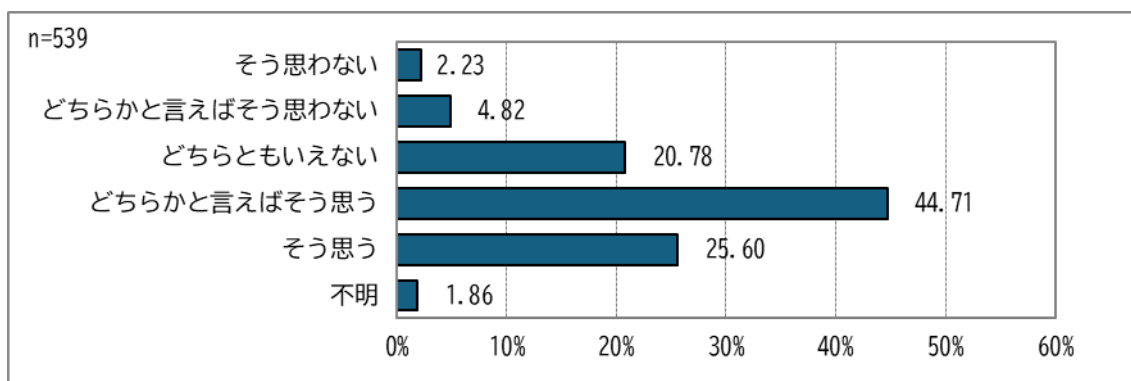
(5)消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる

【全体結果】

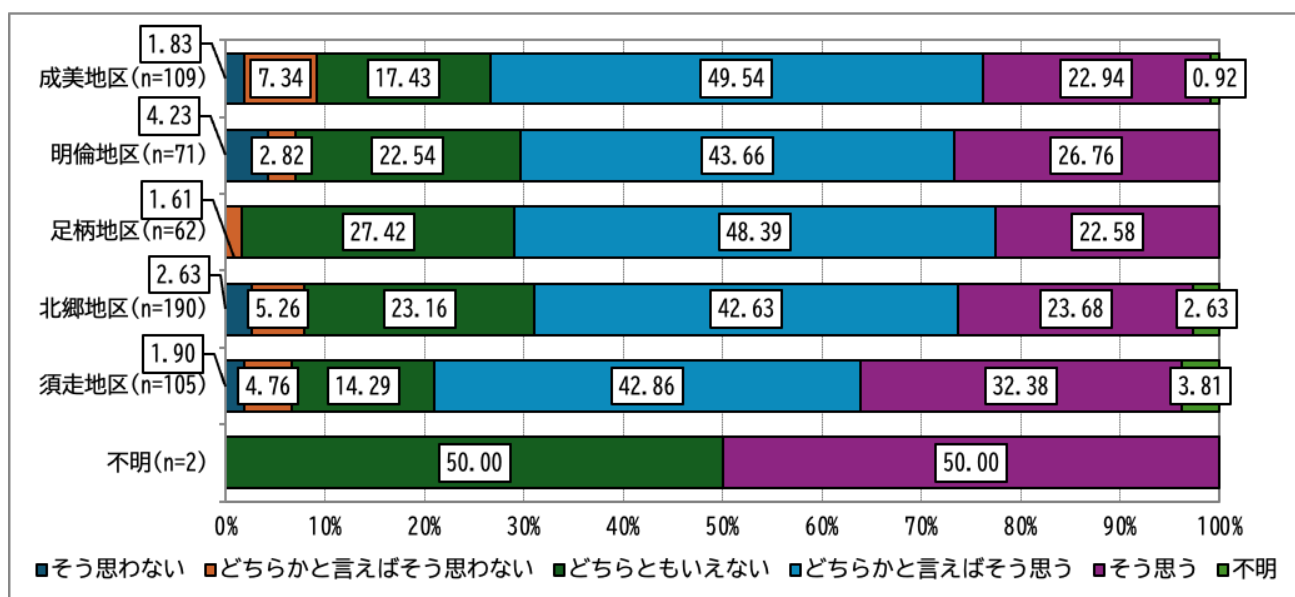
「どちらかと言えばそう思う」が44.71%と最も高く、次いで「そう思う」が25.60%、「どちらともいえない」が20.78%となっており、町民の満足度は70.31%となりました。

地区別にみると、総じて満足度は高く、北郷地区では満足度が66.31%で、その他の地区では70%を超えています。

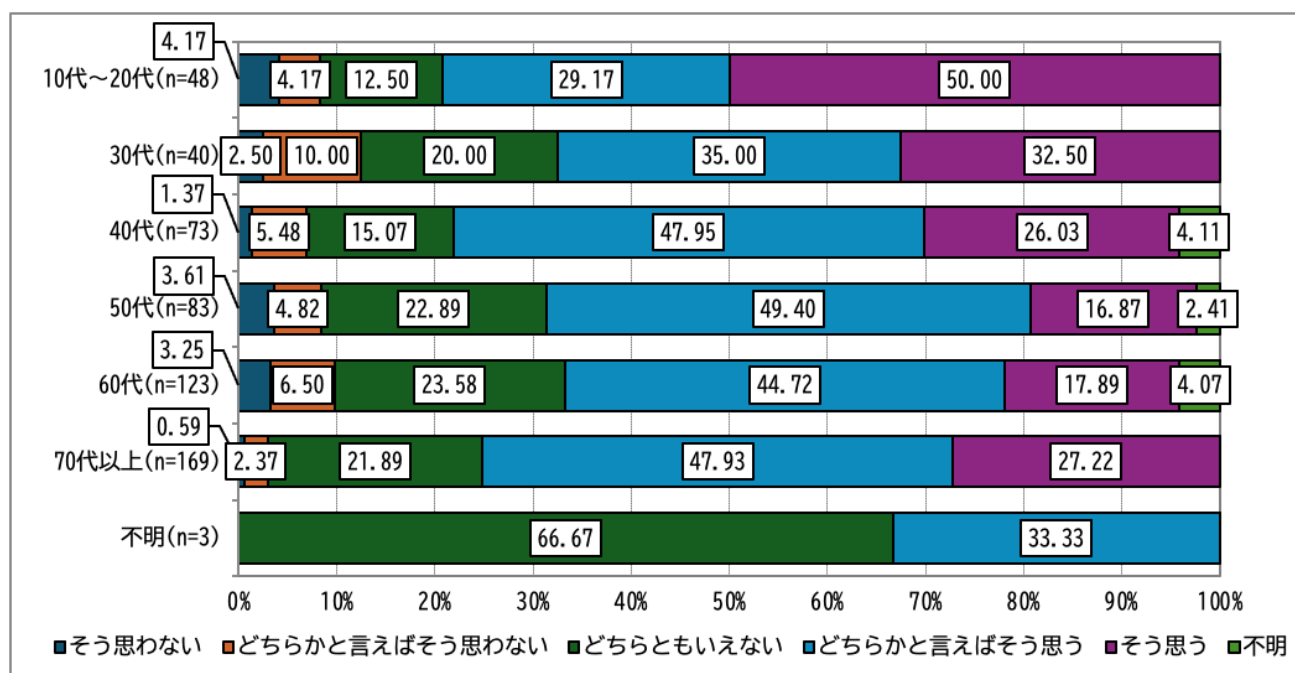
年齢別にみると、10代～20代、40代、70代以上の満足度が70%以上となっています。



【地区別】



【年齢別】



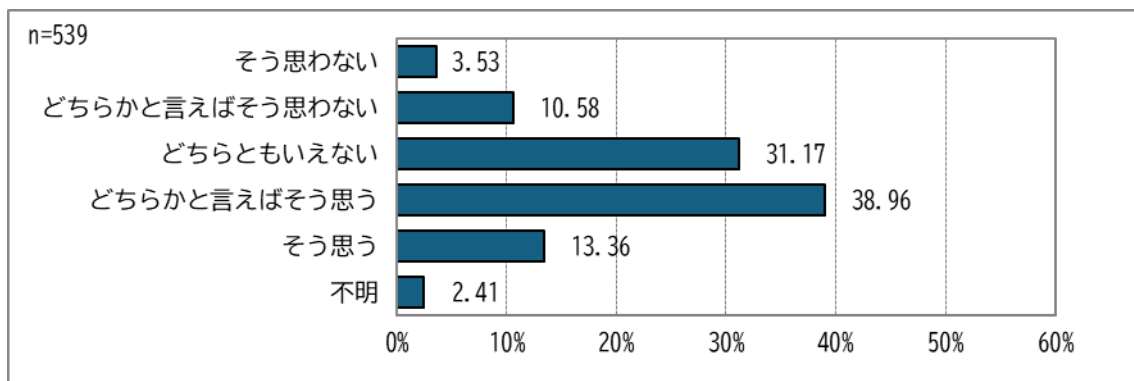
(6)安心して子どもを生み育てられる環境が整っている

【全体結果】

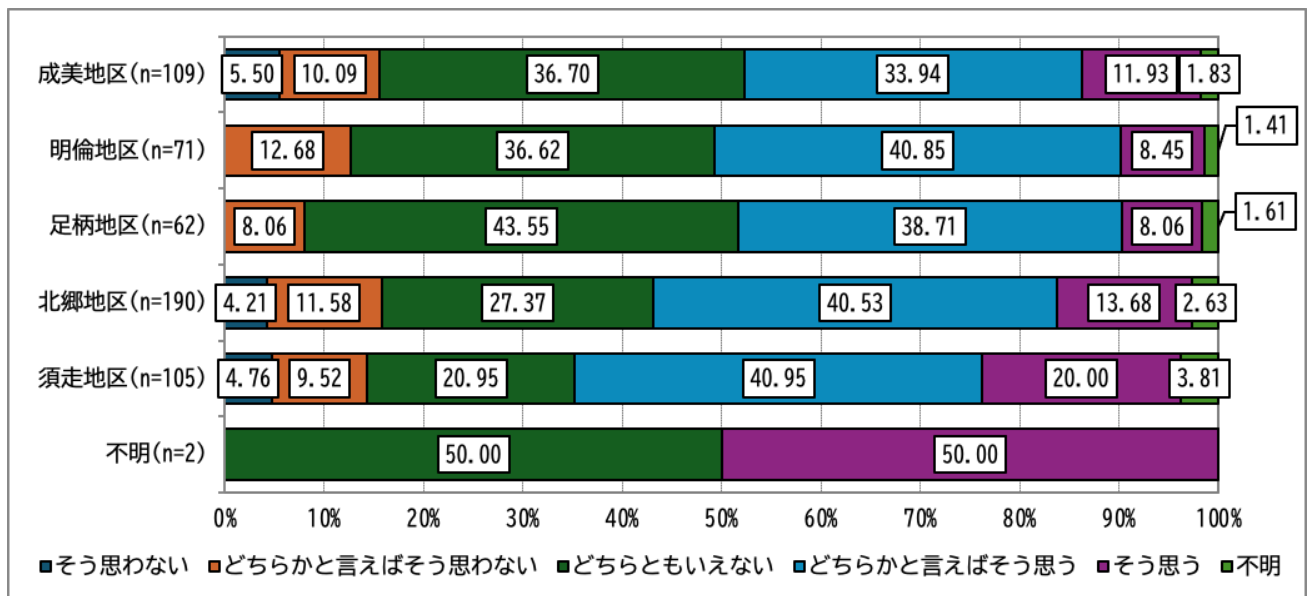
「どちらかと言えばそう思う」が38.96%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.17%、「そう思う」が13.36%となっており、町民の満足度は52.32%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度は60.95%となっていますが、成美地区では45.87%、足柄地区では46.77%、と約15ポイントの差がついています。

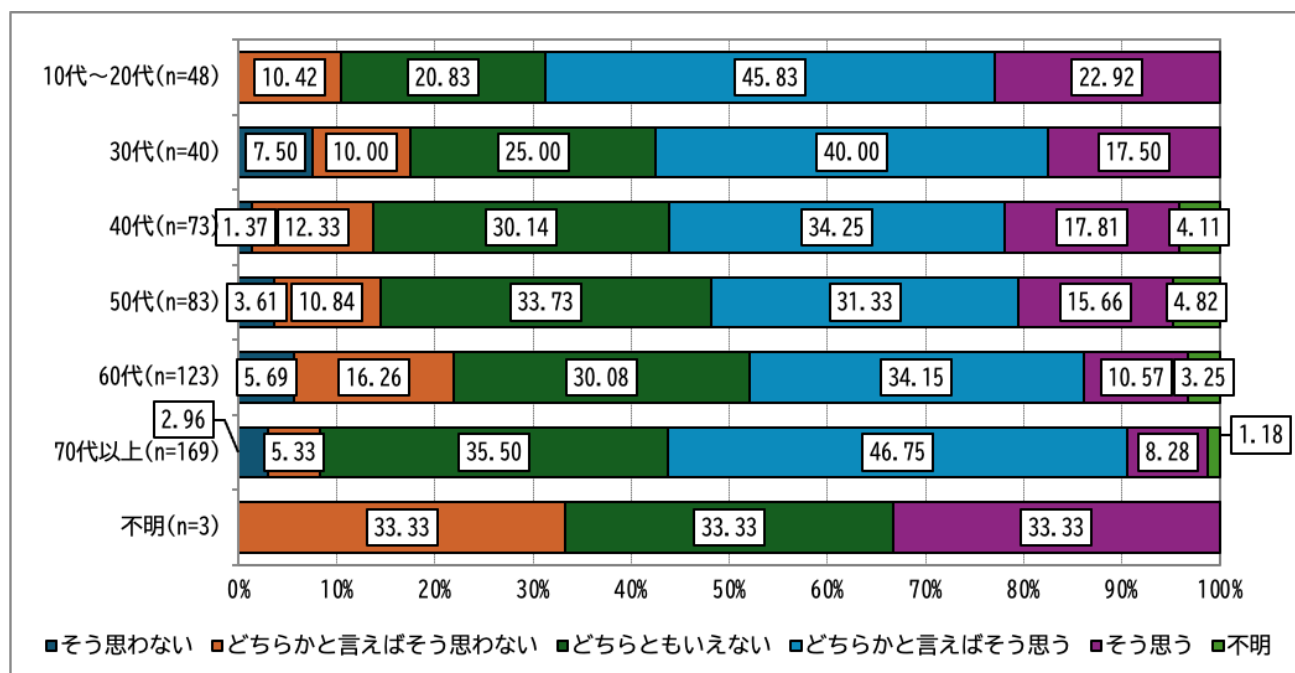
年齢別にみると、子育て世代が多い10代～20代、30代、40代の満足度が50%を超えている一方で、50代、60代では40%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



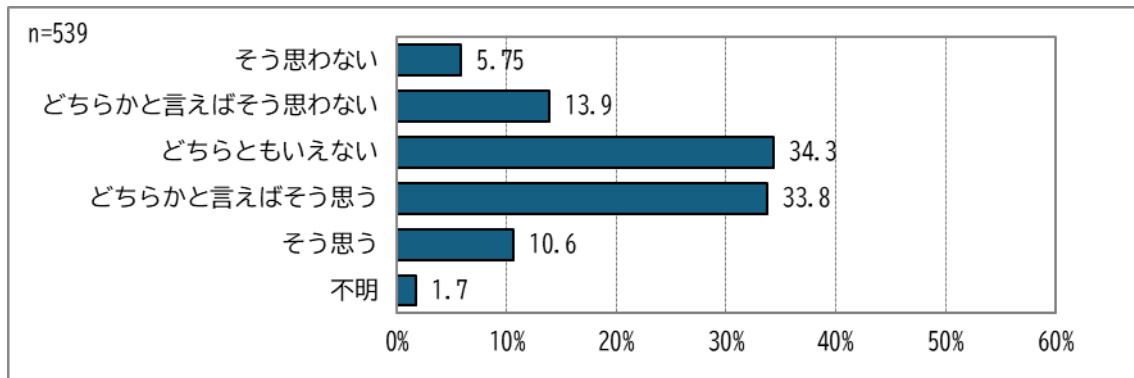
(7)高齢者が自立していきいきと暮らしている

【全体結果】

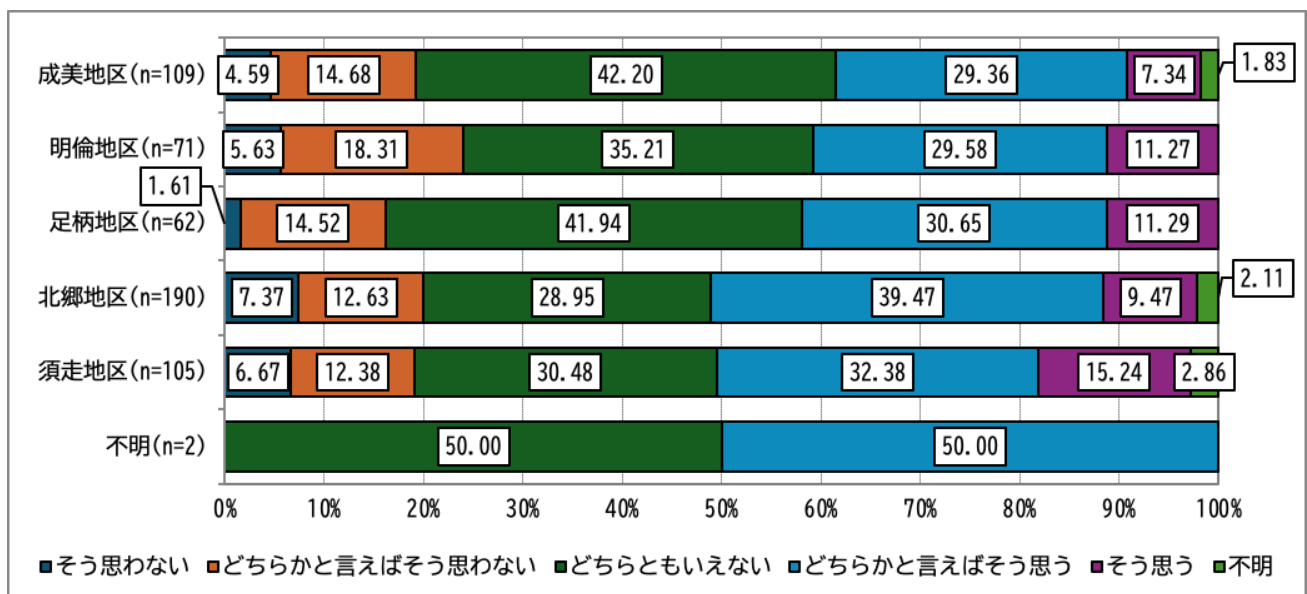
「どちらともいえない」が34.3%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が33.8%、「どちらかと言えばそう思わない」が13.9%となっており、町民の取組度は44.35%となりました。

地区別にみると、成美地区の取組度が36.70%と低くなっています。他の地区も40%台となっています。

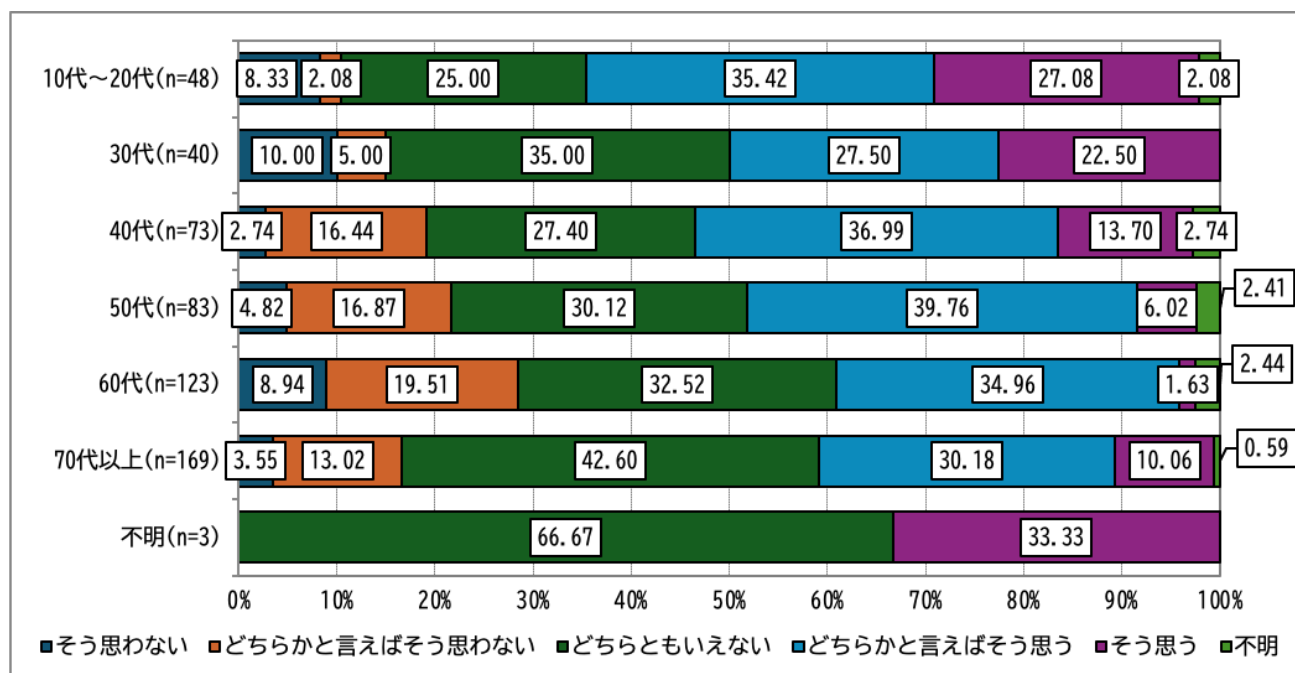
年齢別にみると、年齢が高いほど取組度が低く、60代では「そう思う」の回答が1.63%にとどまり、取組度は36.59%と最も低くなりました。また、70代以上でも取組度が40.24%となりました。



【地区別】



【年齢別】



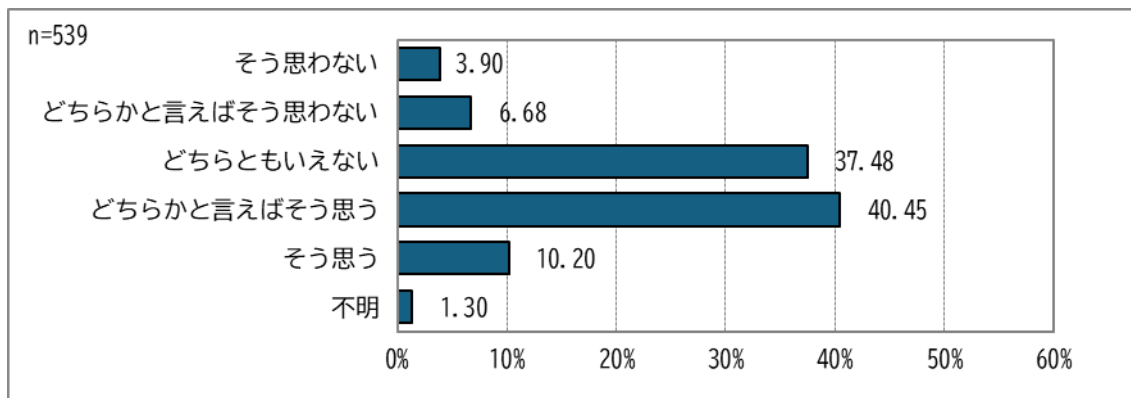
(8) 町民が地域で互いに支えあって暮らしている

【全体結果】

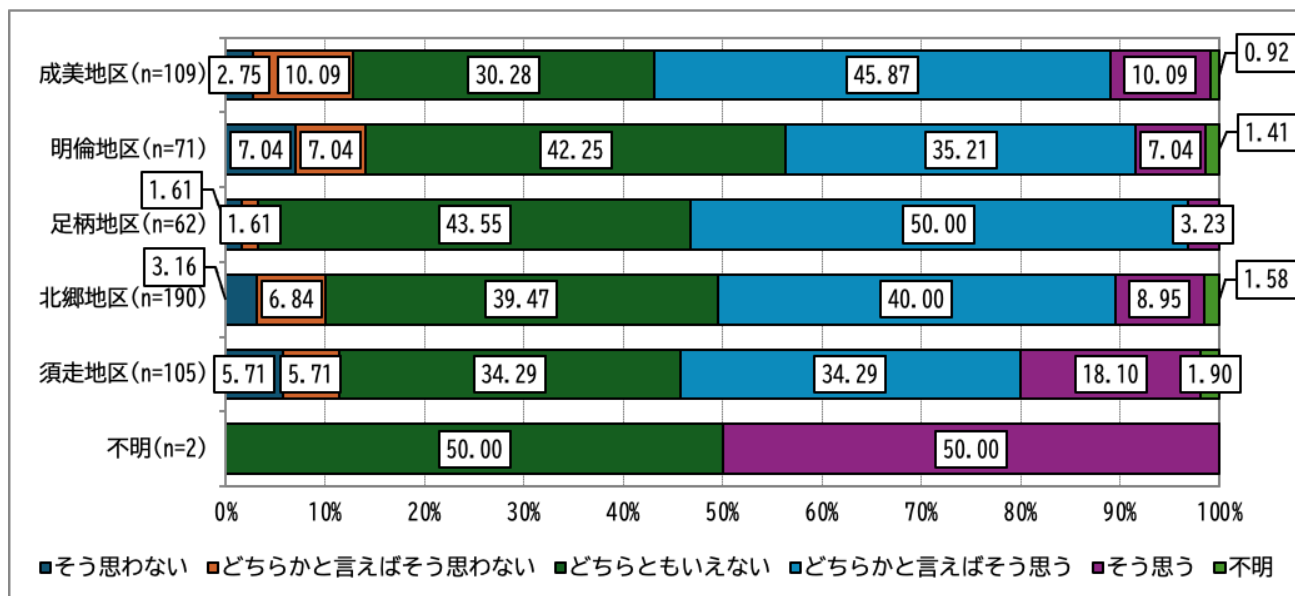
「どちらかと言えばそう思う」が40.45%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が37.48%、「そう思う」が10.02%となっており、町民の取組度は50.65%となりました。

地区別にみると、どの地区も40%台後半から50%台となっています。

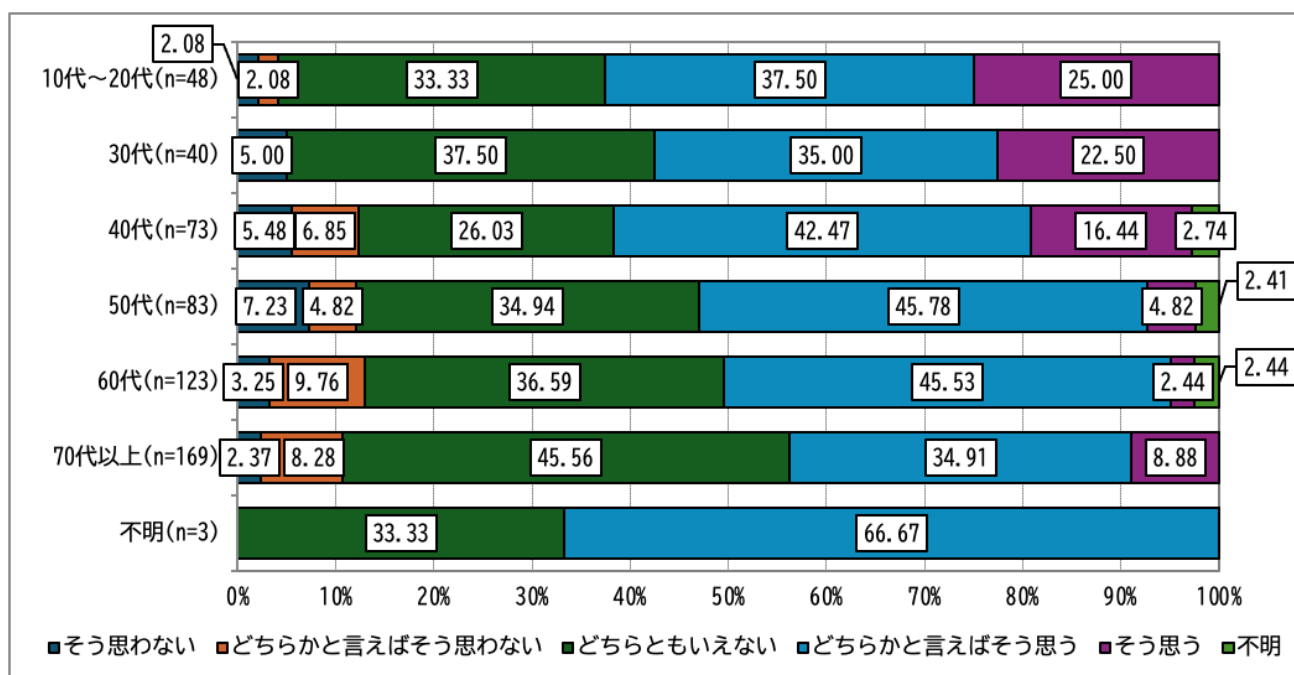
年齢別にみると、40代の取組度が58.91%となっていますが、50代、60代、70代以上と年齢が高くなるにつれ、取組度が低くなり、70代以上の取組度は43.79%となっています。



【地区別】



【年齢別】



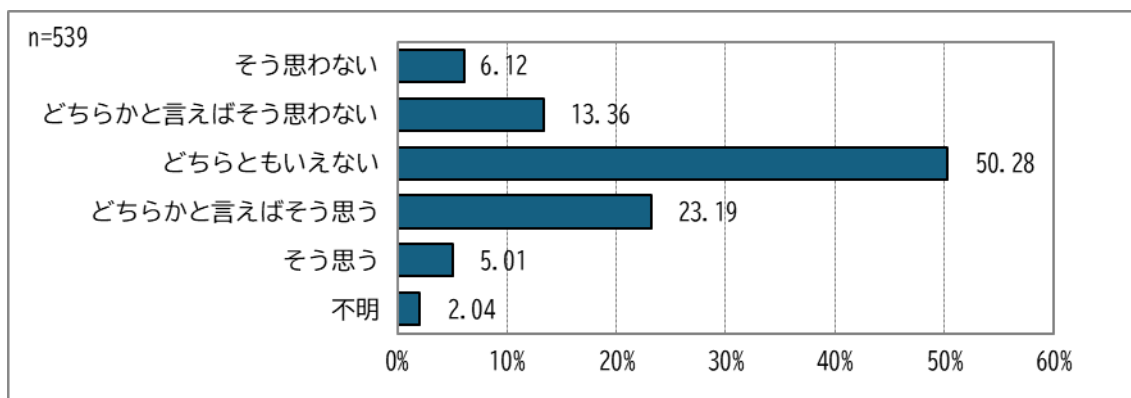
(9)障がいのある人が社会参加し、自立している

【全体結果】

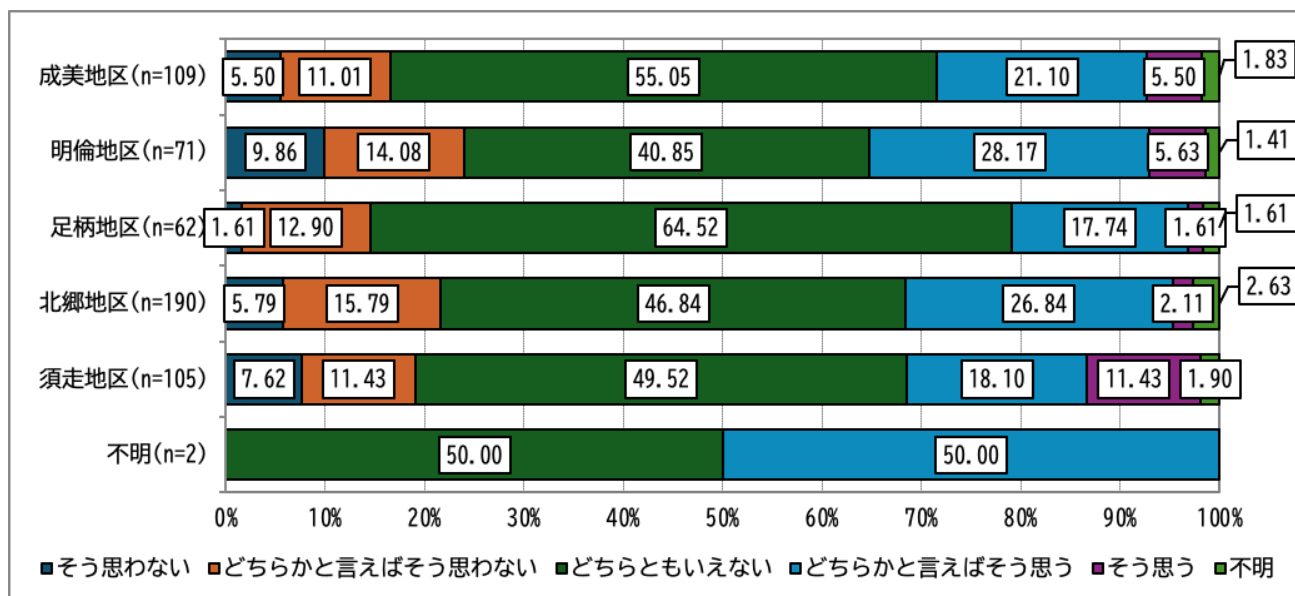
「どちらともいえない」が50.28%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が23.19%、「どちらかと言えばそう思わない」が13.36%となっており、町民の取組度は28.20%となりました。

地区別にみると、どの年齢でも「どちらともいえない」が突出しているなかで、明倫地区の取組度が最も高い33.80%となっている一方、足柄地区では19.35%と10%台で最も低くなっています。

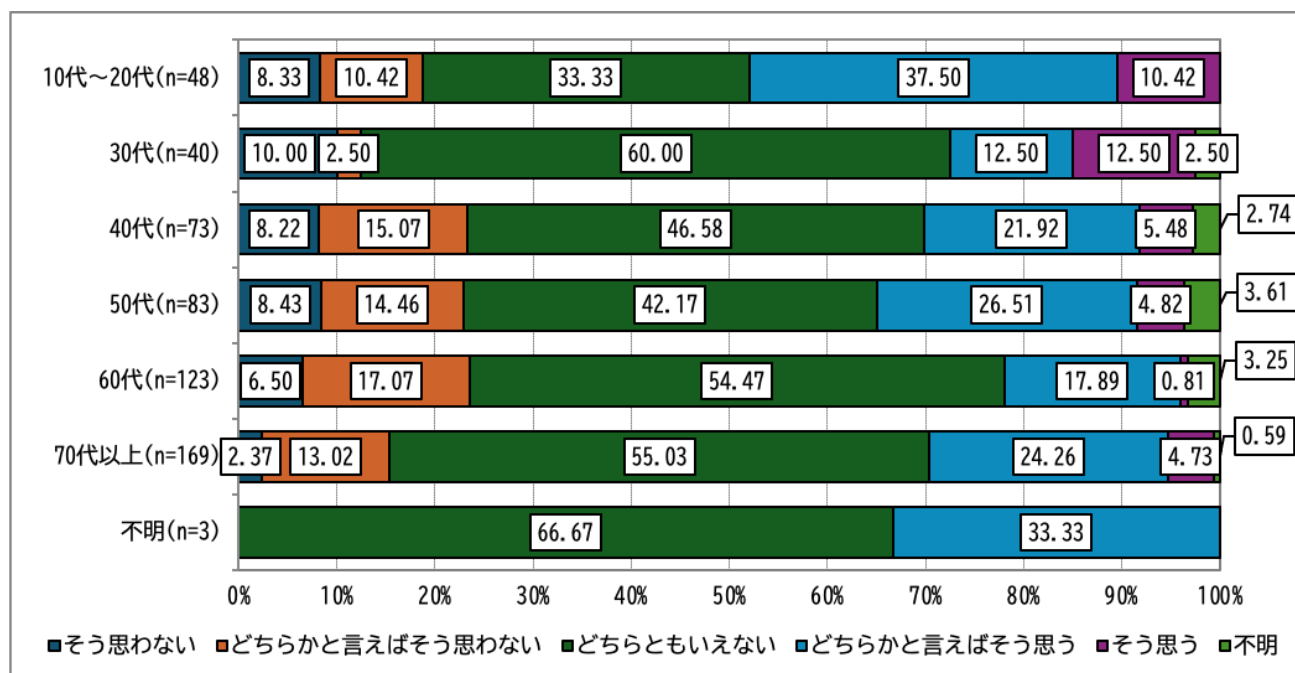
年齢別にみると、10代～20代では取組度が47.92%と他の世代よりも約15ポイント以上高くなっています。60代では18.70%と最も低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



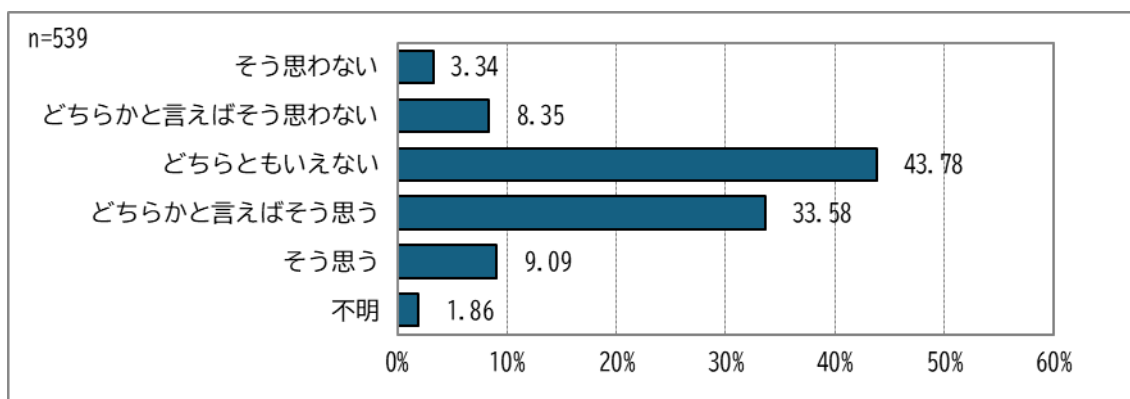
(10)町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる

【全体結果】

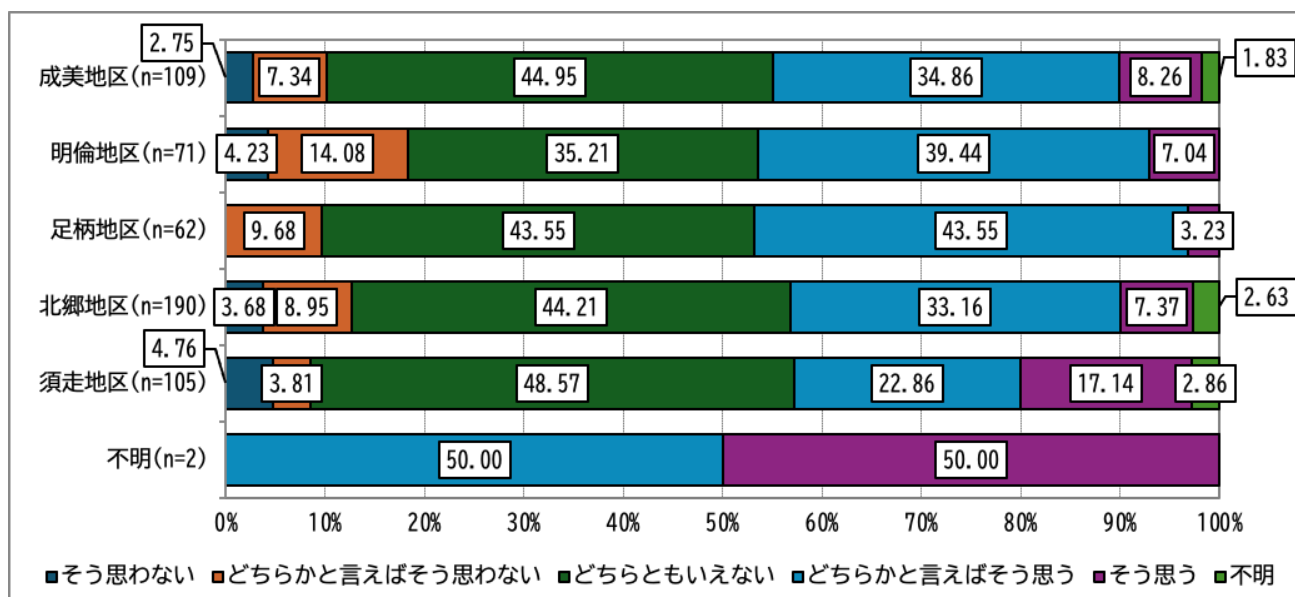
「どちらともいえない」が43.78%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が33.58%、「そう思う」が9.09%となっており、町民の取組度は42.67%となりました。

地区別にみると、どの年齢も取組度が40%台となっています。

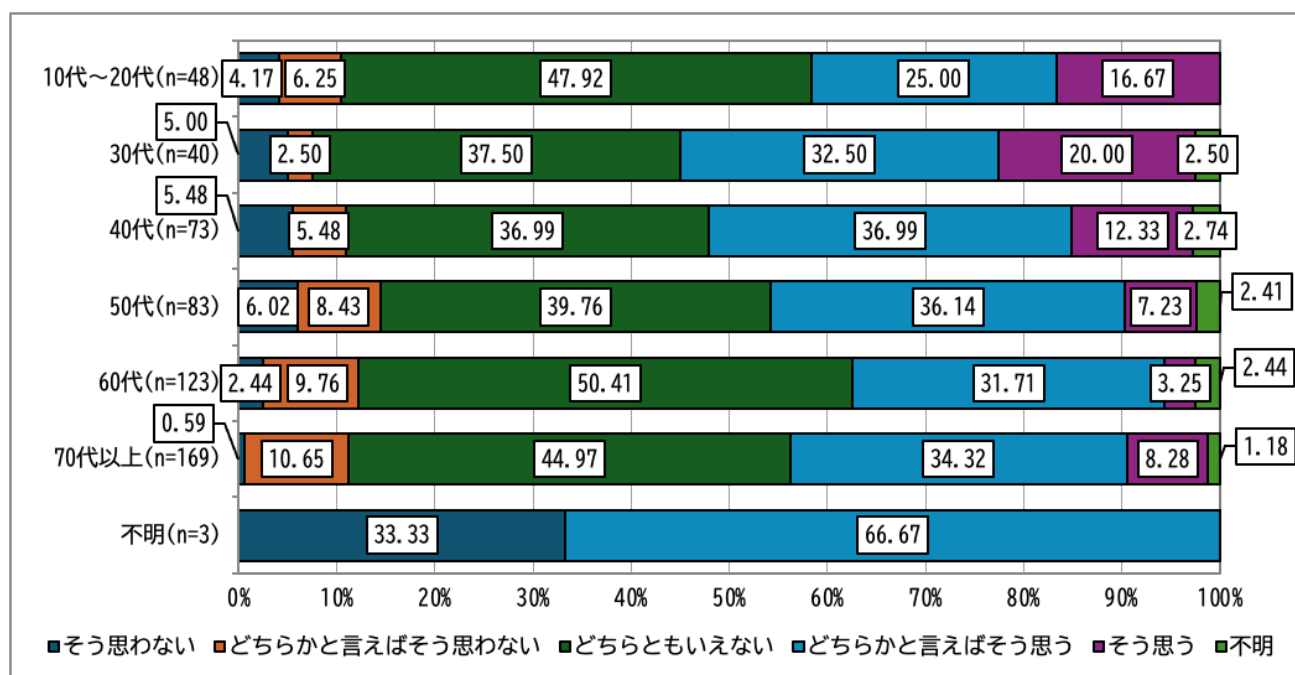
年齢別にみると、30代では取組度が最も高く、52.50%となっている一方で、60代では34.96%と唯一30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



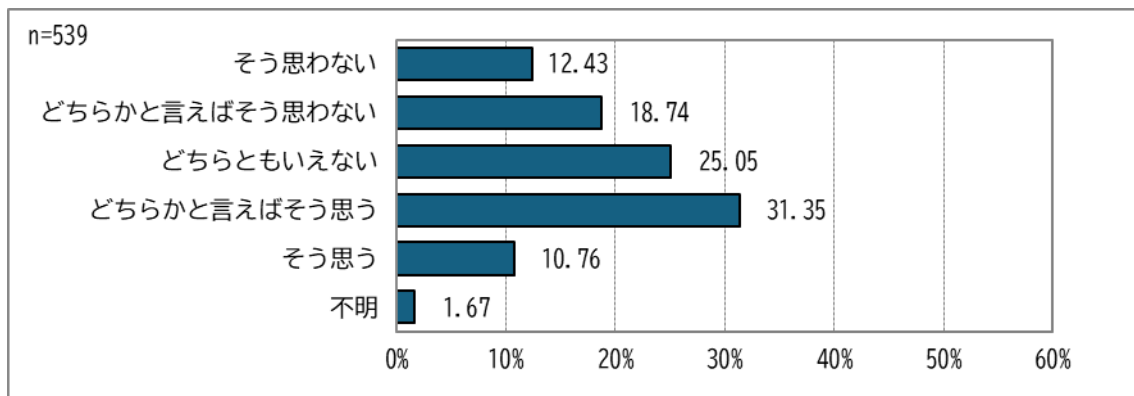
(11)必要な時に適切な医療が受けられる

【全体結果】

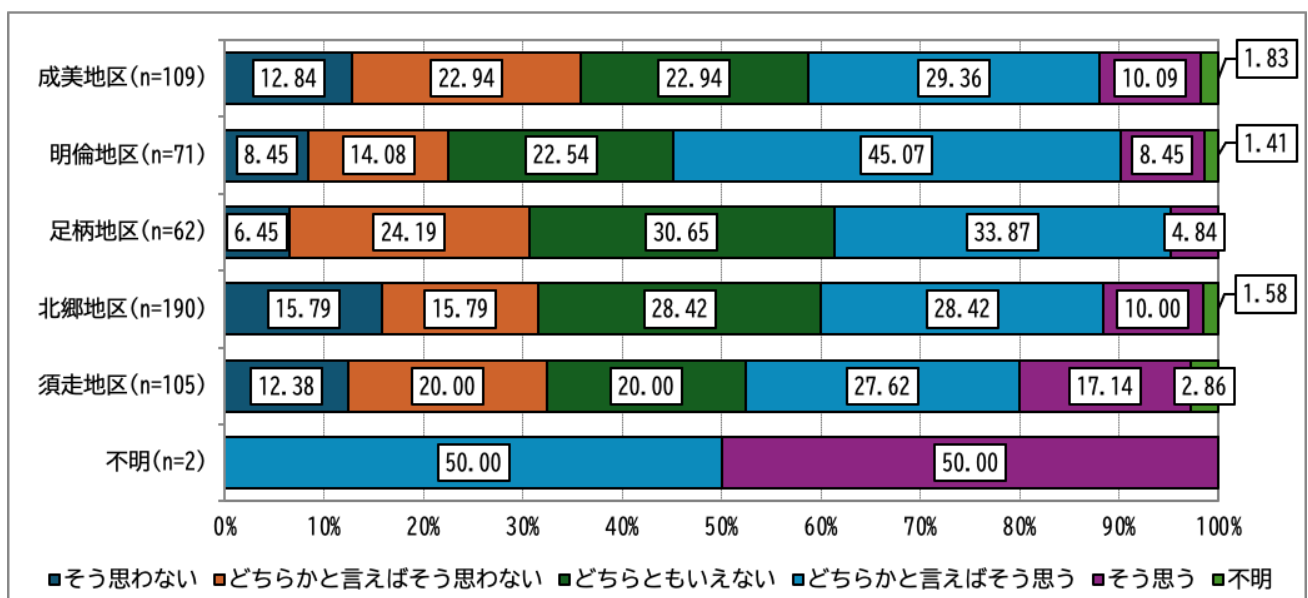
「どちらかと言えばそう思う」が31.35%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.05%、「どちらかと言えばそう思わない」が18.74%となっており、町民の満足度は42.11%となりました。

地区別にみると、明倫地区では満足度が53.52%となっている一方で、足柄地区、北郷地区、成美地区では30%台となっています。

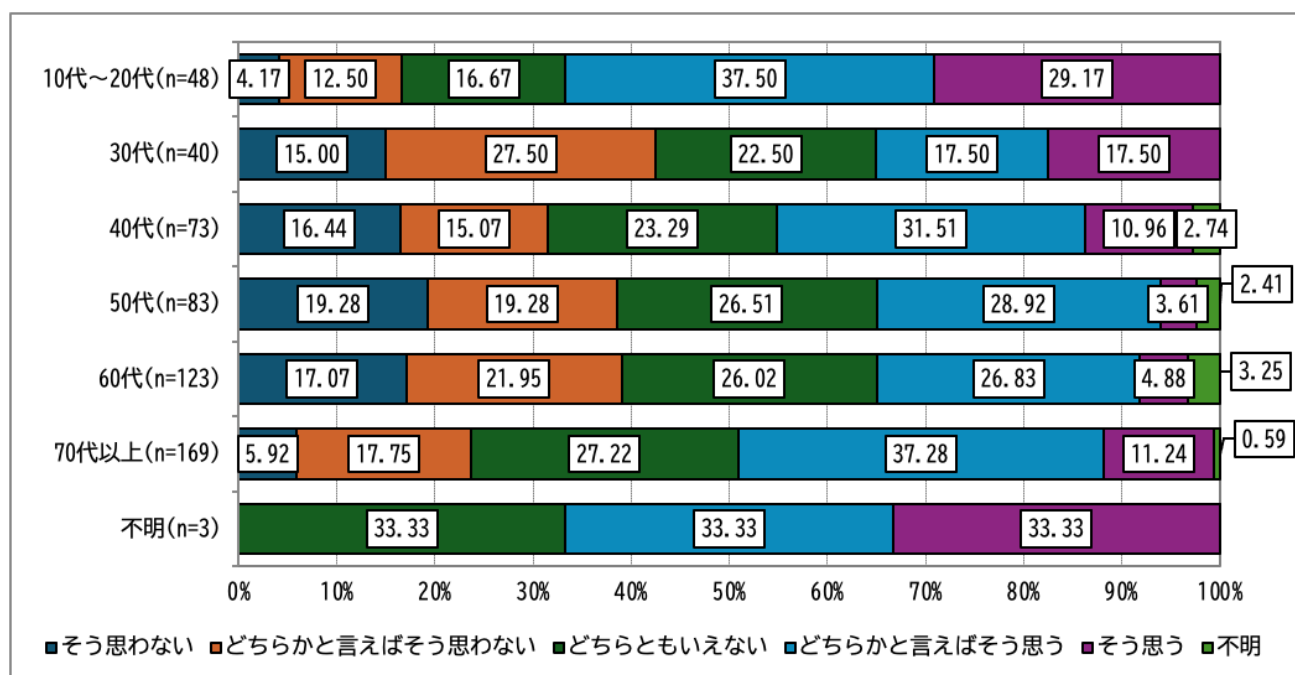
年齢別にみると、10代～20代の満足度が66.67%と高い一方で、30代、50代、60代では30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



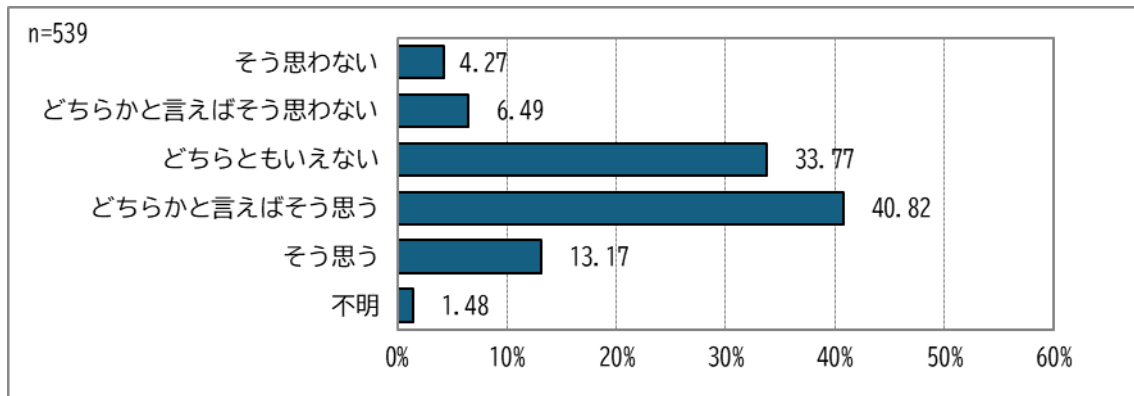
(12)人権が尊重され、差別のないまちである

【全体結果】

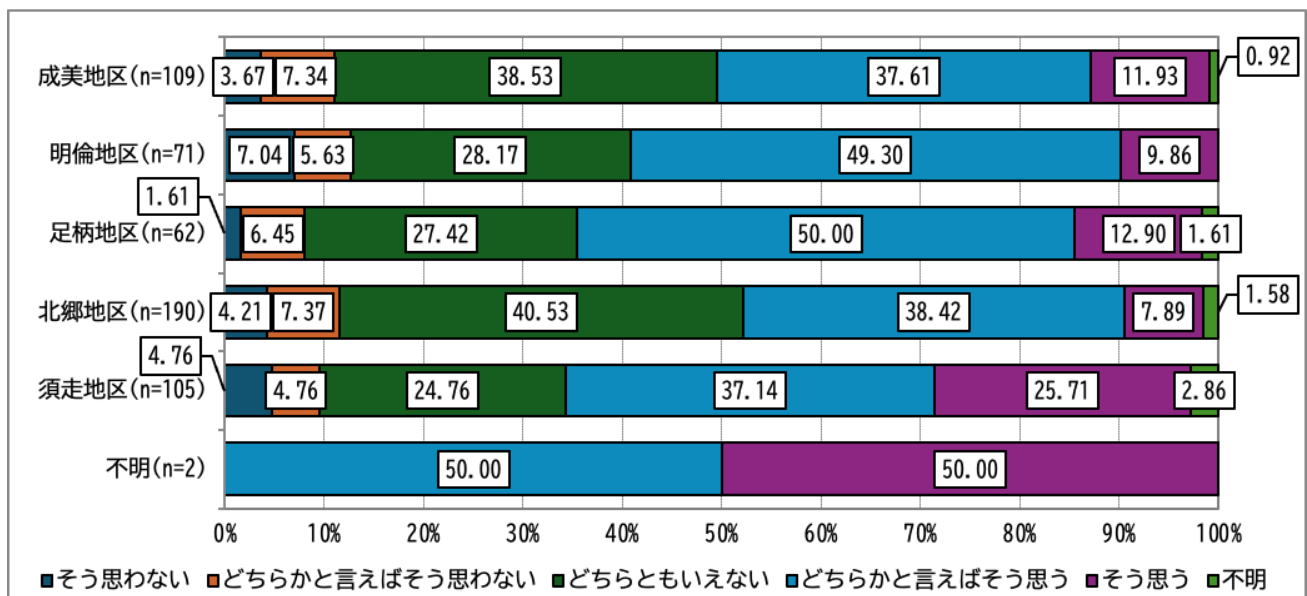
「どちらかと言えばそう思う」が40.82%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.77%、「そう思う」が13.17%となっており、町民の満足度は53.99%となりました。

地区別にみると、足柄地区の満足度が62.90%となっており、須走地区が62.85%と続いている一方で、北郷地区では46.31%となっています。

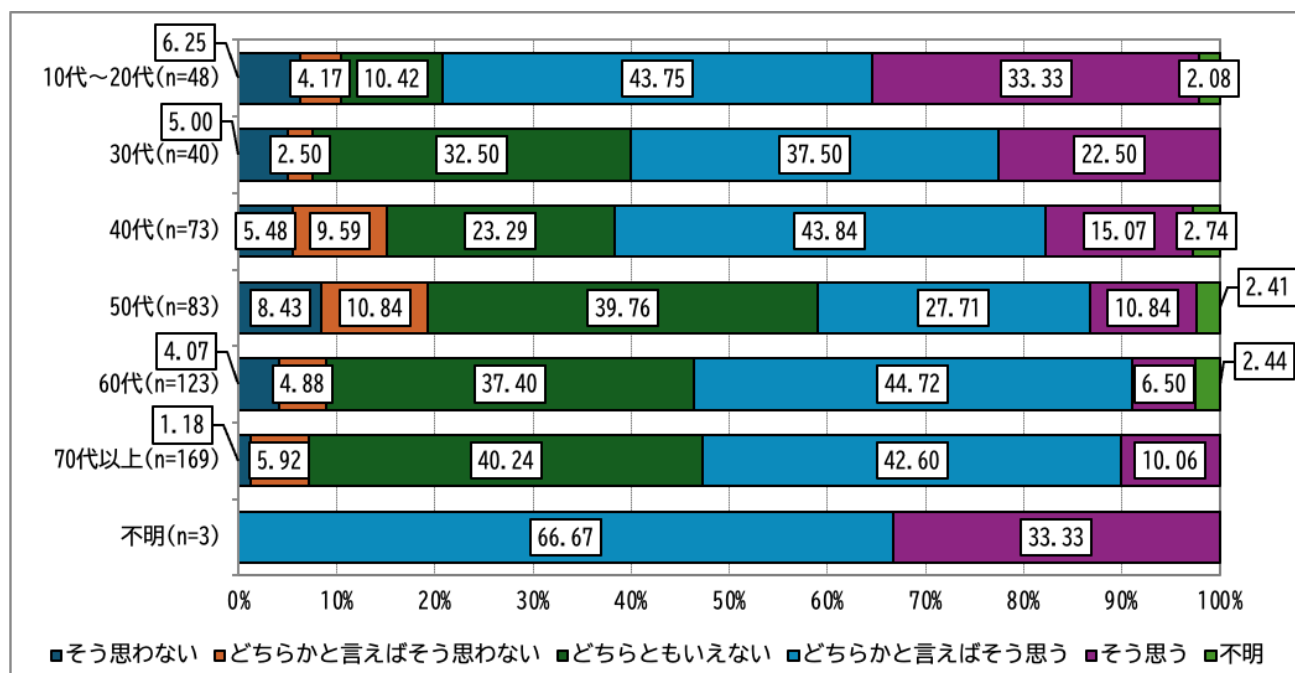
年齢別にみると、10代～20代の満足度が77.08%と他の年齢を突出して上回っている一方で、50代は38.55%と、唯一の30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



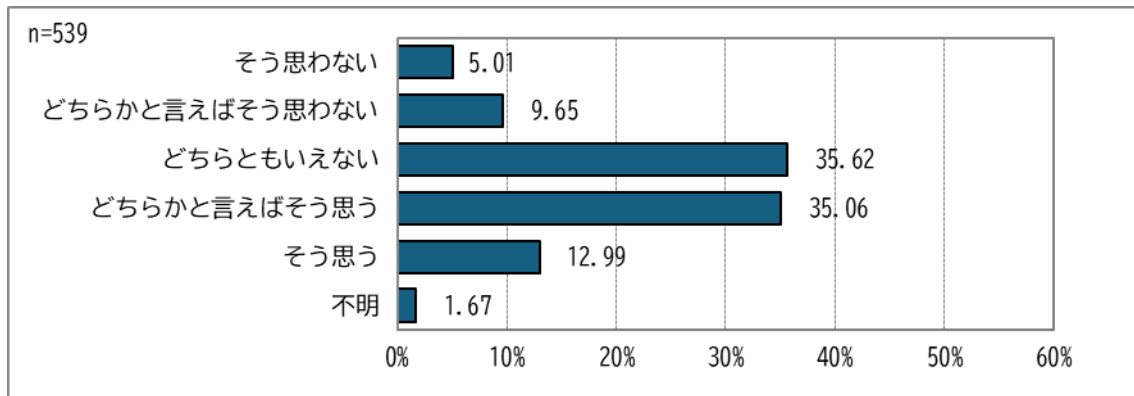
(13) 普段の生活の中で、男女が平等である

【全体結果】

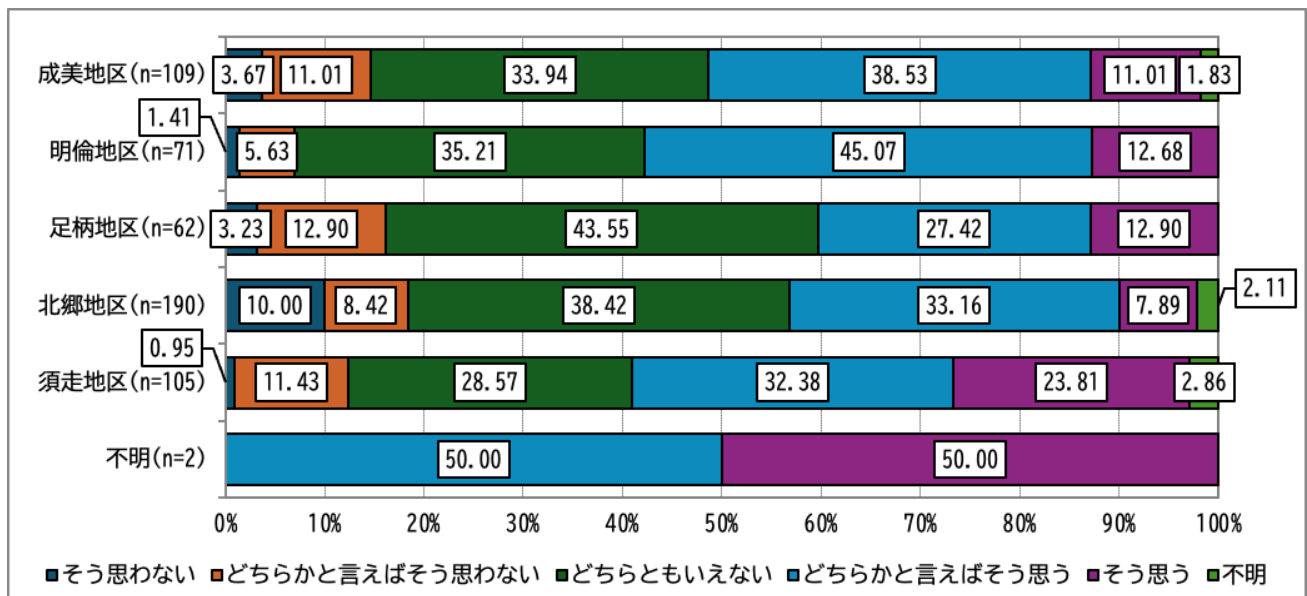
「どちらともいえない」が35.62%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が35.06%、「そう思う」が12.99%となっており、町民の満足度は48.05%となりました。

地区別にみると、須走地区、明倫地区では満足度が55%を超えている一方で、足柄地区、北郷地区では40%台前半となっています。

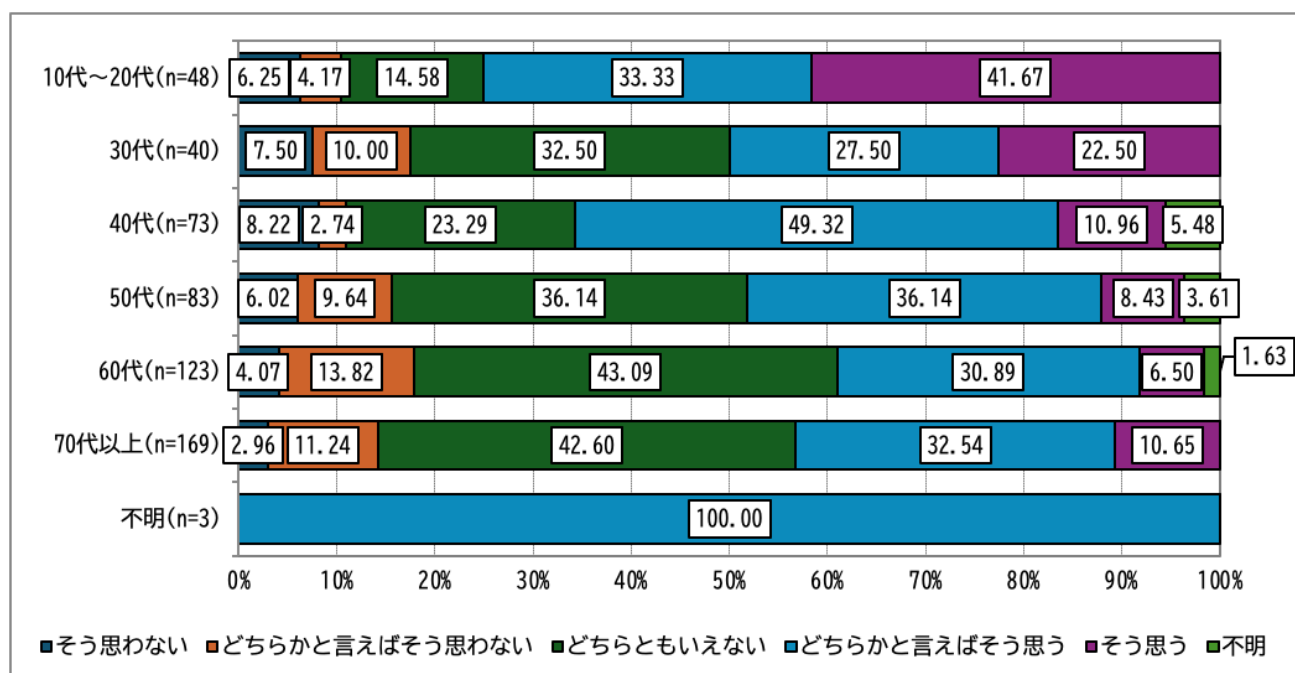
年齢別にみると、10代～20代の満足度が75.00%と最も高く、40代も60.28%となっていますが、年齢が高い60代では37.39%、70代以上では43.19%となっています。



【地区別】



【年齢別】



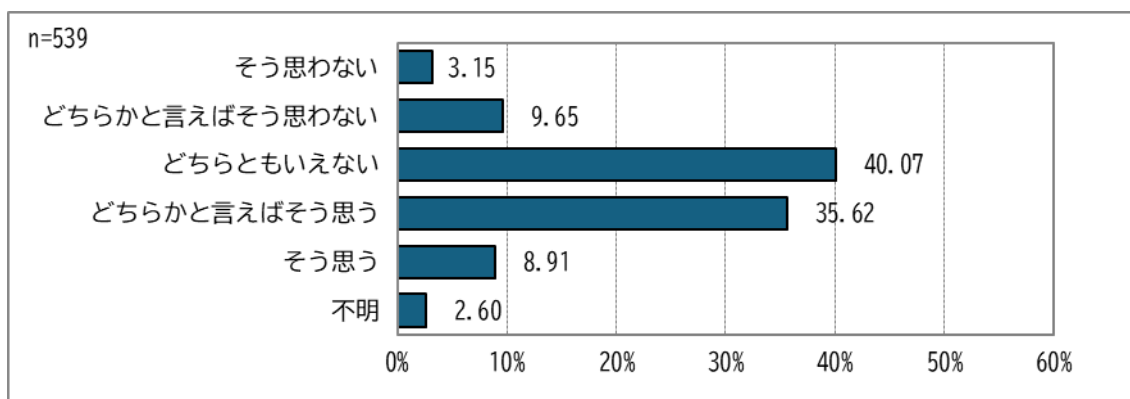
(14)子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている

【全体結果】

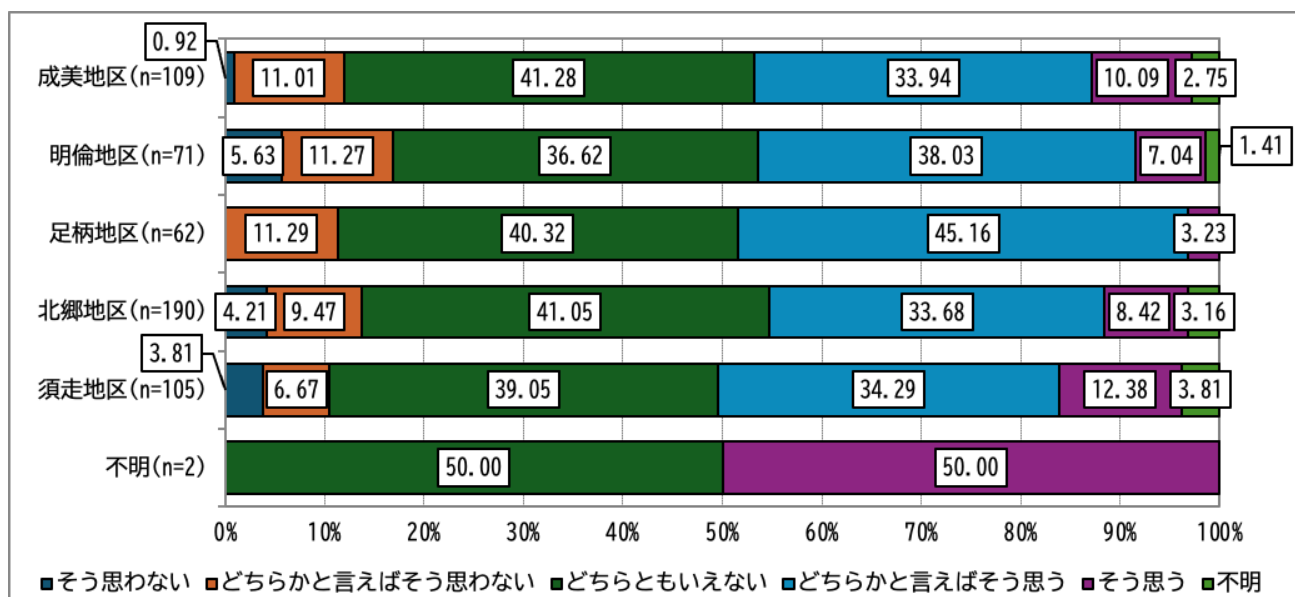
「どちらともいえない」が40.07%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が35.62%、「どちらかと言えばそう思わない」が8.91%となっており、町民の満足度は44.53%となりました。

地区別にみると、どの地区も40%台となっています。

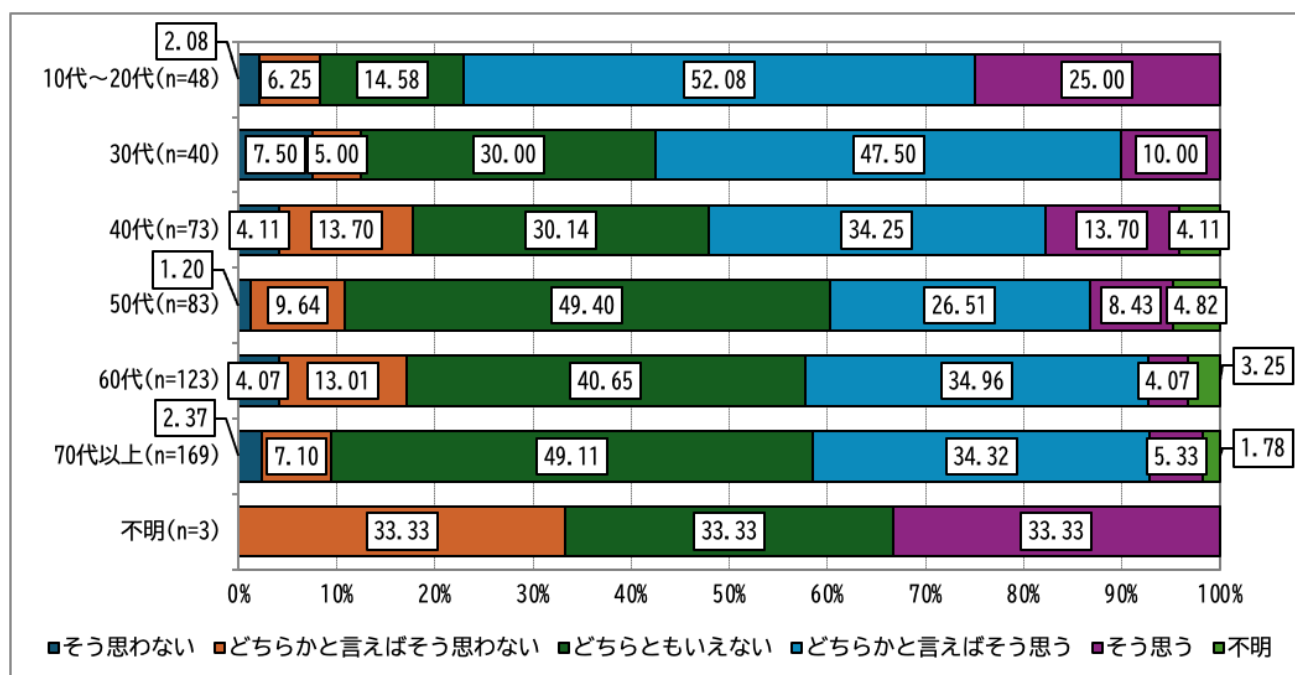
年齢別にみると、子育て世代が多い年齢を中心に満足度は高く、10代～20代が77.08%、30代が57.50%となっています。



【地区別】



【年齢別】



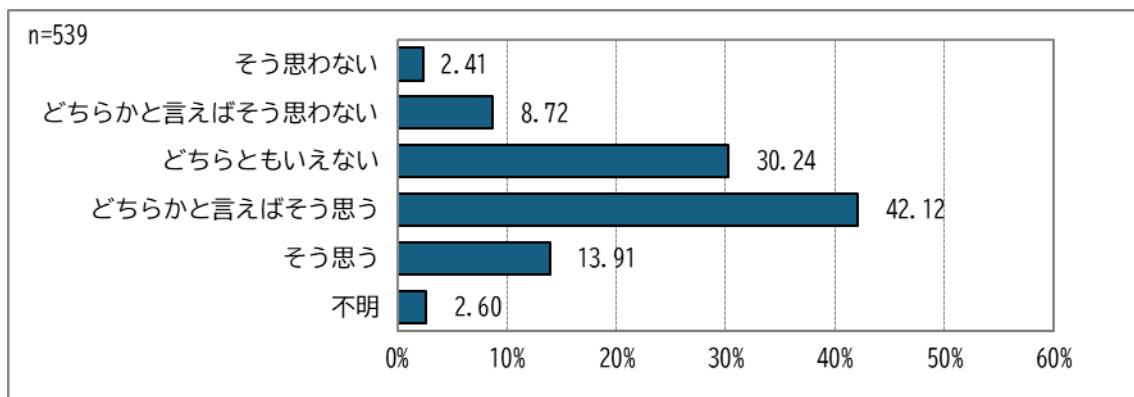
(15)次世代を担う子どもたちが健やかに成長している

【全体結果】

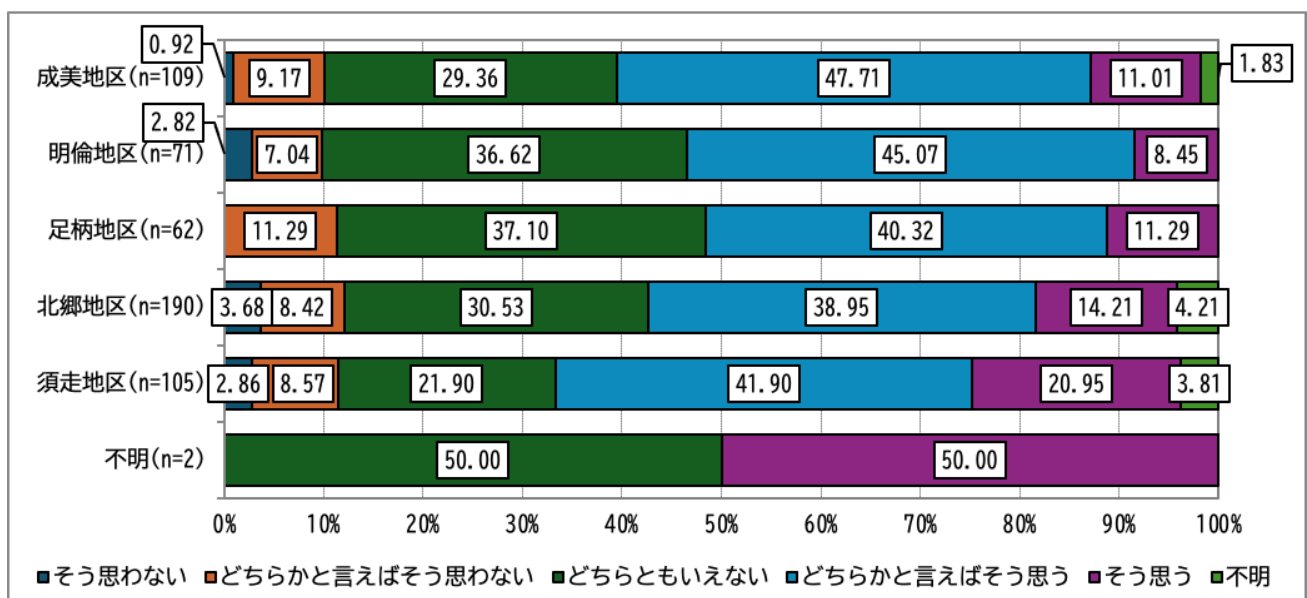
「どちらかと言えばそう思う」が42.12%、次いで「どちらともいえない」が30.24%、「そう思う」が13.91%となっており、町民の満足度は56.03%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が62.85%と最も高いほか、どの地区でも満足度が50%を超えています。

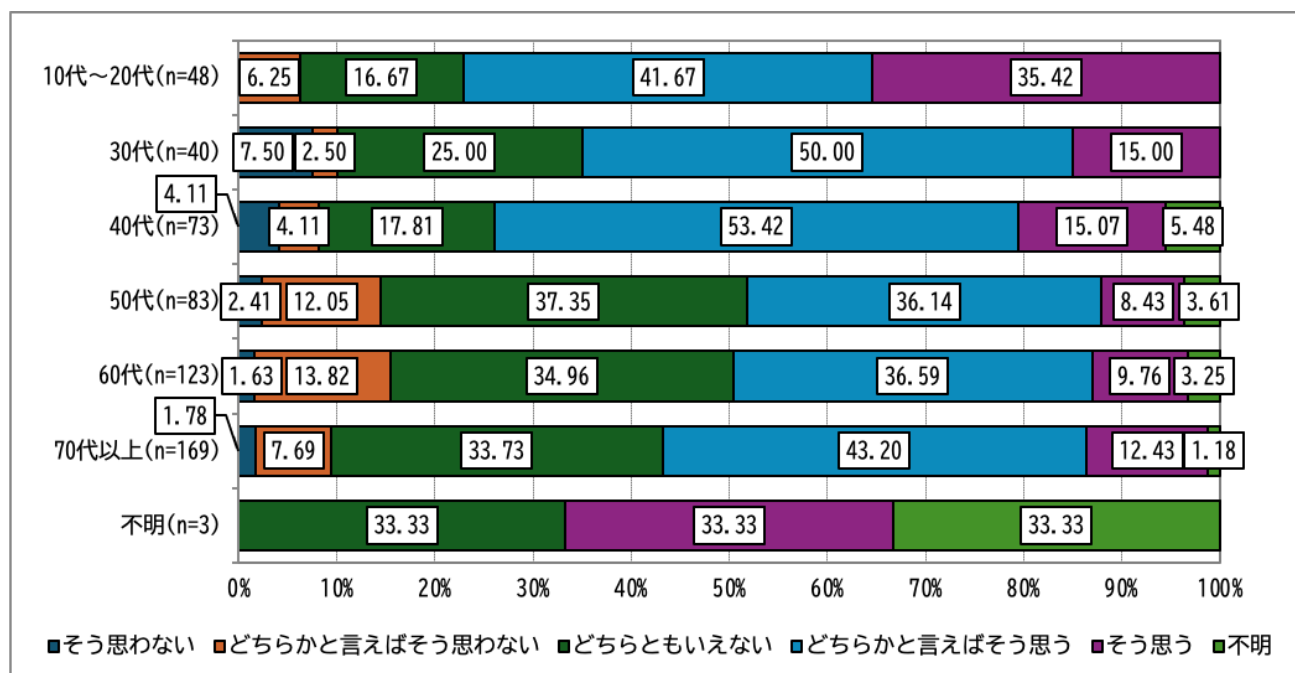
年齢別にみると、(6)、(14)と同様に、子育て世代が多い10代～20代、30代、40代の満足度が高くなっており、65%を超えています。



【地区別】



【年齢別】



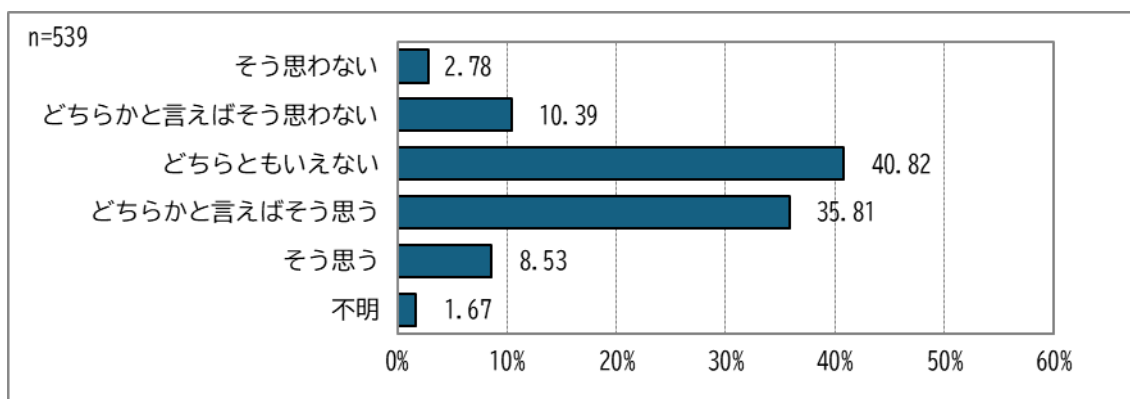
(16)生涯学習活動の機会や場が充実している

【全体結果】

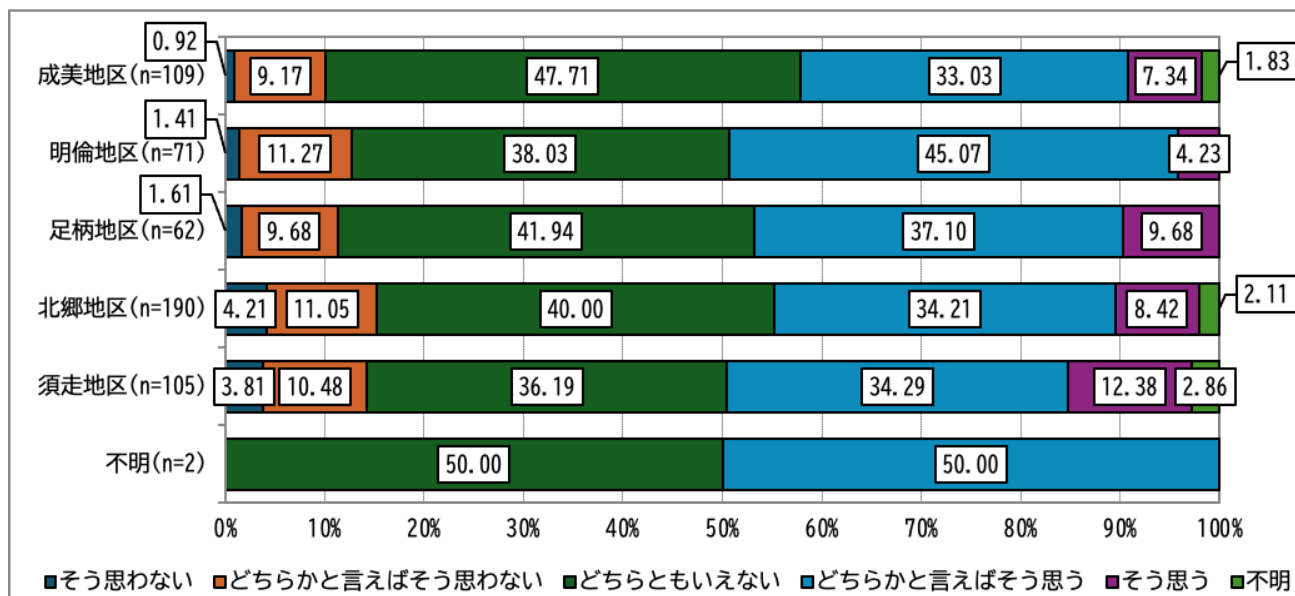
「どちらともいえない」が40.82%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が35.81%、「どちらかと言えばそう思わない」が10.39%となっており、町民の満足度は44.34%となりました。

地区別にみると、すべての地区で満足度が40%台となっています。

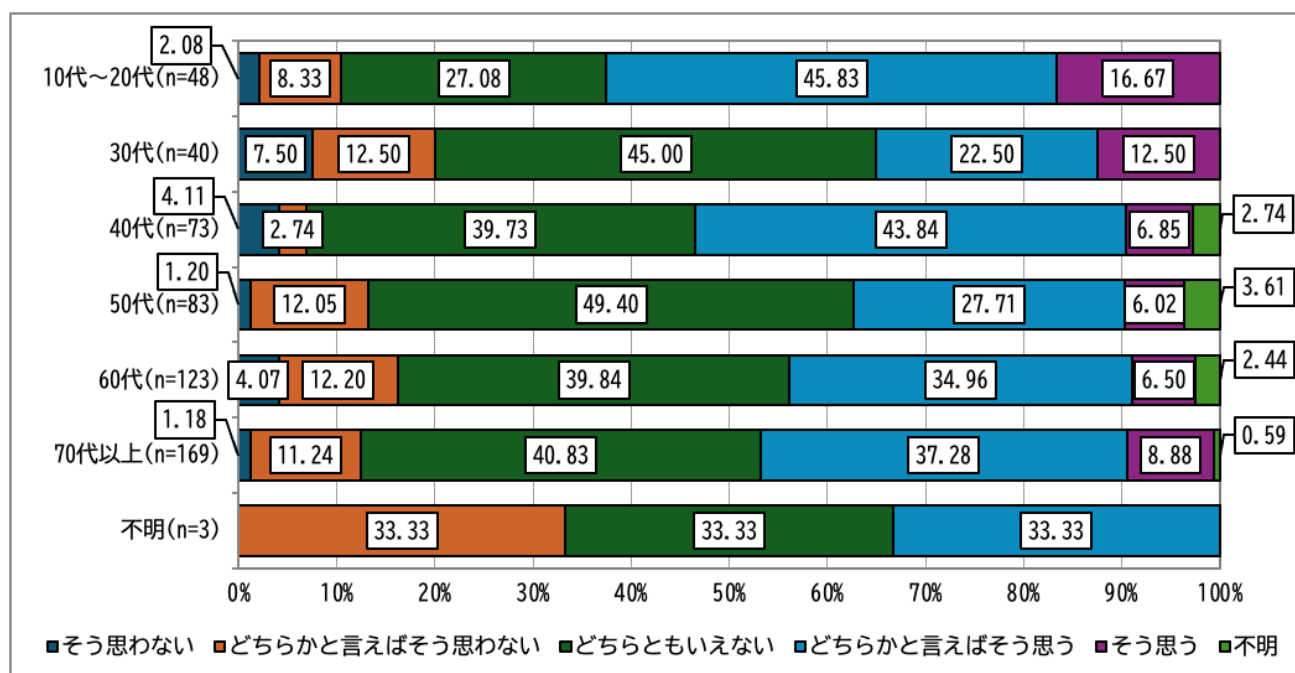
年齢別にみると、50代の満足度が33.73%、30代の満足度が35.00%と、他の世代より低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



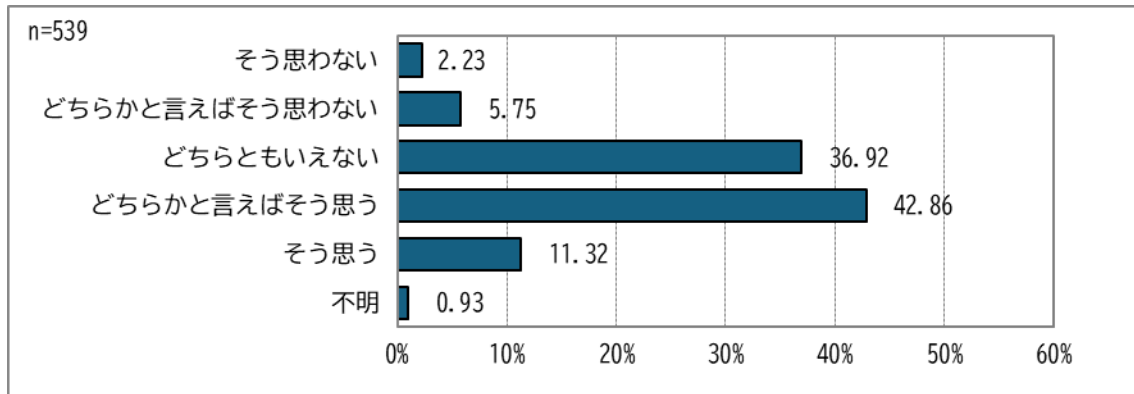
(17)町民が伝統文化や郷土を大切にしている

【全体結果】

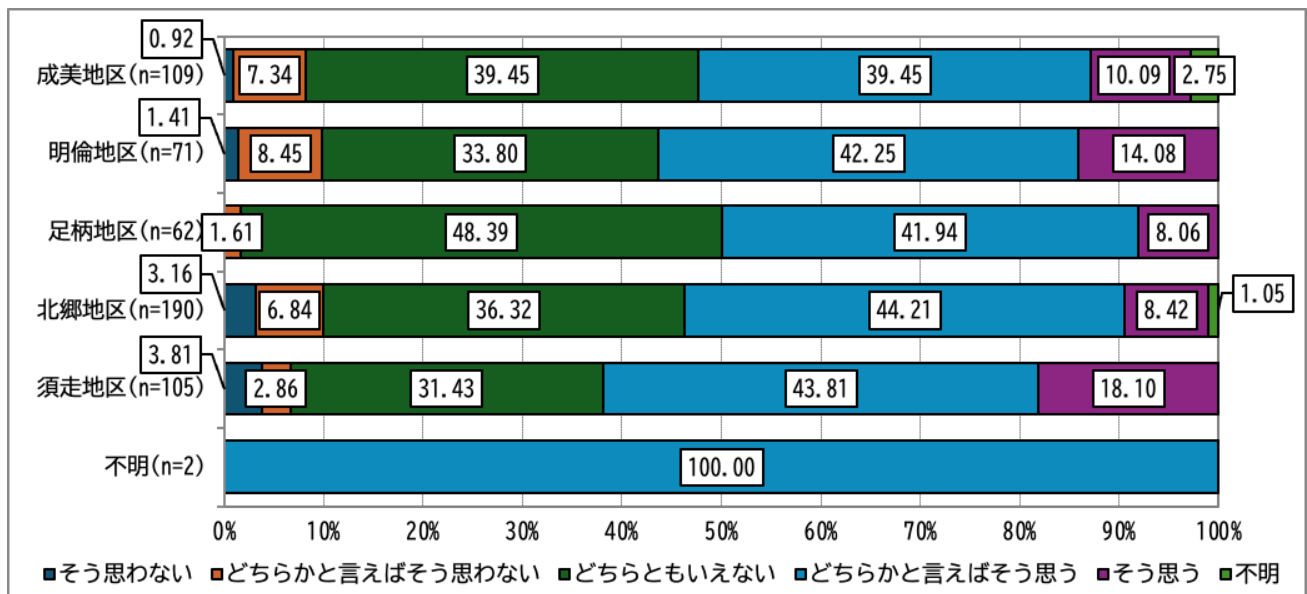
「どちらかと言えばそう思う」が42.86%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.92%、「そう思う」が11.32%となっており、町民の取組度は54.18%となりました。

地区別にみると、須走地区の取組度が61.91%と最も高くなっています。他の地区は50%前後となっています。

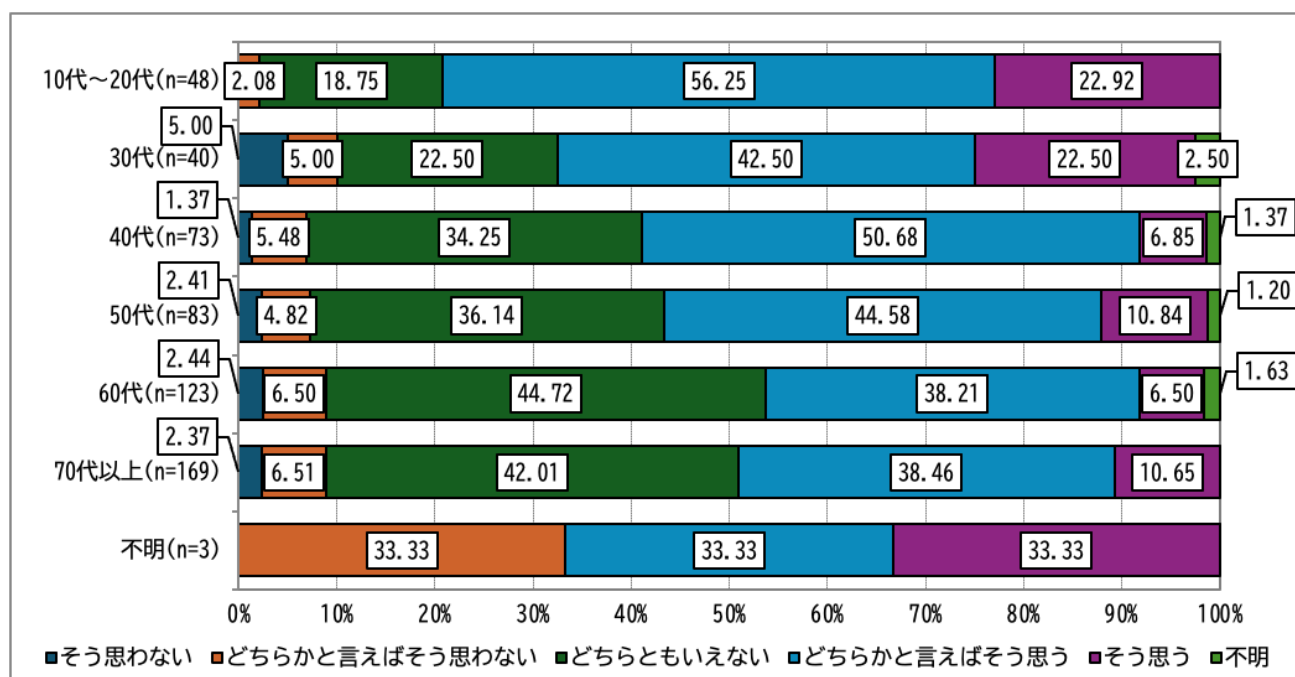
年齢別にみると、年齢が低いほど取組度が高くなっている一方で、60代、70代以上の取組度は50%に満たない結果となっています。



【地区別】



【年齢別】



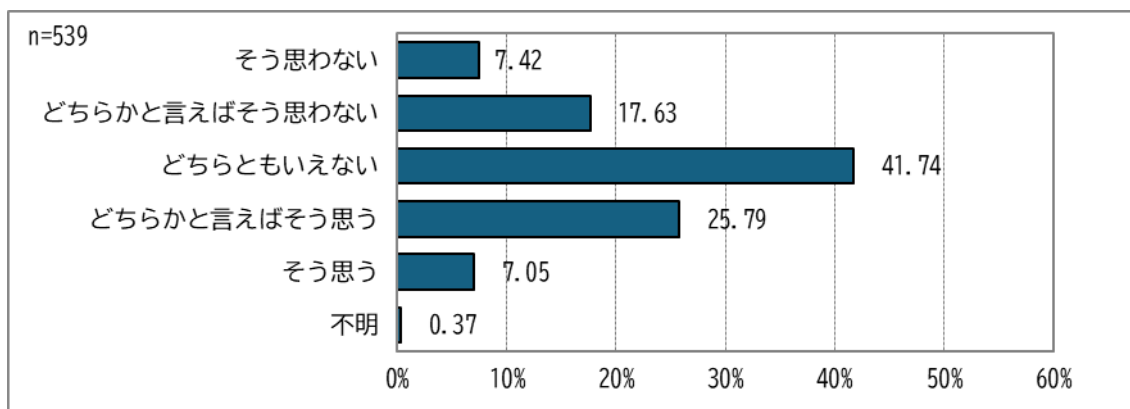
(18)音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある

【全体結果】

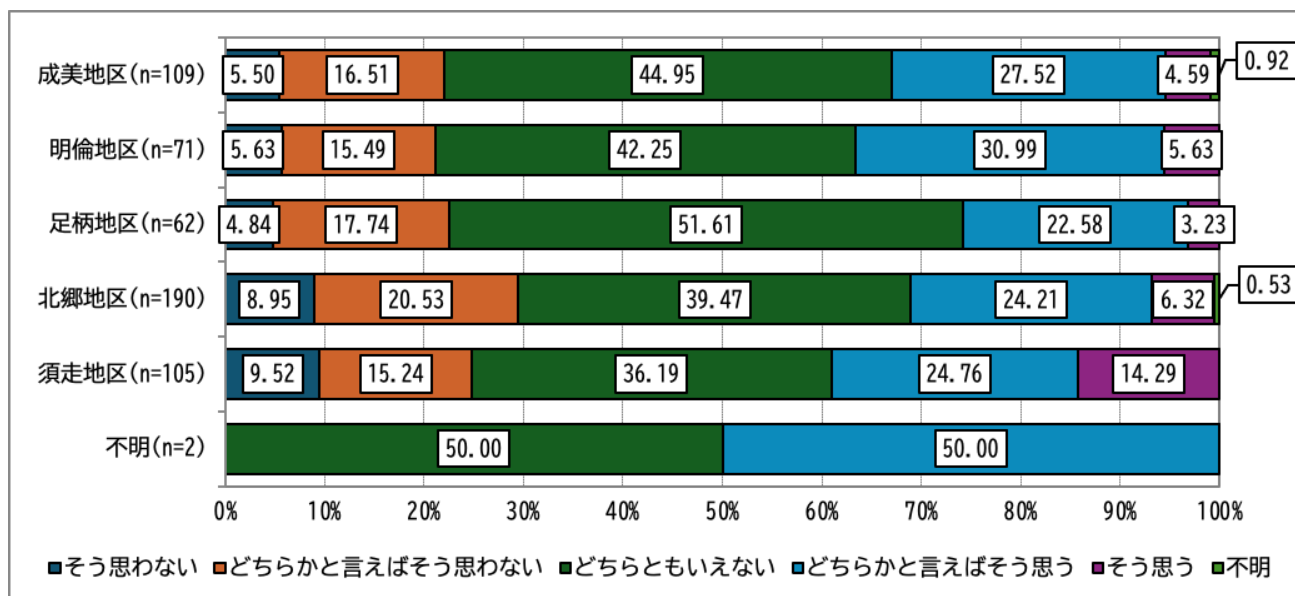
「どちらともいえない」が41.74%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が25.79%、「どちらかと言えばそう思わない」が17.36%となっており、町民の満足度は32.84%となりました。

地区別にみると、足柄地区の満足度が25.81%と最も低くなっており、他の地区も30%台となっています。

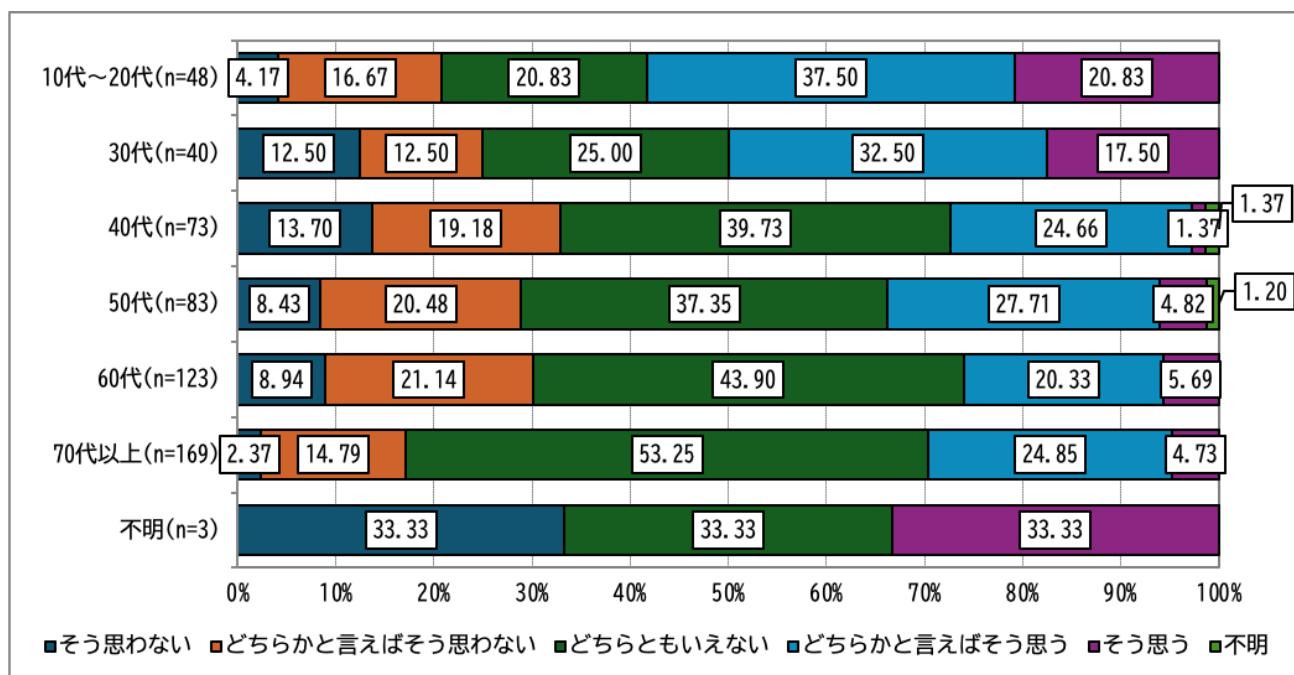
年齢別にみると、10代～20代の満足度が58.33%と最も高く、次いで30代が50.00%となっていますが、それ以外の年齢の満足度は20%台から30%台前半にとどまっています。



【地区別】



【年齢別】



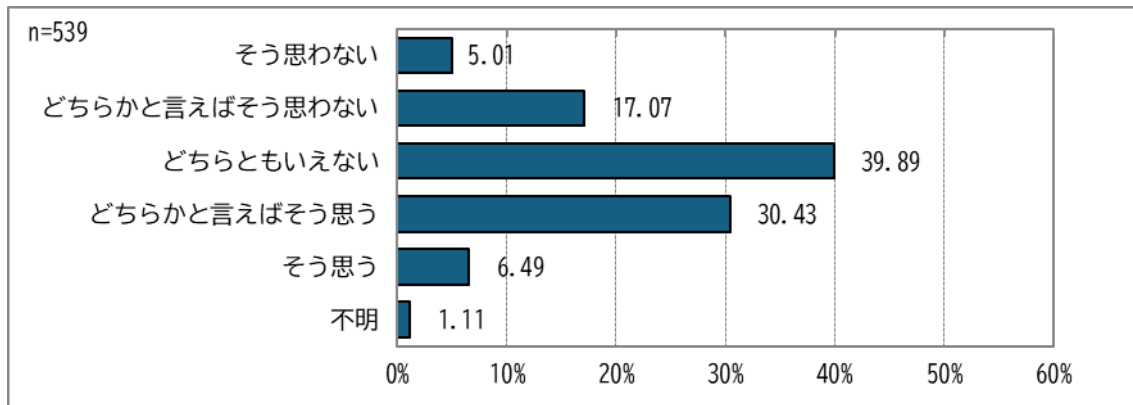
(19)町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている

【全体結果】

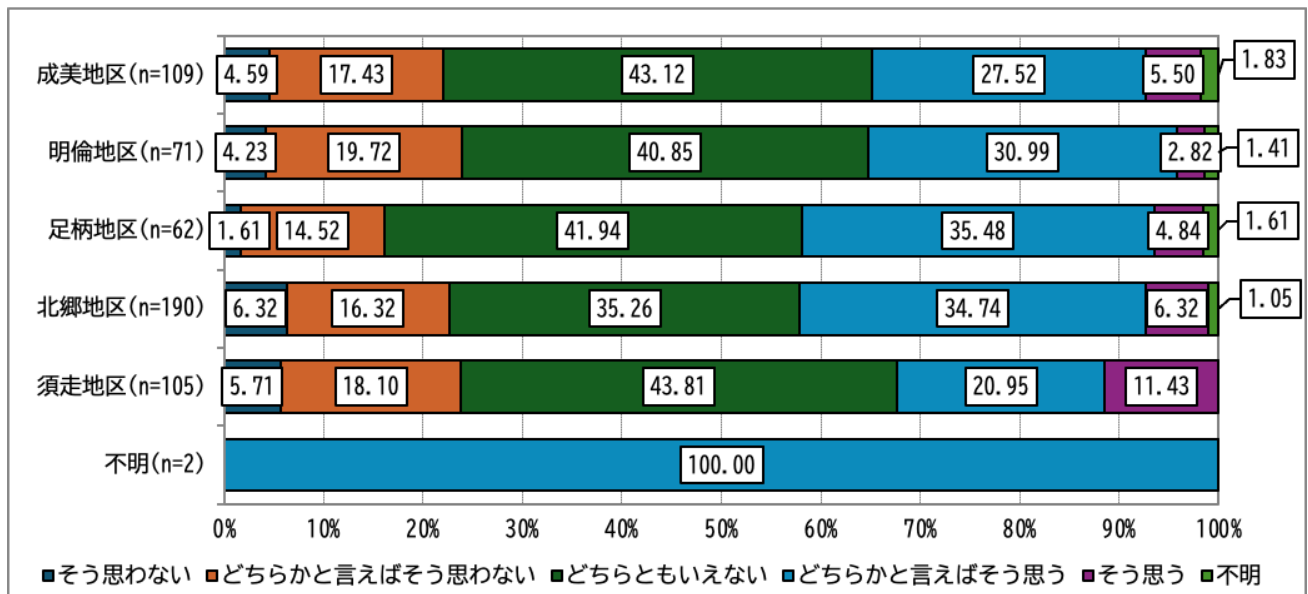
「どちらともいえない」が39.89%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が30.43%、「どちらかと言えばそう思わない」が17.07%となっており、町民の満足度は36.92%となりました。

地区別にみると、どの地区も満足度は30%から40%台前半となっています。

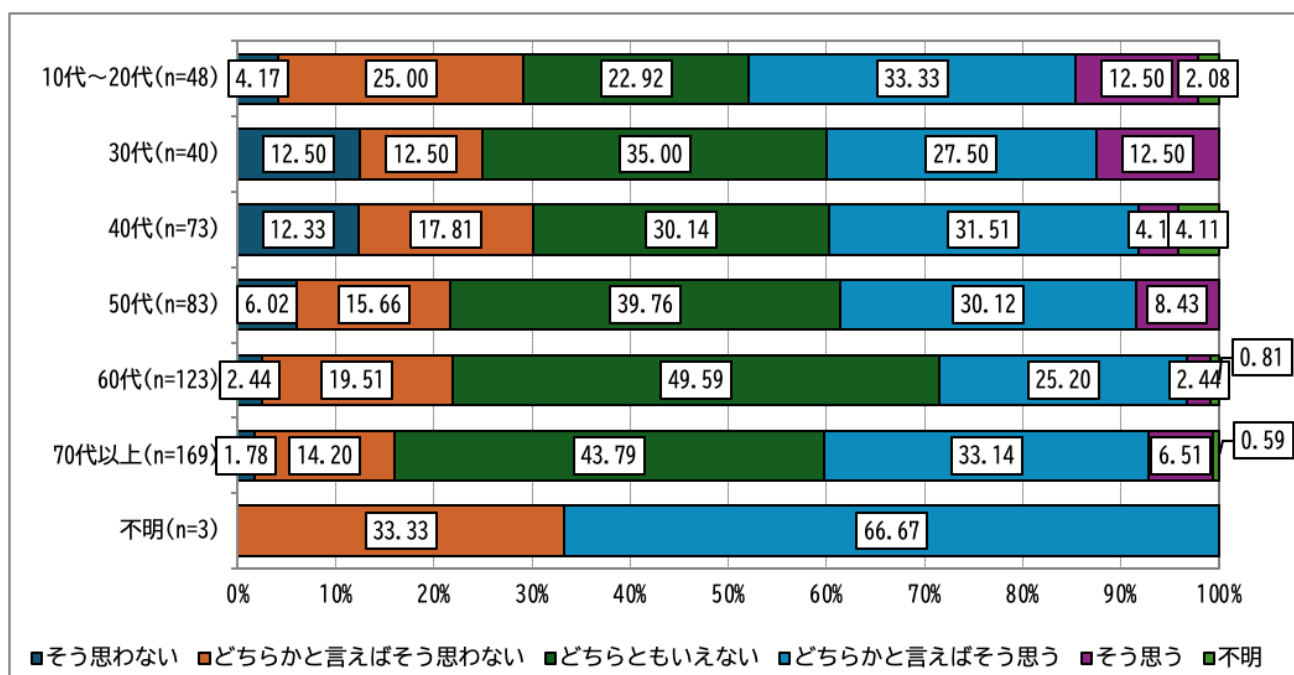
年齢別にみると、60代の満足度は27.64%と最も低くなっています。他の年齢も、30%台後半から40%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



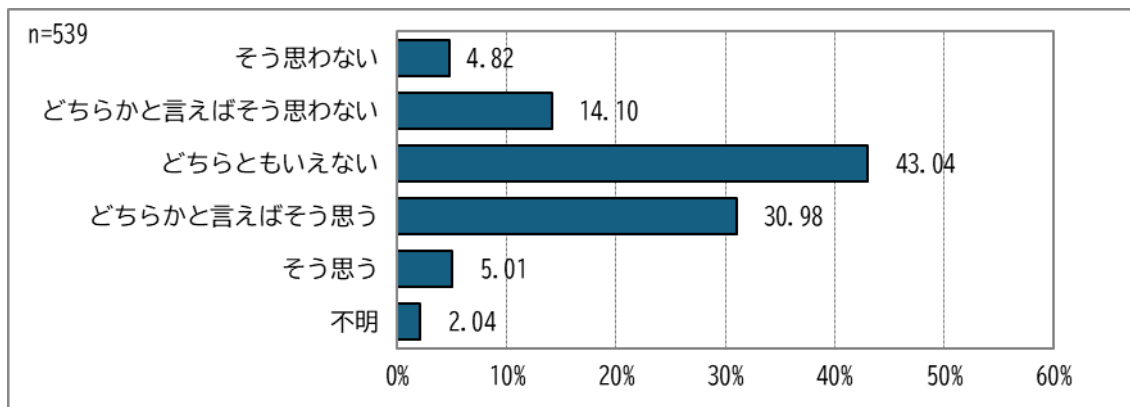
(20) イベント等の異文化交流が活発に行われている

【全体結果】

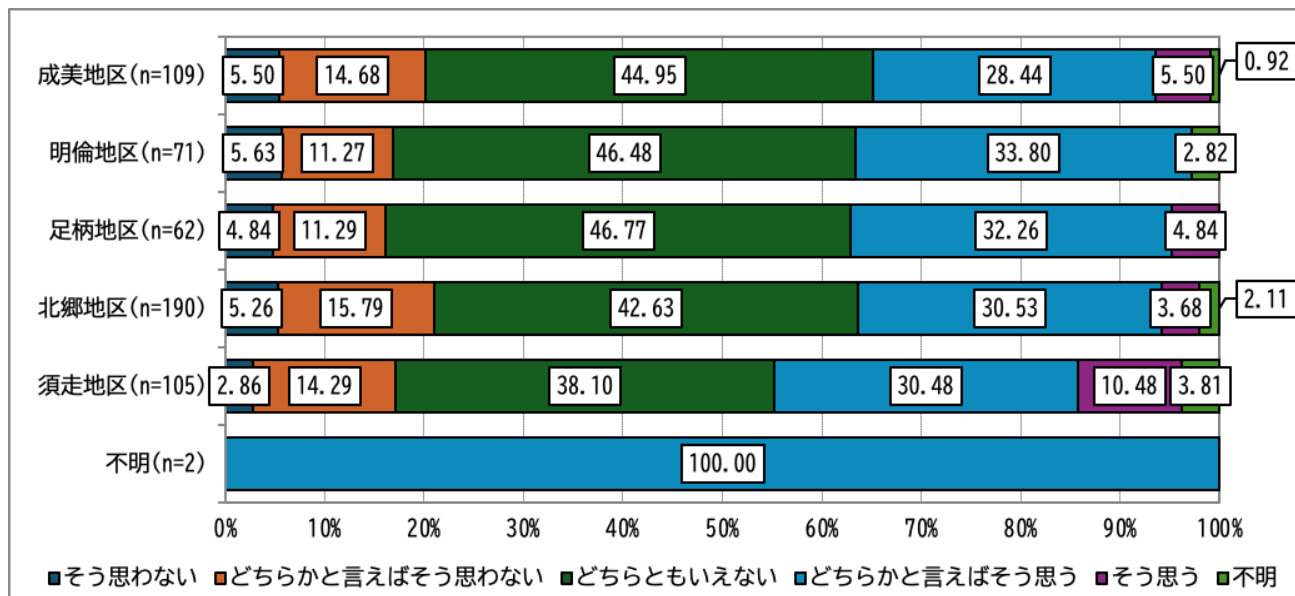
「どちらともいえない」が43.04%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が30.98%、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が14.10%となっており、町民の満足度は35.99%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が40.96%と最も高く、他の地区では30%台となっています。

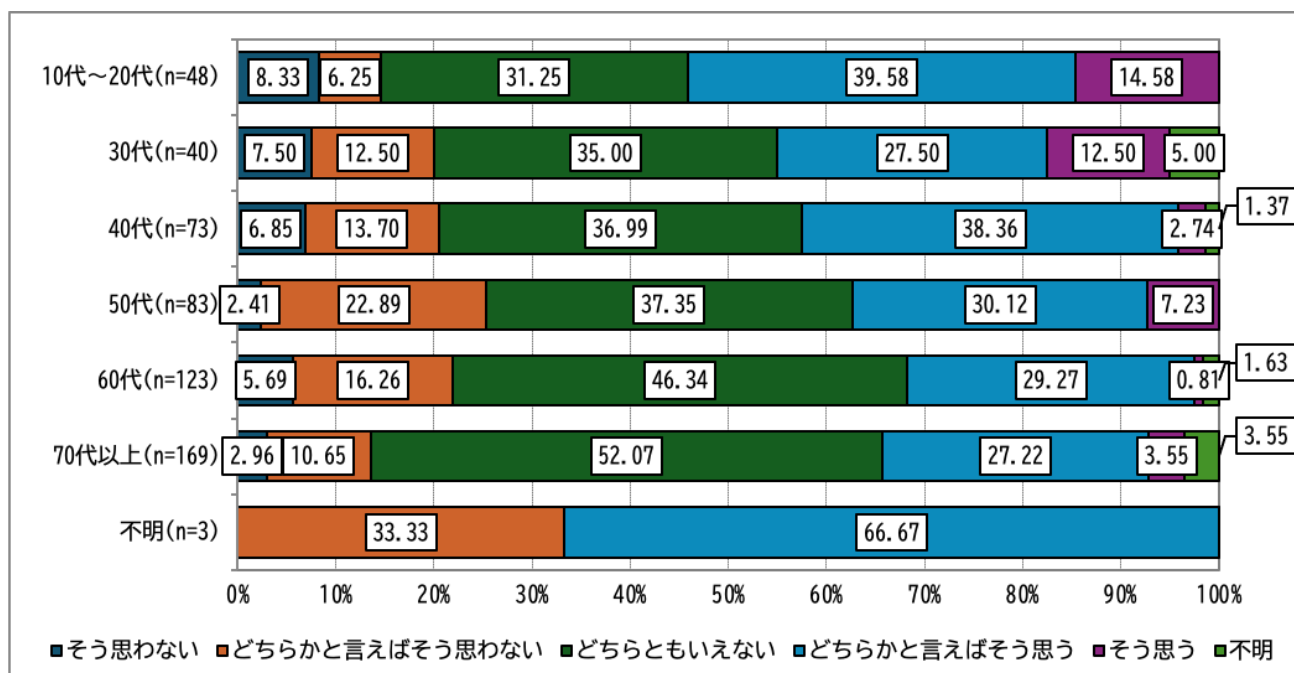
年齢別にみると、年齢が低いほど満足度が高く、10代～20代では54.16%となりました。一方で、60代、70代以上では30.0%台と低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



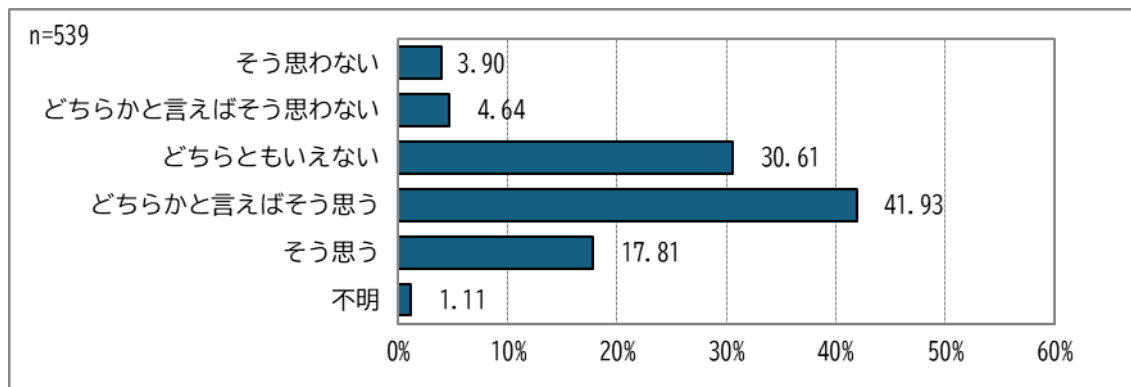
(21)小山町は企業誘致を活発に進めている

【全体結果】

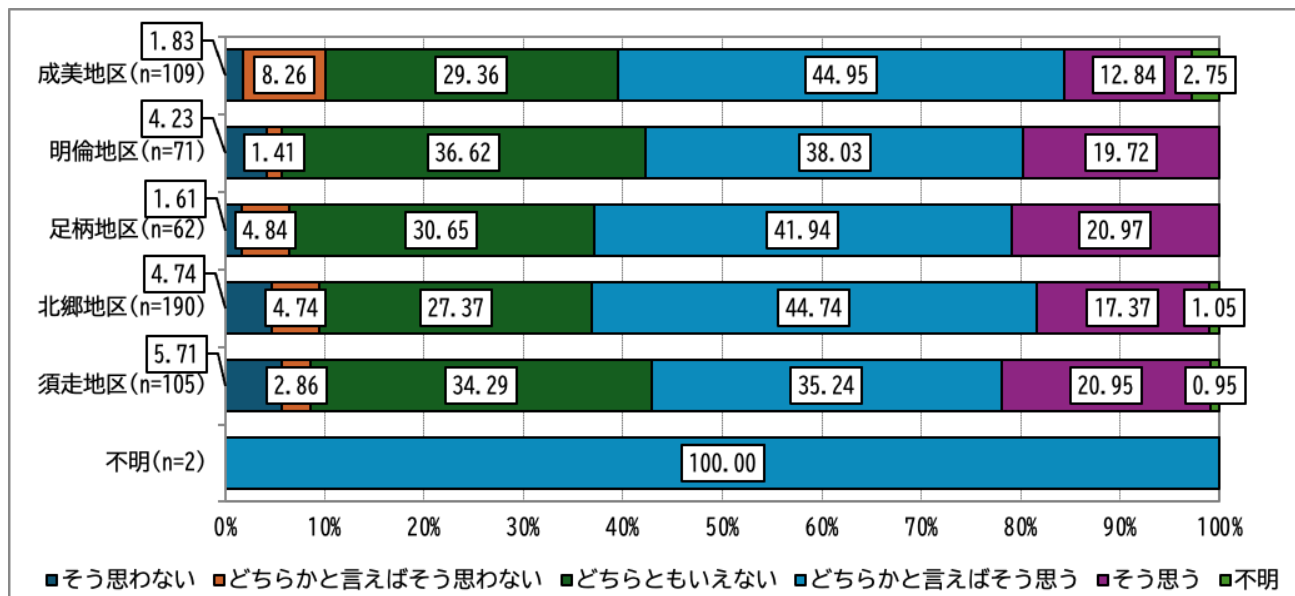
「どちらかと言えばそう思う」が41.93%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.61%、「そう思う」が17.81%となり、町民の満足度は59.74%となりました。

地区別でみると、どの地区でも満足度は50%台後半から60%台前半となっています。

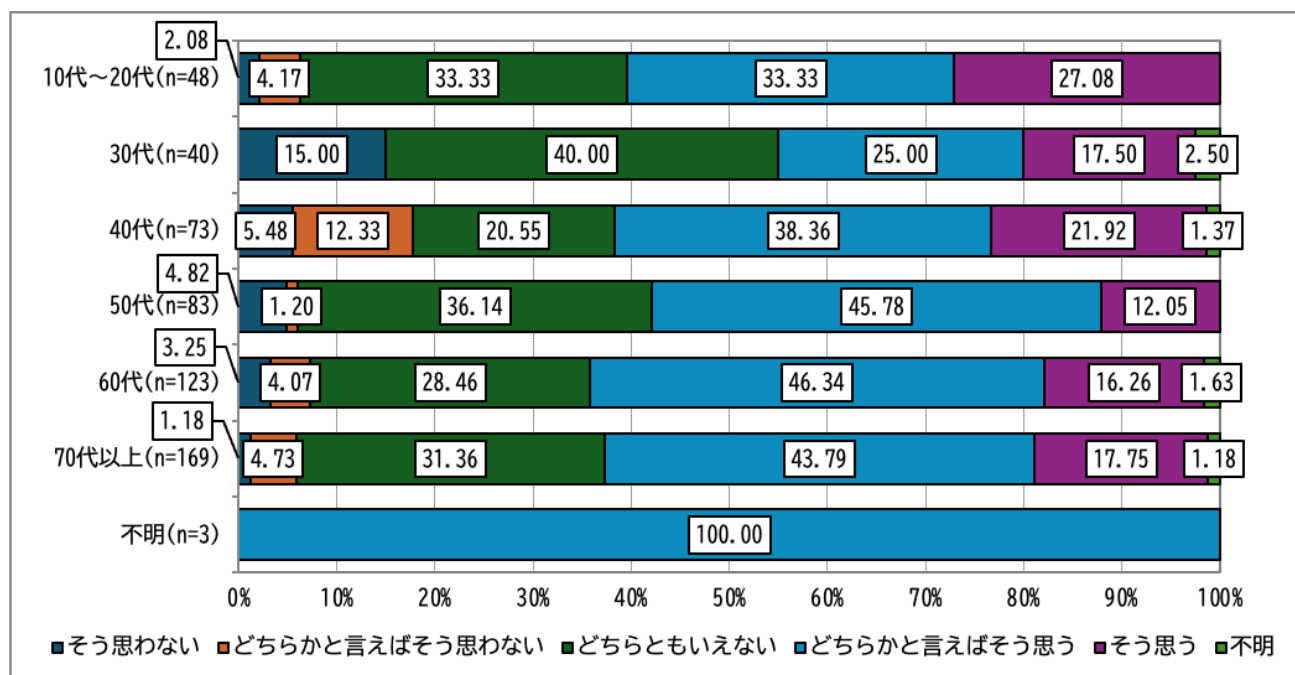
年齢別にみると、30代を除くすべての年齢で50%台後半から60%台前半の満足度となっている一方で、30代では42.50%にとどまっています。



【地区別】



【年齢別】



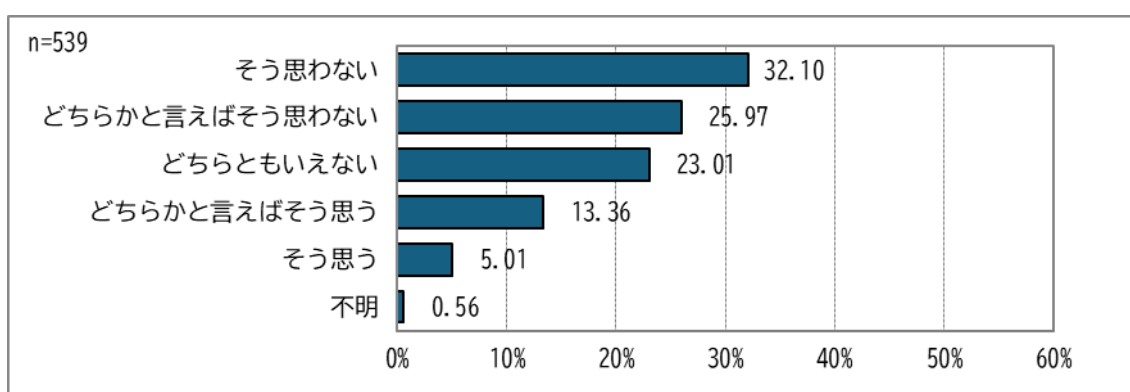
(22)買い物に不便がないと感じる

【全体結果】

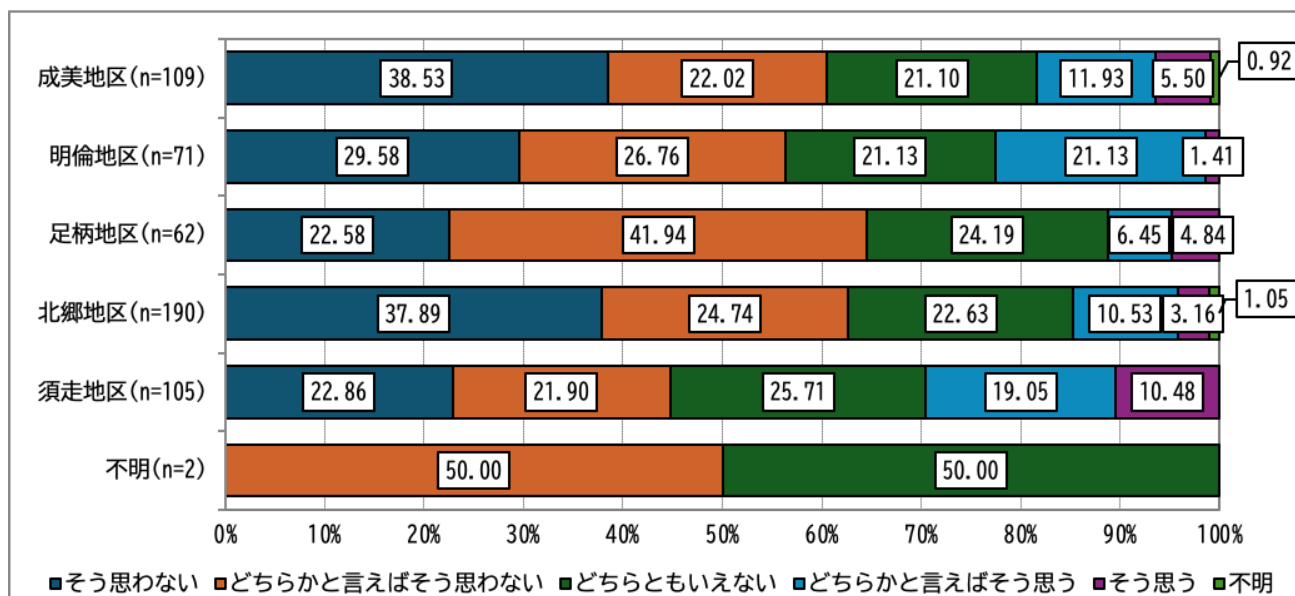
「そう思わない」が32.10%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が25.97%、「どちらともいえない」が23.01%となっており、町民の満足度は18.37%となりました。

地区別にみると、足柄地区の満足度が最も低く、11.29%となりました。また、北郷地区で13.69%、成美地区でも17.43%と10%台が続いています。最も高い須走地区でも29.53%と、すべての地区で30%を下回っています。

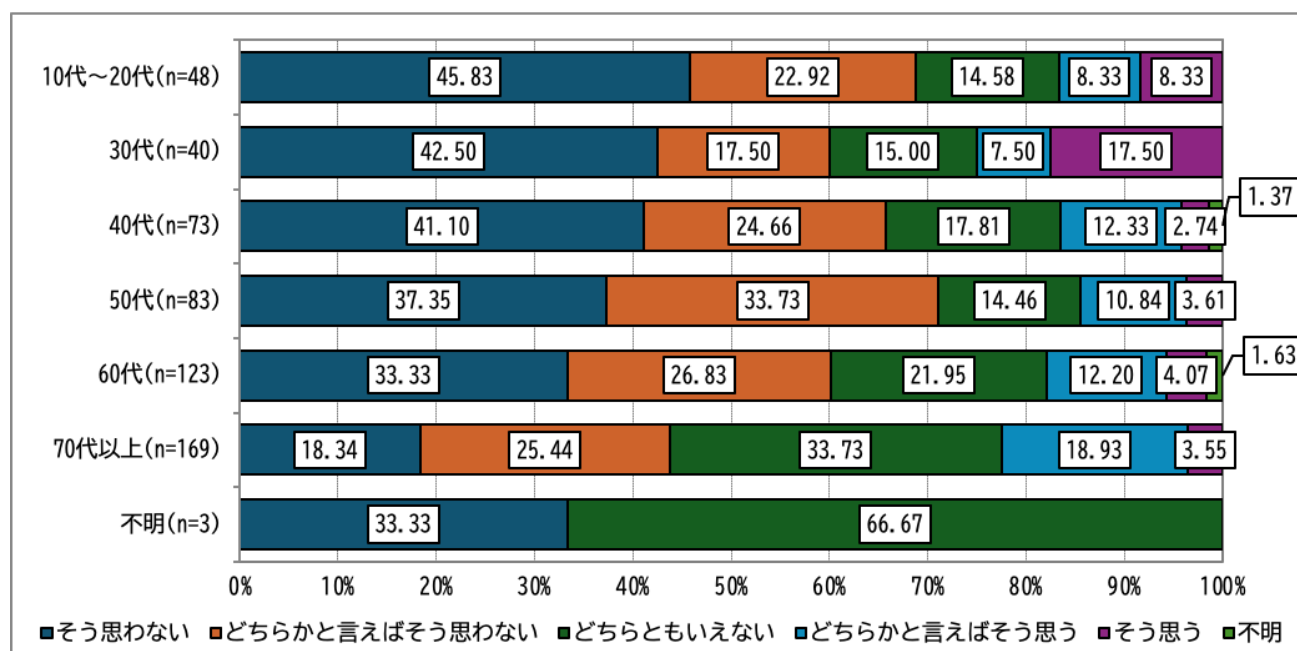
年齢別にみると、30代、70代以上を除いた世代で満足度は10%台となっています。他の項目では比較的満足度が高い10代～20代の満足度が16.66%と低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



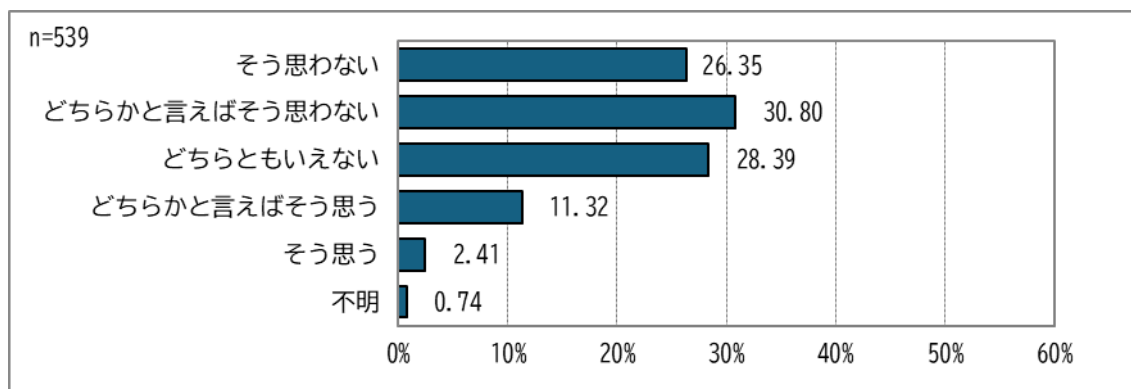
(23) 小山町が観光客でにぎわっている

【全体結果】

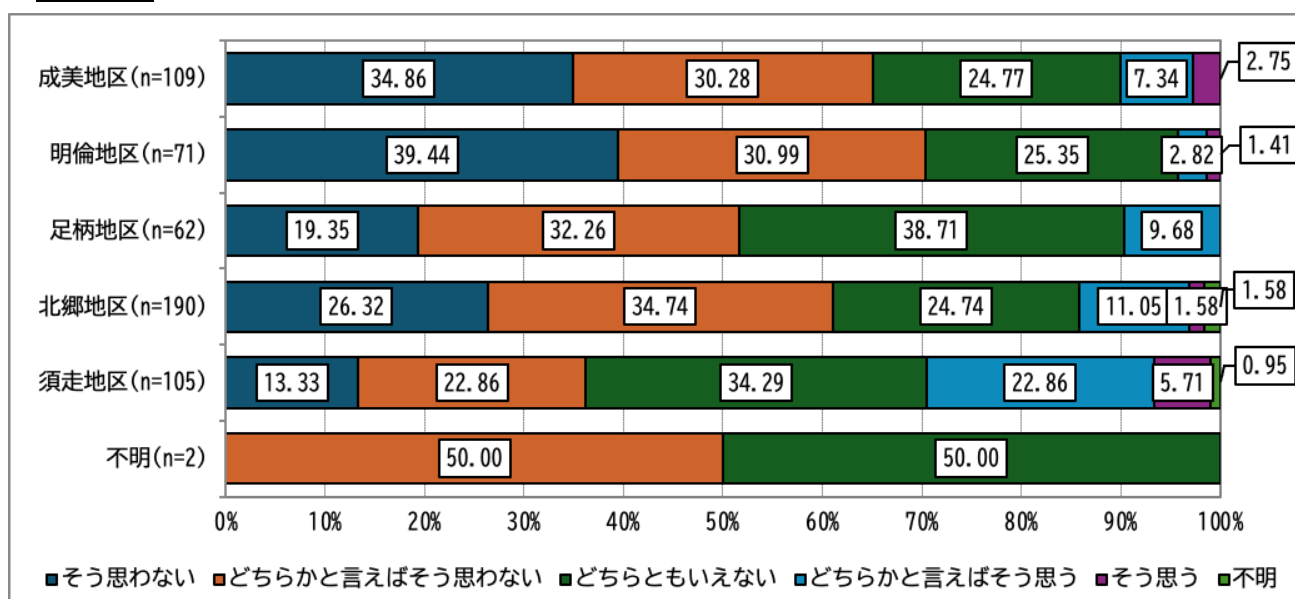
「どちらかと言えばそう思わない」が30.80%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.39%、「そうは思わない」が26.35%となっており、町民の満足度は13.73%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度は28.57%となっている一方で、明倫地区では4.23%、足柄地区では9.68%と、全体を通して満足度が低い中でも、地域の差があることが分かります。

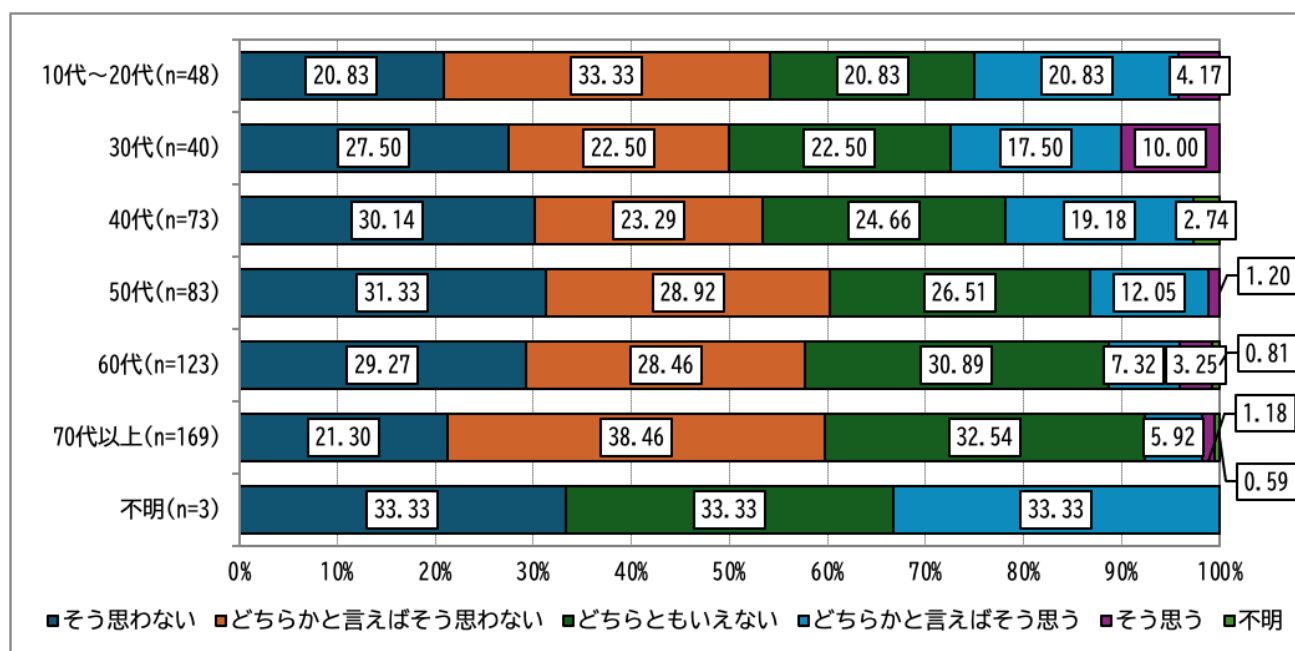
年齢別にみると、年齢が低い方が比較的満足度が高く、年齢が高くなるにつれ低下します。特に70代以上の満足度は、7.10%となっています。



【地区別】



【年齢別】



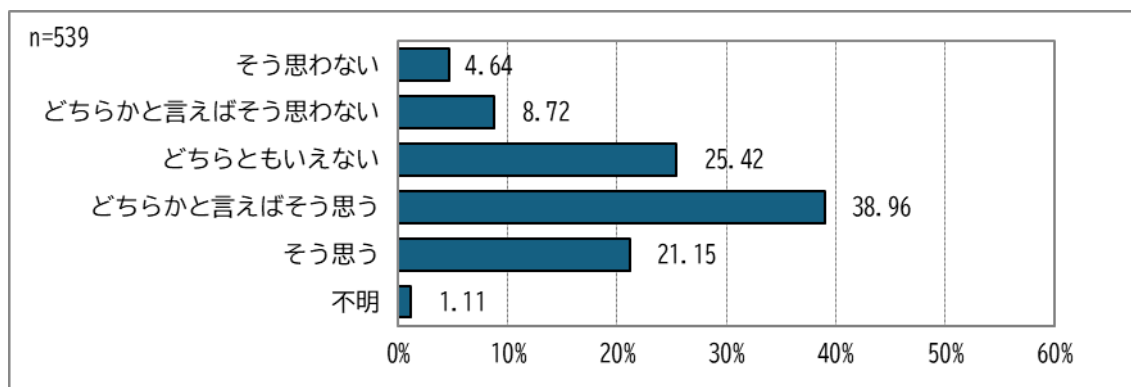
(24) 普段から地元の農作物を食べようと心がけている

【全体結果】

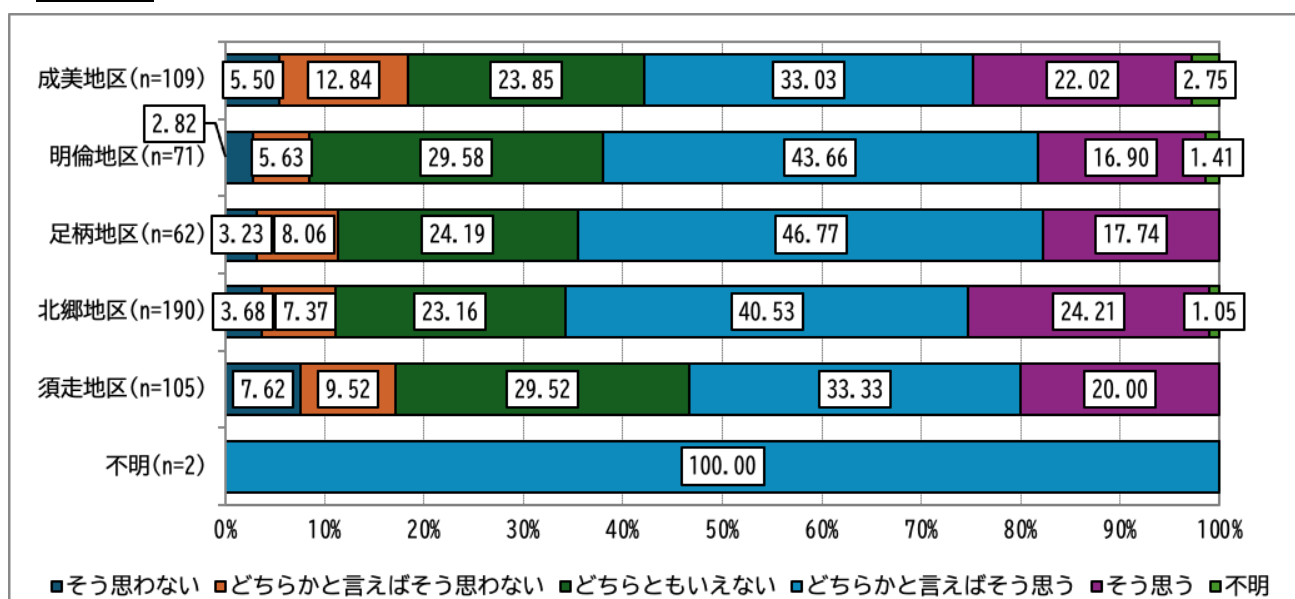
「どちらかと言えばそう思う」が38.96%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.42%、「そう思う」が21.15%となっており、町民の満足度は60.11%となりました。

地区別にみると、北郷地区の満足度が64.74%と最も高くなっており、足柄地区と明倫地区も60%台となっています。

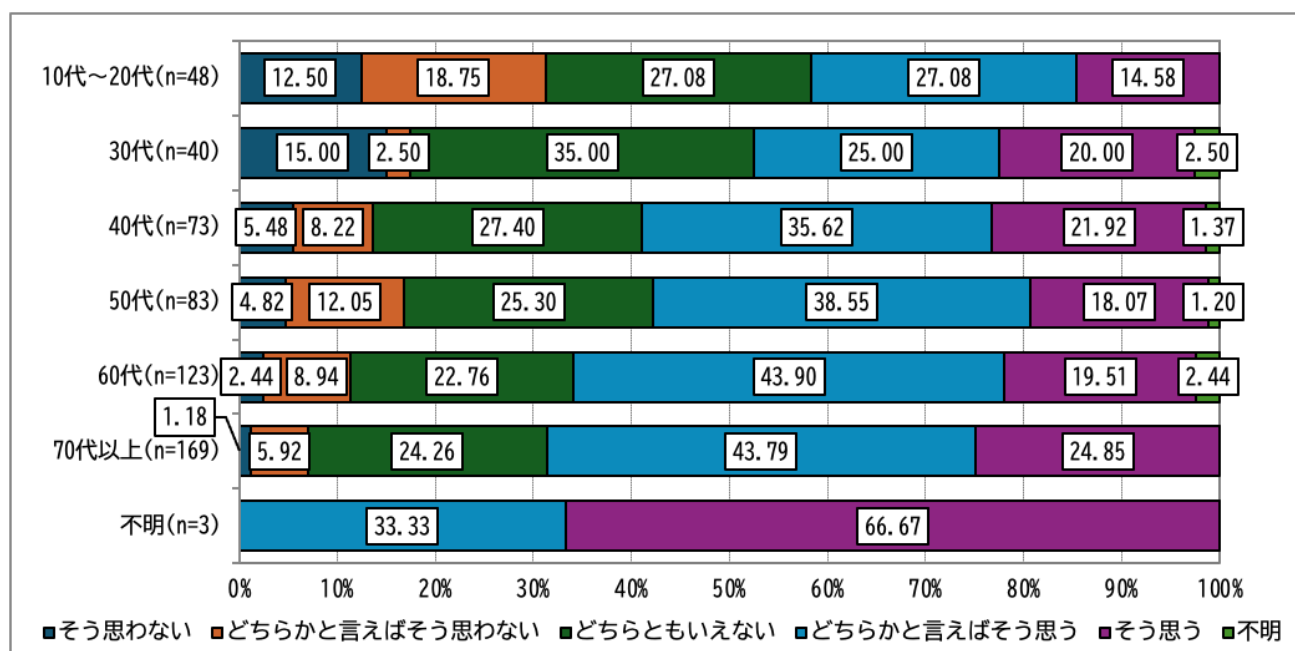
年齢別にみると、年齢が高い方が、満足度が高い傾向にあり、70代以上では68.64%となっています。一方で、10代～20代と30代では40%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



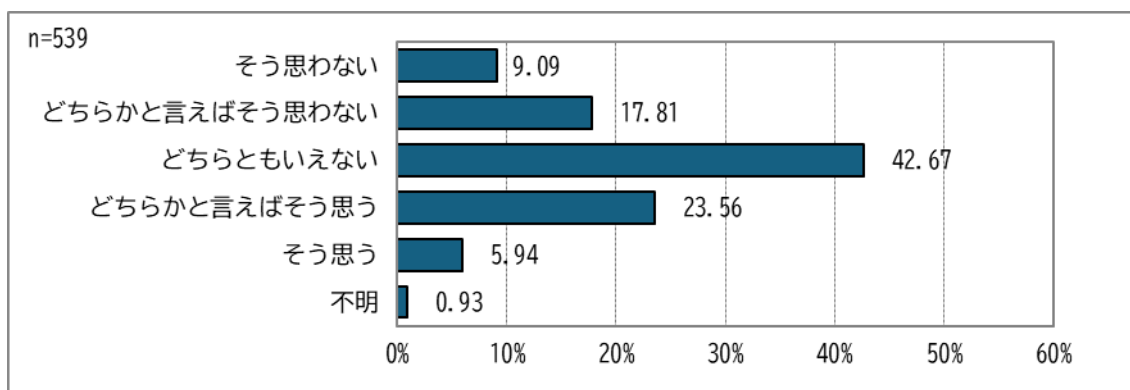
(25)樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている

【全体結果】

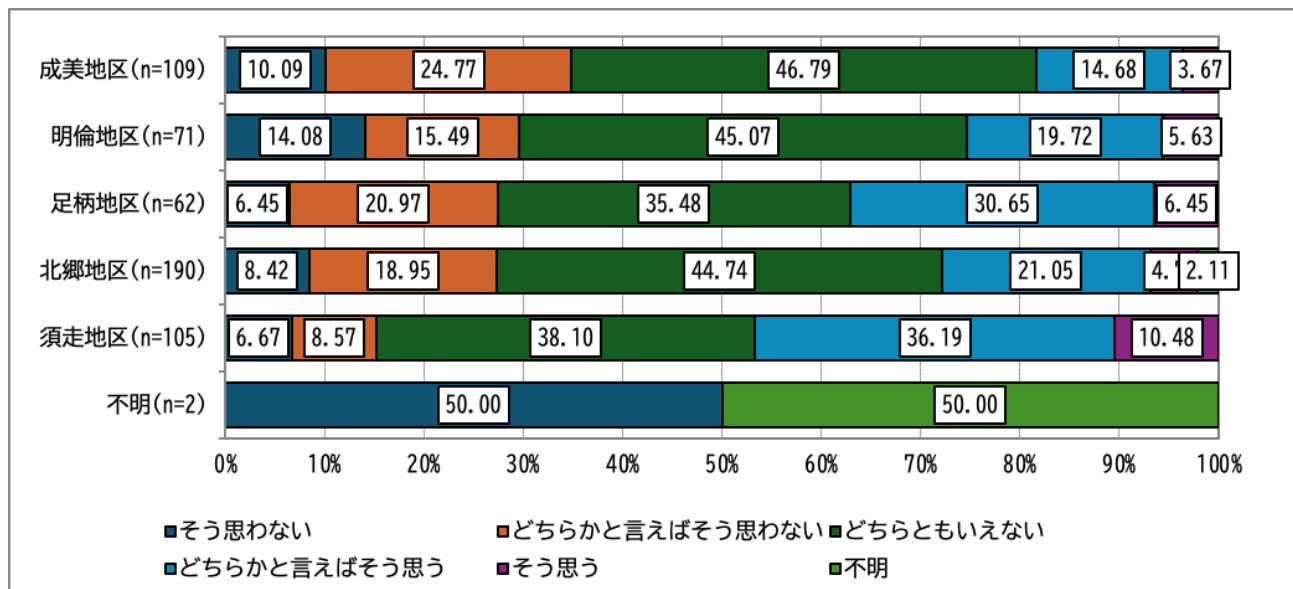
「どちらともいえない」が42.67%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が23.56%、「どちらかと言えばそう思わない」が17.81%となっており、町民の満足度は29.50%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度は46.67%と最も高くなっています。一方で、成美地区では18.35%となっており、約28ポイントの差があり、地区ごとの差が大きい結果となっています。

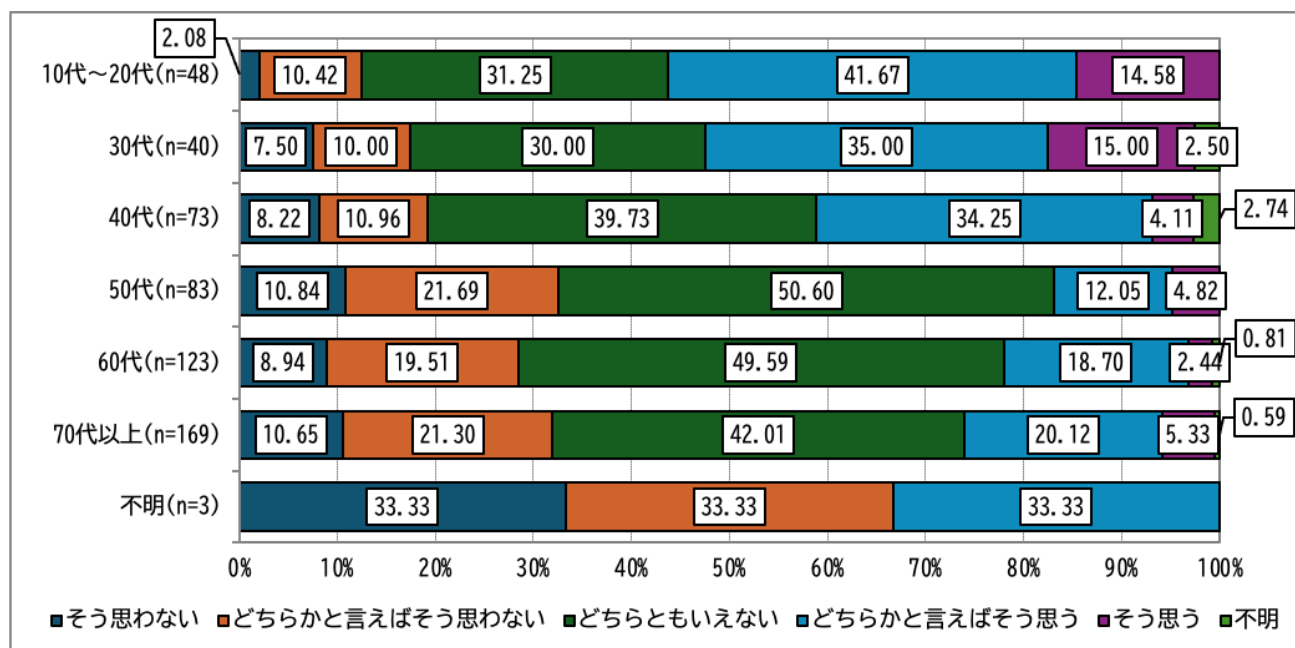
年齢別にみると、50代と60代の「どちらともいえない」が突出していることもあり、満足度が16.87%と21.14%となっています。一方で、10代～20代と30代の満足度は50%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



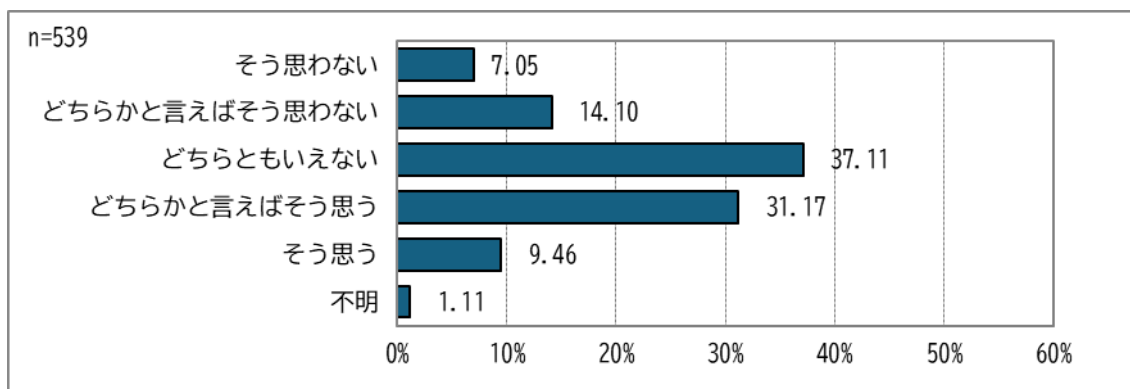
(26)町内の自然環境が適切に保全されている

【全体結果】

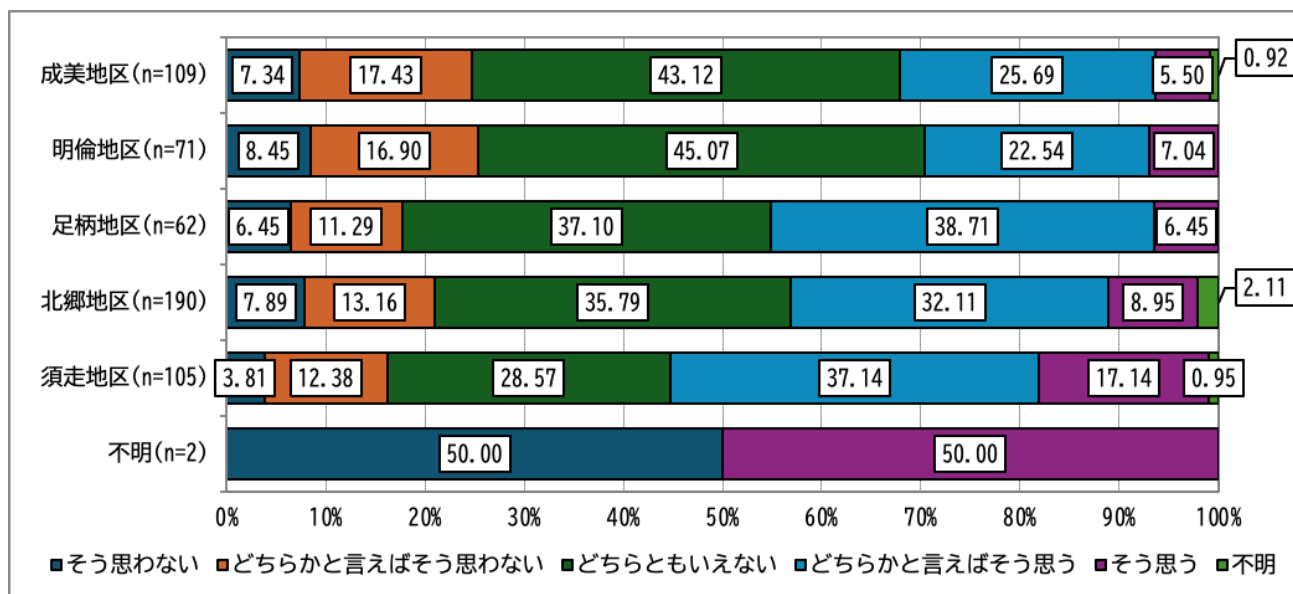
「どちらともいえない」が37.11%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が31.17%、「どちらかと言えばそう思わない」が14.10%となっており、町民の満足度は40.63%となりました。

地区別にみると、須走地区では満足度が54.28%と最も高くなっています。一方で、明倫地区では29.58%と最も低く、成美地区も31.19%で続いており、地区ごとの差が大きい結果となっています。

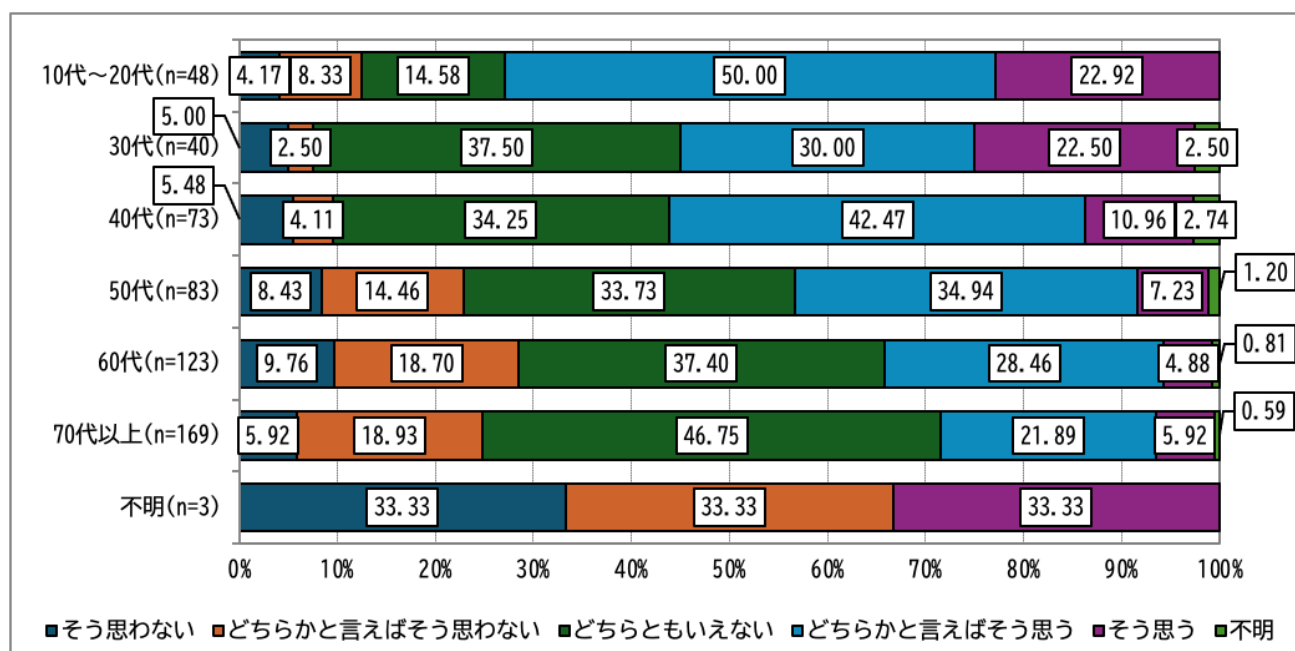
年齢別にみると、年齢が低いほど満足度が高い傾向にあり、10代～20代では72.92%と最も高くなっています。一方で、70代以上では27.81%となっており、約45ポイントの差があります。



【地区別】



【年齢別】



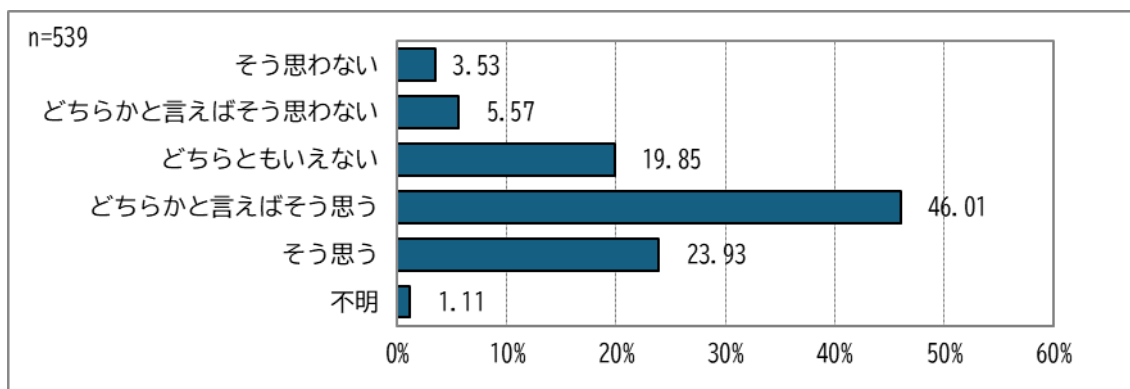
(27)清らかで豊かな水資源が守られている

【全体結果】

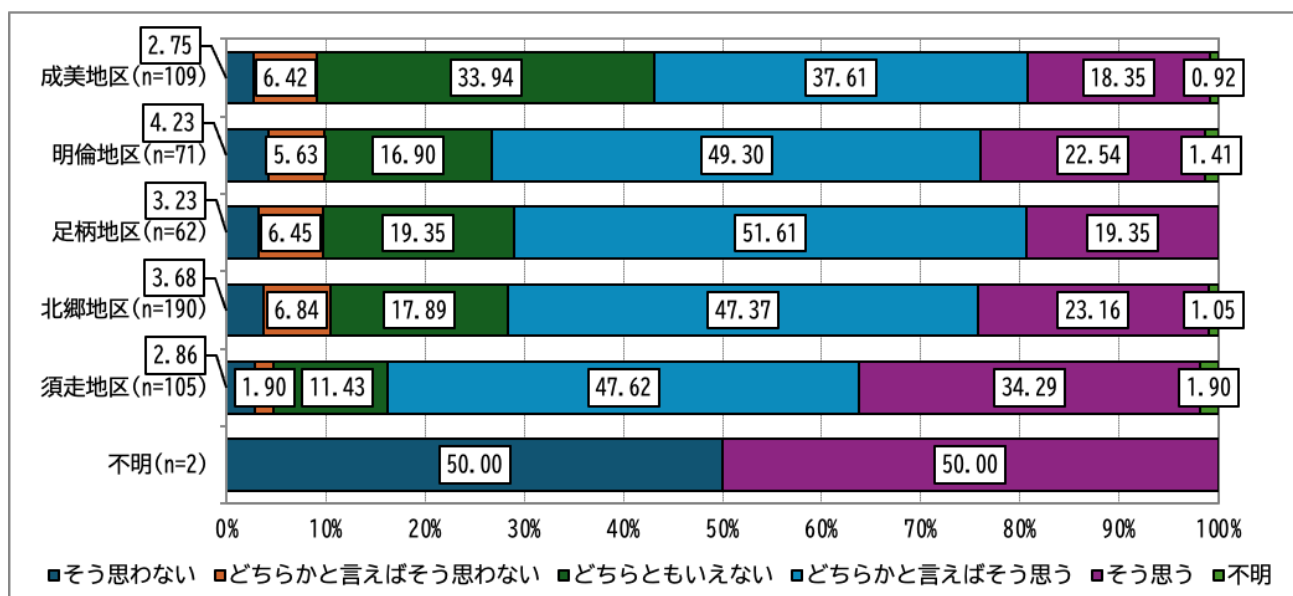
「どちらかと言えばそう思う」が46.01%と最も高く、次いで「そう思う」が23.93%、「どちらともいえない」が19.85%となっており、町民の満足度は69.94%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が81.91%と最も高く、明倫地区、足柄地区も70%台が続いています。成美地区では55.96%と唯一50%台でとどまっています。

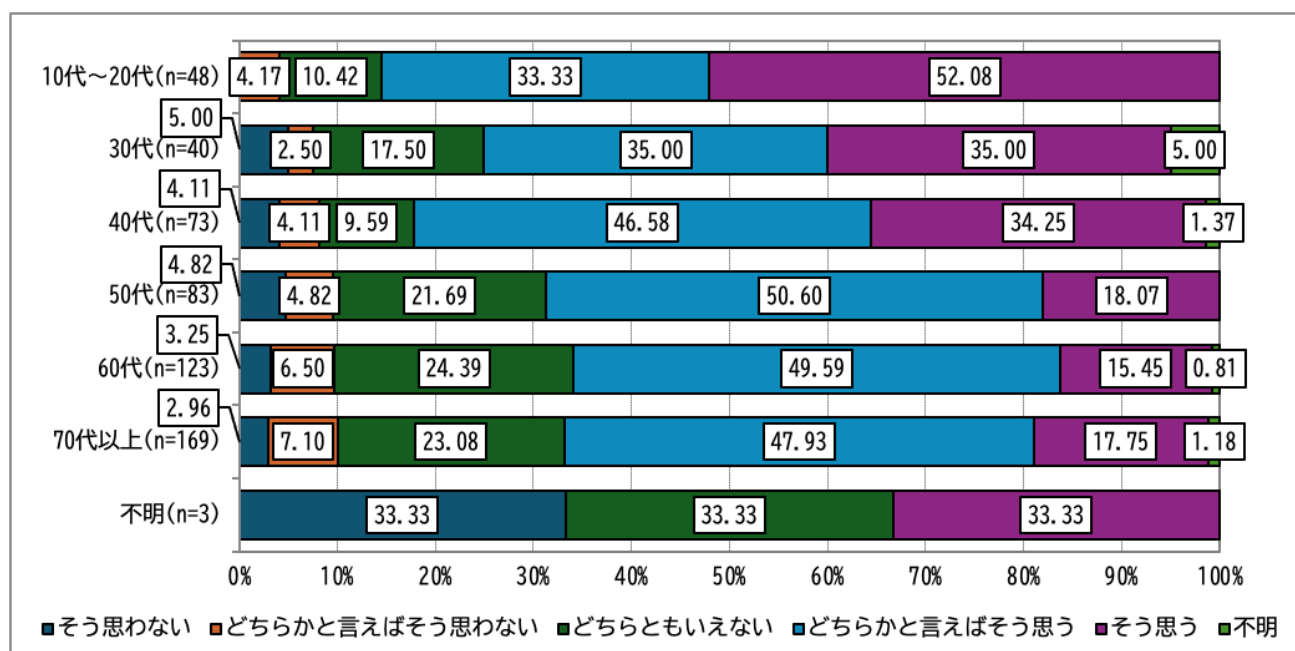
年齢別にみると、どの年齢の満足度も60%を超えており、特に10代～20代の満足度は85.41%、40代の満足度は80.83%となっています。



【地区別】



【年齢別】



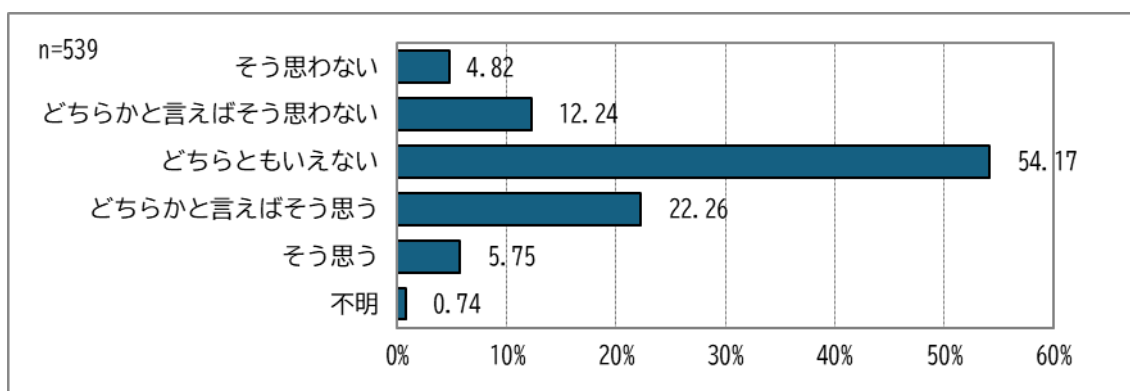
(28) 小山町は環境にやさしい設備や機器の導入など地球温暖化対策に取り組んでいる

【全体結果】

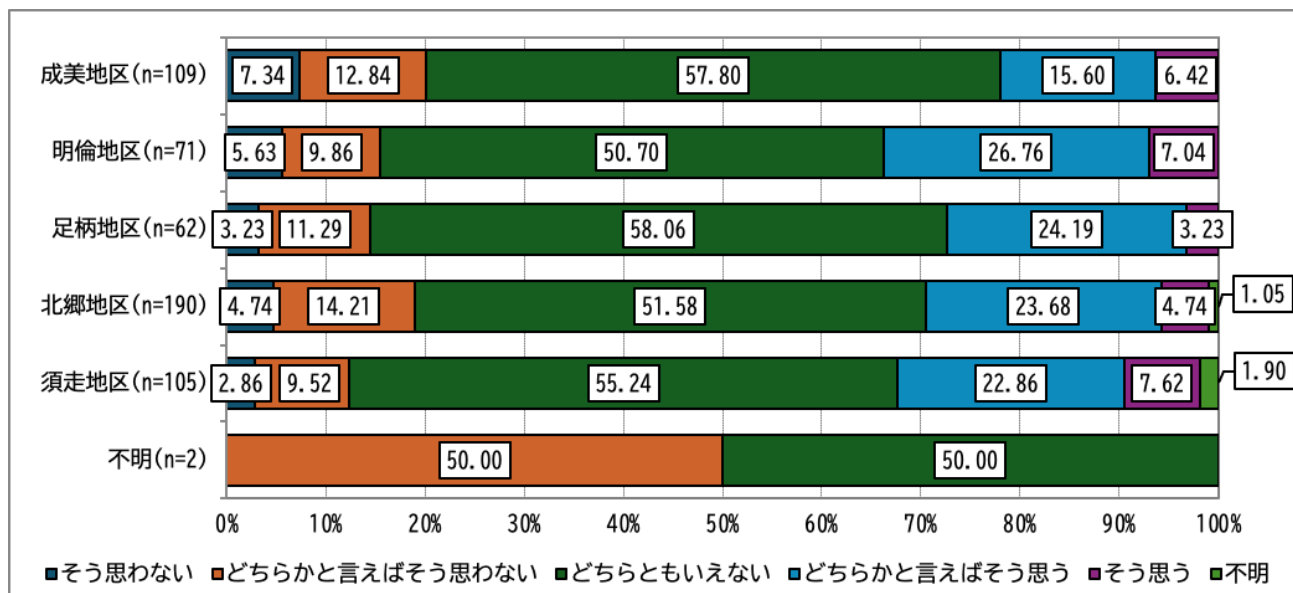
「どちらともいえない」が54.17%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が22.26%、「どちらかと言えばそう思わない」が12.24%となっており、町民の満足度は28.01%となりました。

地区別にみると、どの地区でも「どちらともいえない」が50%を超えており、満足度も20%台から30%台となっています。

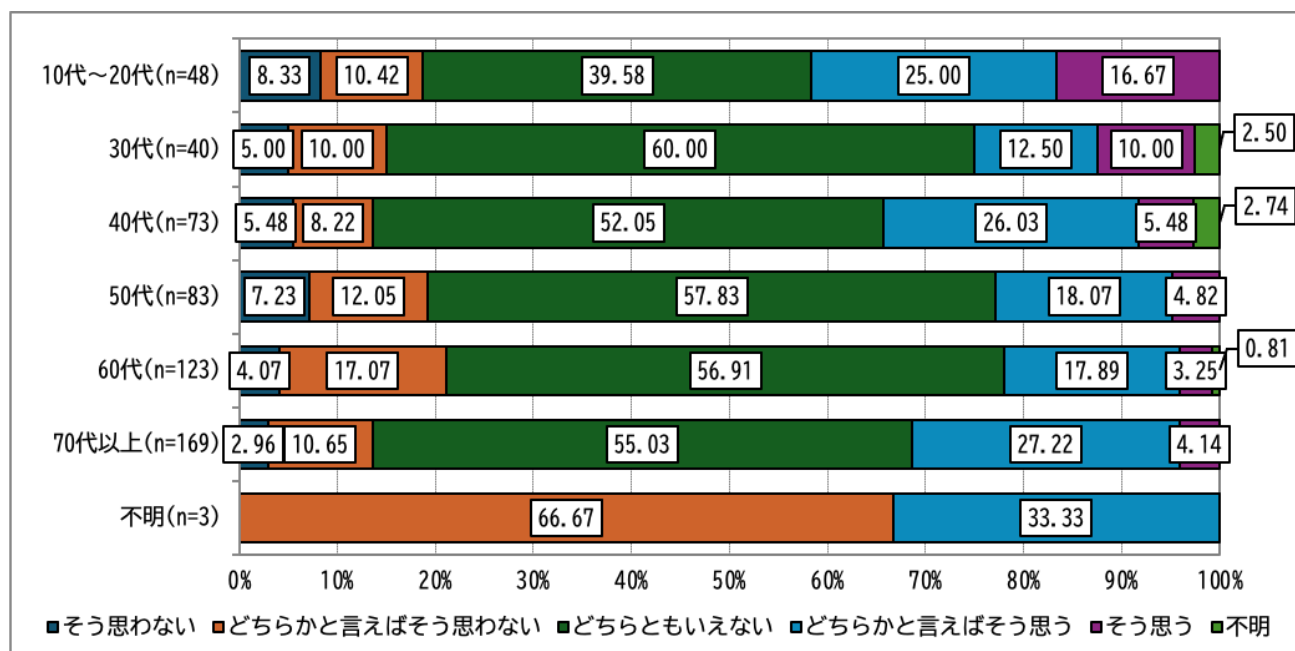
年齢別にみると、10代～20代の満足度が41.67%と最も高くなっています。一方、10代～20代を除くすべての年齢で「どちらともいえない」が50%を超えており、満足度も20%台から30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



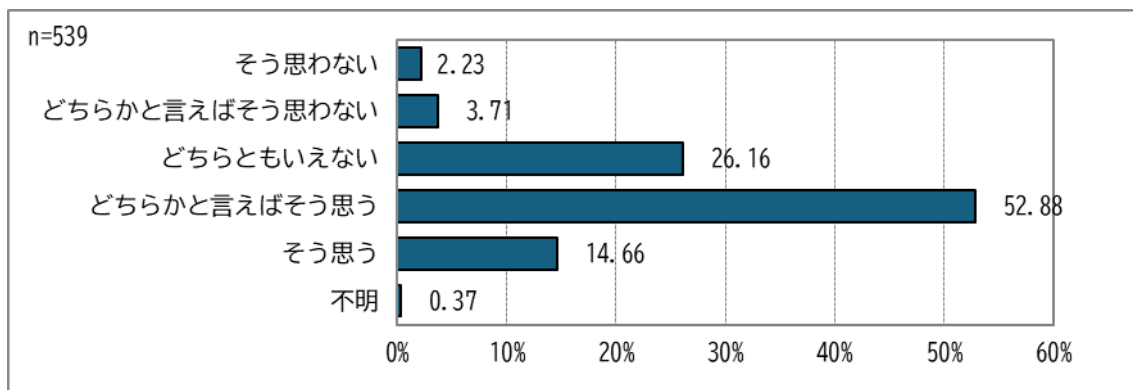
(29) 普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる

【全体結果】

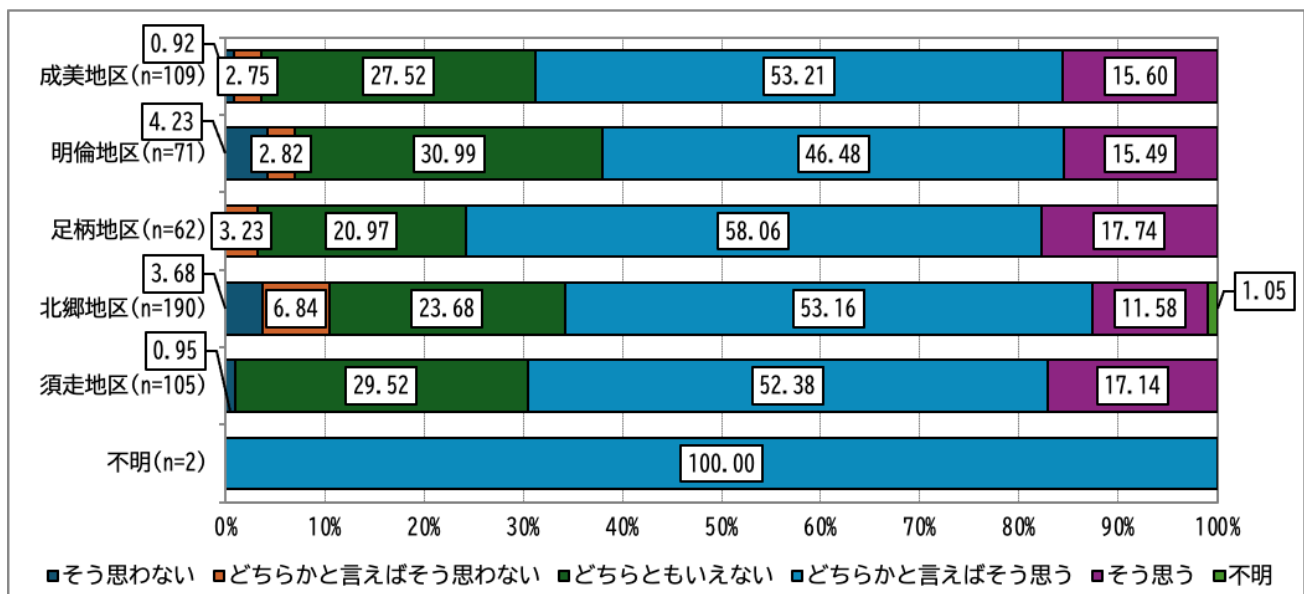
「どちらかと言えばそう思う」が52.88%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.16%、「そう思う」が14.66%となっており、町民の取組度は67.54%となりました。

地区別にみると、どの地区も60%以上の取組度となっていますが、足柄地区の取組度は75.80%と最も高くなっています。

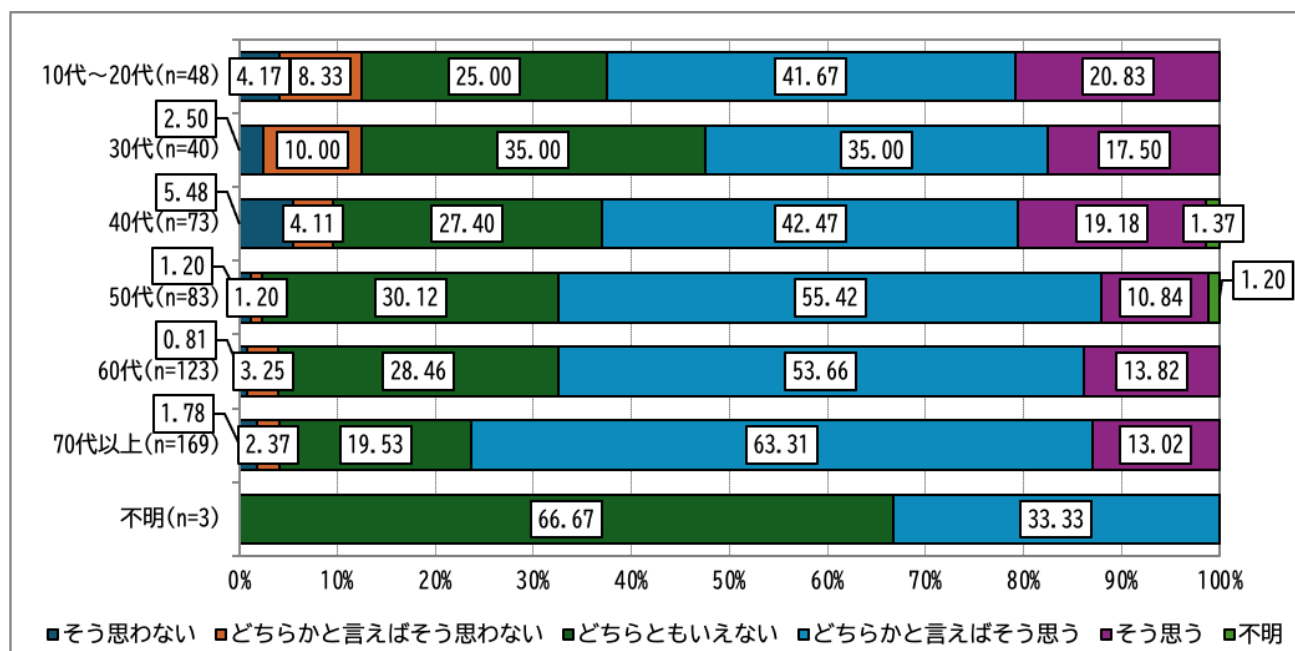
年齢別にみると、年齢が高いほど取組度が高い傾向にあり、70代以上の取組度は76.33%となっています。



【地区別】



【年齢別】



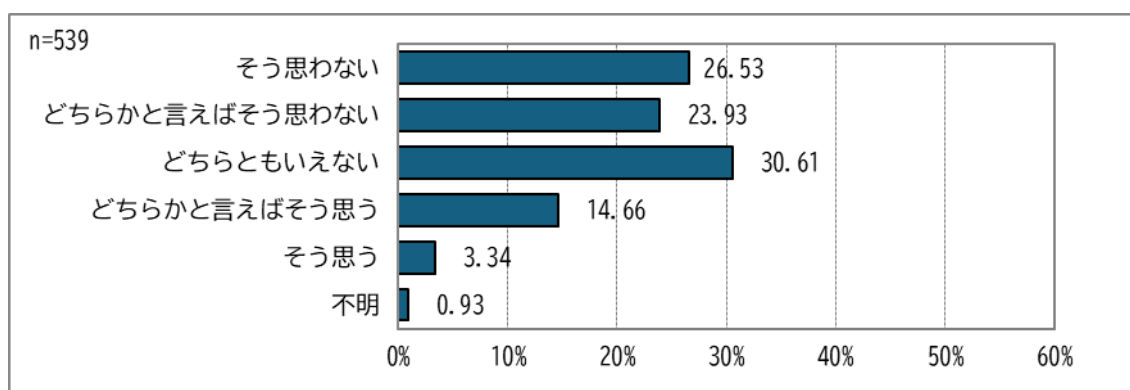
(30)公共交通が必要な時に利用できる

【全体結果】

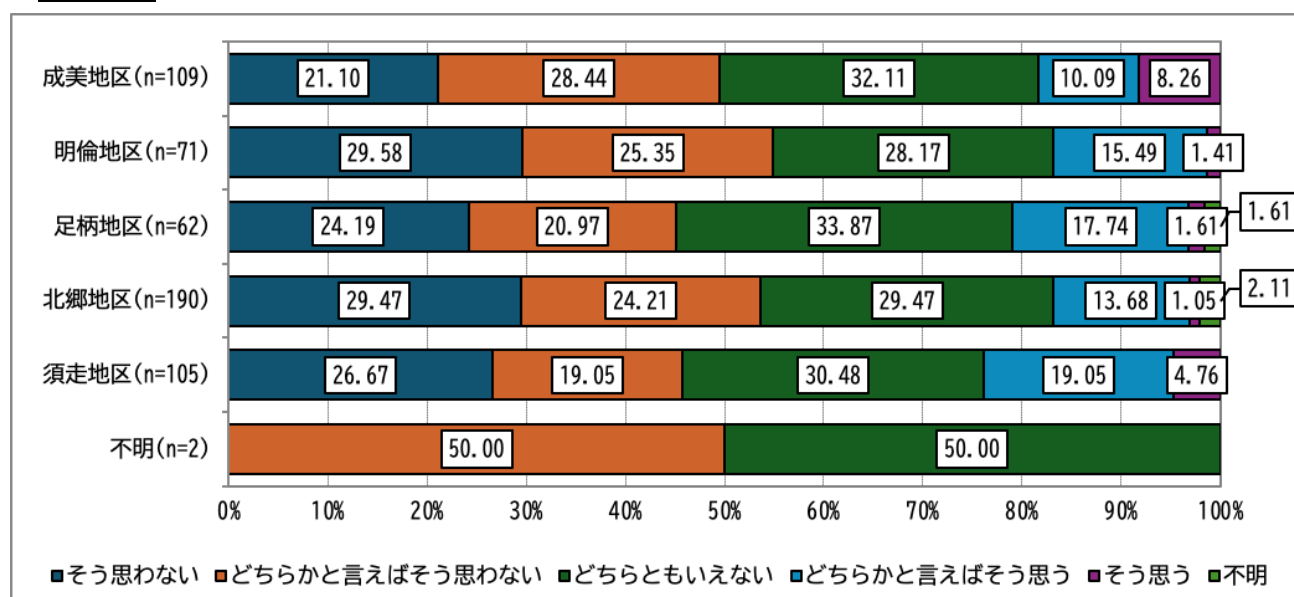
「どちらともいえない」が30.61%と最も高く、次いで「そう思わない」が26.53%、「どちらかと言えばそう思わない」が23.93%となっており、町民の満足度は18.00%となりました。

地区別にみると、北郷地区の満足度が14.73%と最も低くなっているほか、他の地区の満足度も10%台から20%台前半と低くなっています。

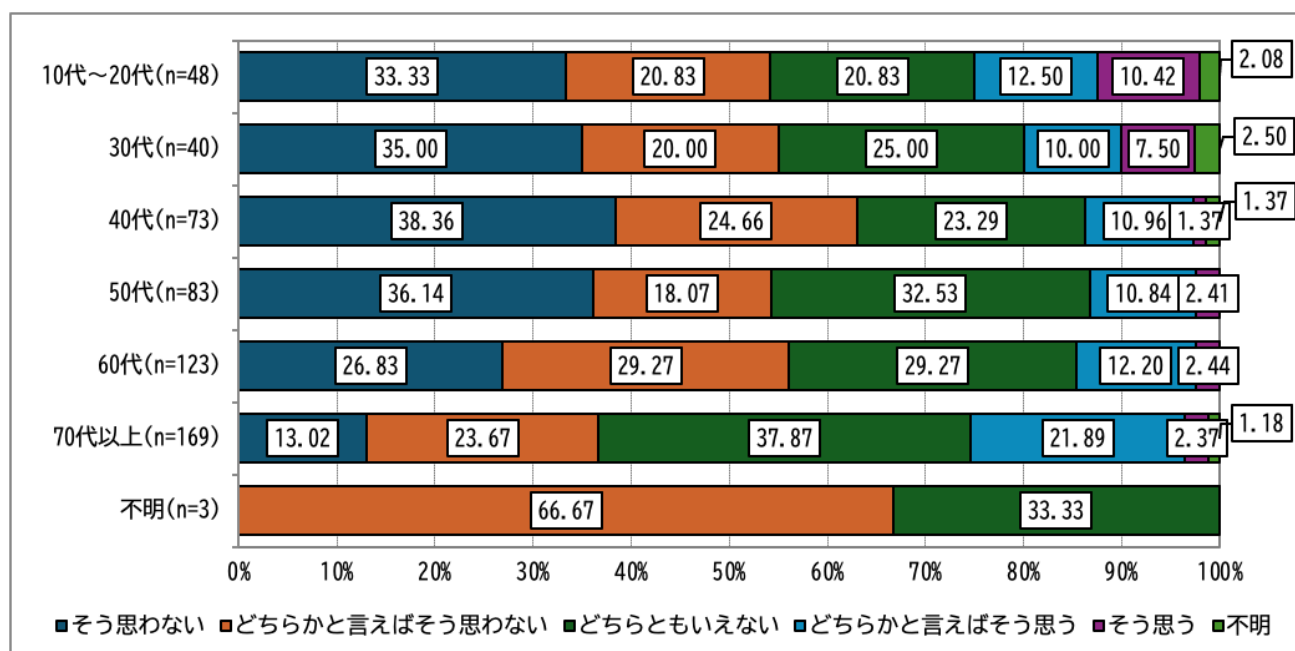
年齢別にみると、どの年齢の満足度も10%台から20%台前半と低くなっています。特に、40代、50代、60代では10%台前半となっています。



【地区別】



【年齢別】



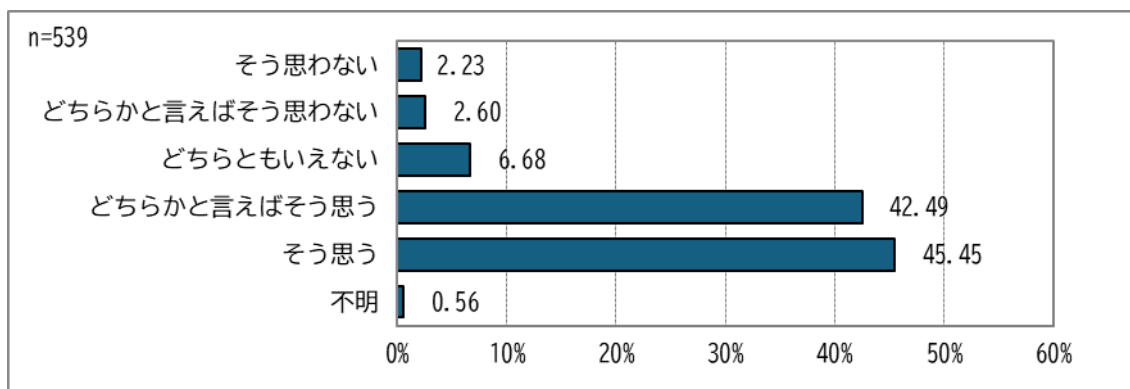
(31)安全な水道水が安定供給されている

【全体結果】

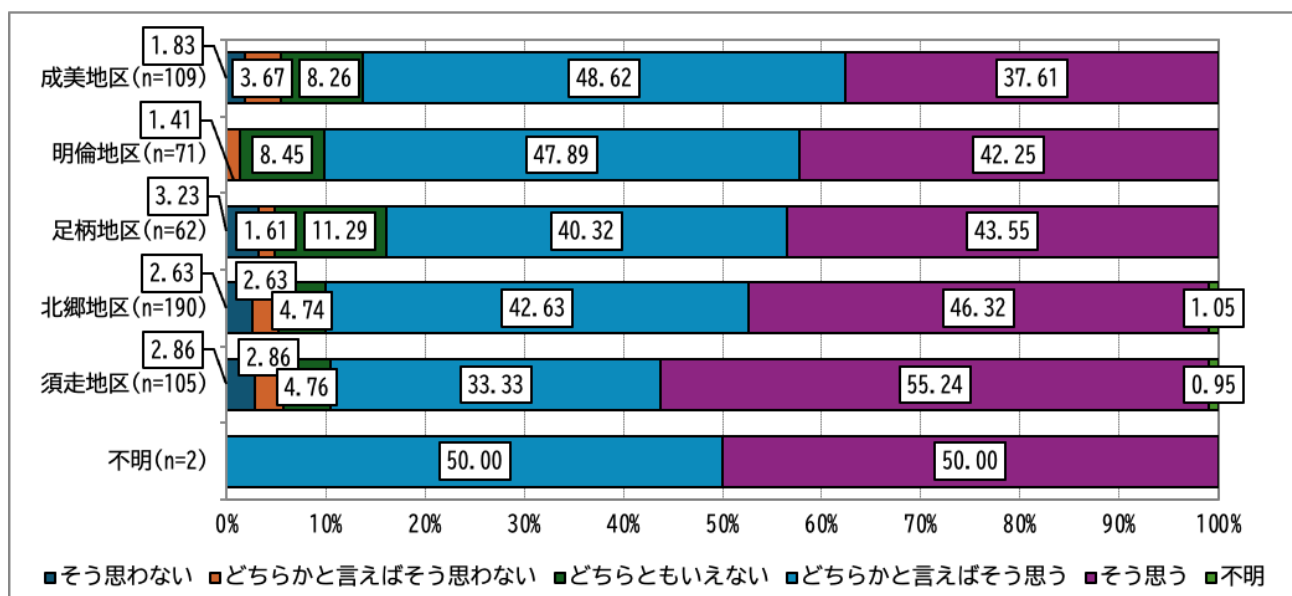
「そう思う」が45.45%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が42.49%、「どちらともいえない」が6.68%となっており、町民の満足度は87.94%となりました。

地区別にみると、すべての地区で満足度が85%を超えており、高くなっています。特に明倫地区では90.14%と唯一の90%台で最も高くなっています。

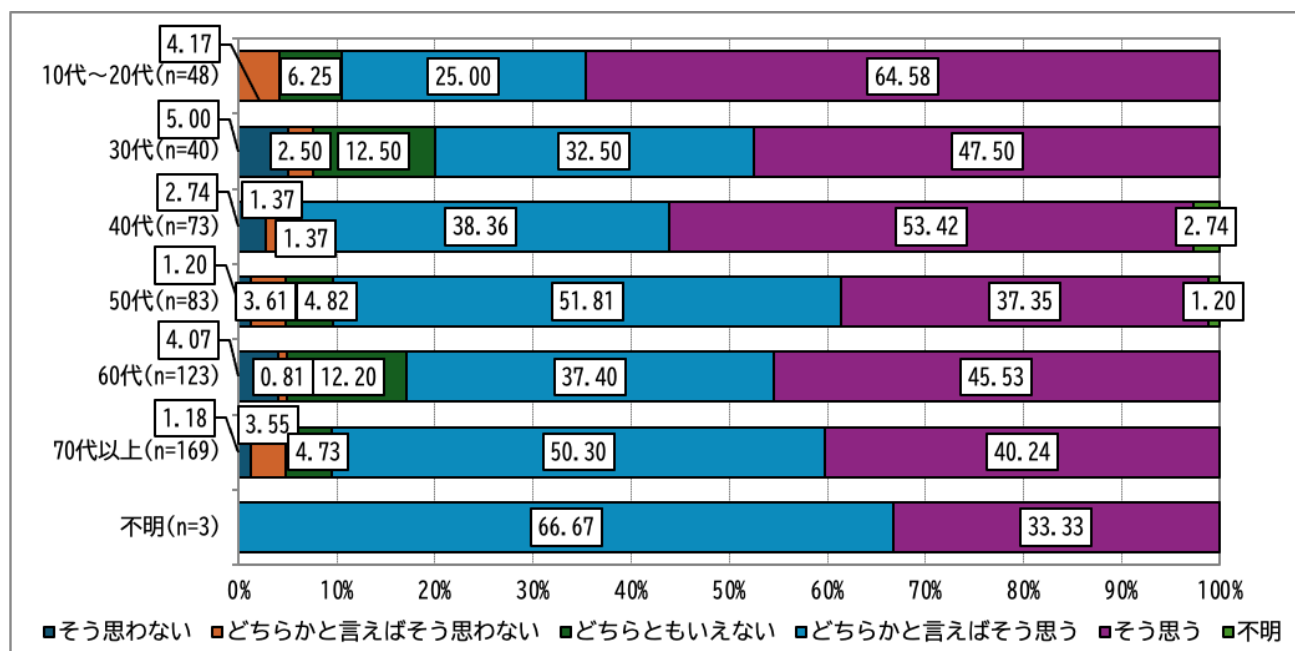
年齢別にみると、すべての年齢で満足度が80%を超えており、高くなっています。特に40代と70代以上では満足度が90%を超えています。



【地区別】



【年齢別】



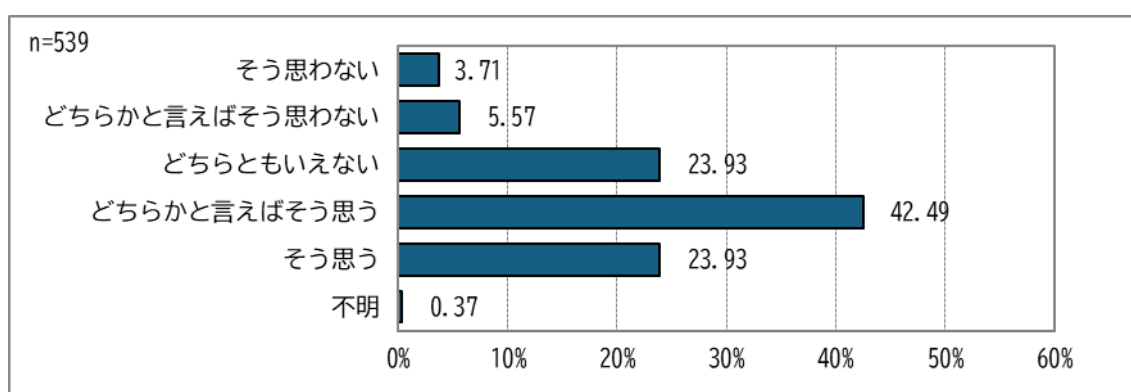
(32)汚水下水が適切に処理されている

【全体結果】

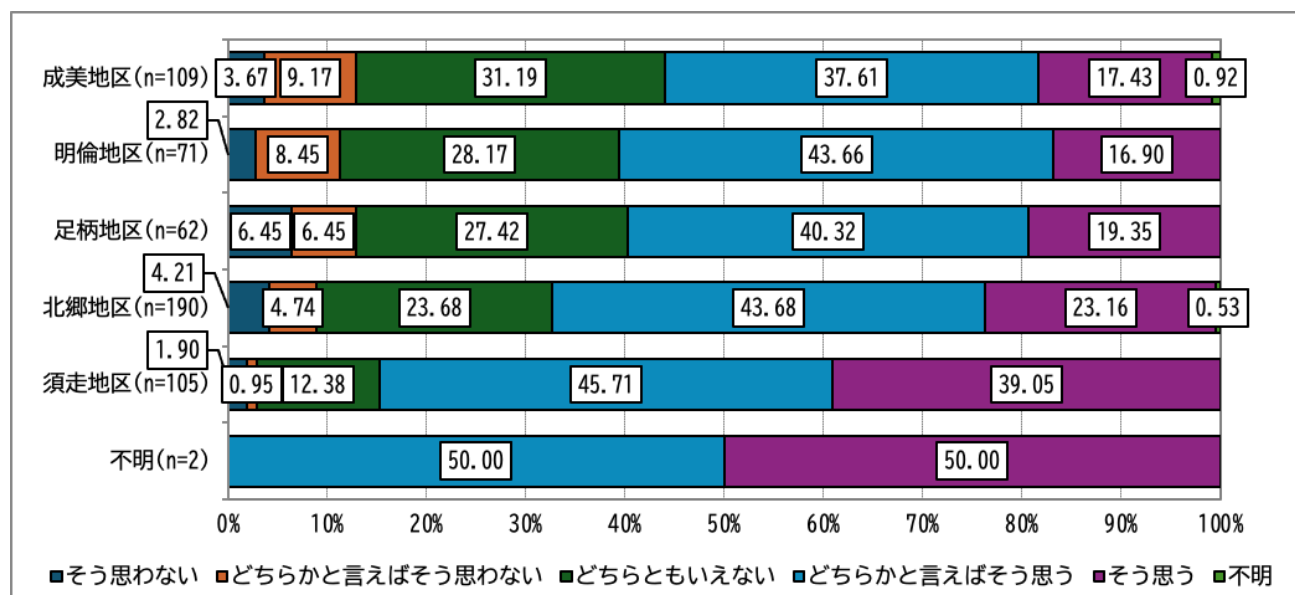
「どちらかと言えばそう思う」が42.49%と最も高く、次いで「そう思う」、「どちらともいえない」が23.93%となっており、町民の満足度は66.42%となりました。

地区別にみると、すべての地区の満足度が50%を超えていますが、須走地区の満足度が84.76%と最も高くなっています。次に満足度が高い北郷地区が66.84%となっており、須走地区が突出して高くなっています。

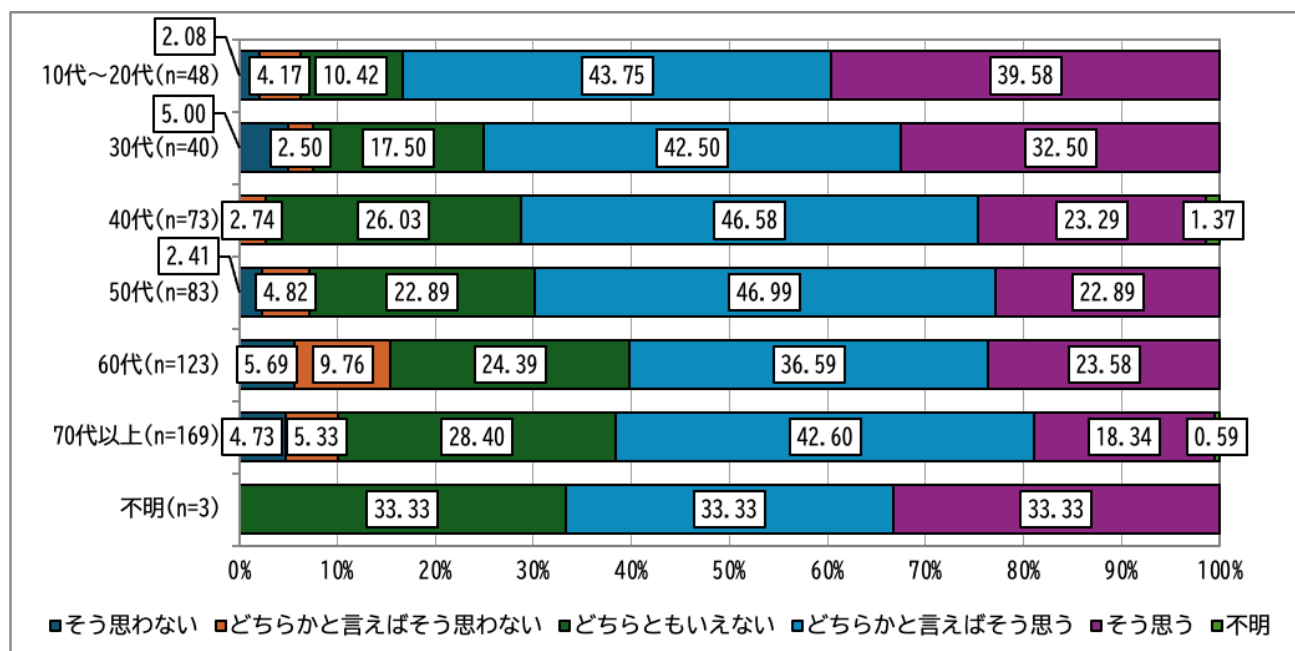
年齢別にみると、すべての年齢の満足度が60%を超えており、満足度が高くなっています。また、年齢が低いほど満足度が高い傾向にあります。



【地区別】



【年齢別】



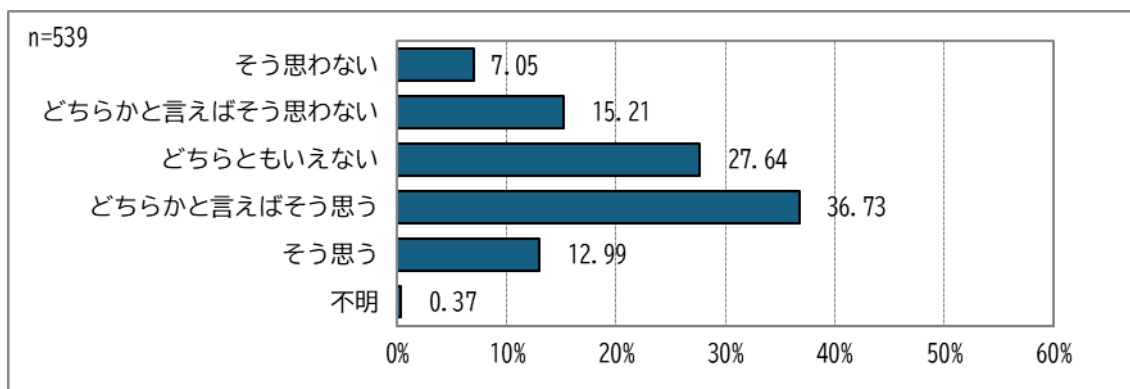
(33)安全に通行できる道路が整備されている

【全体結果】

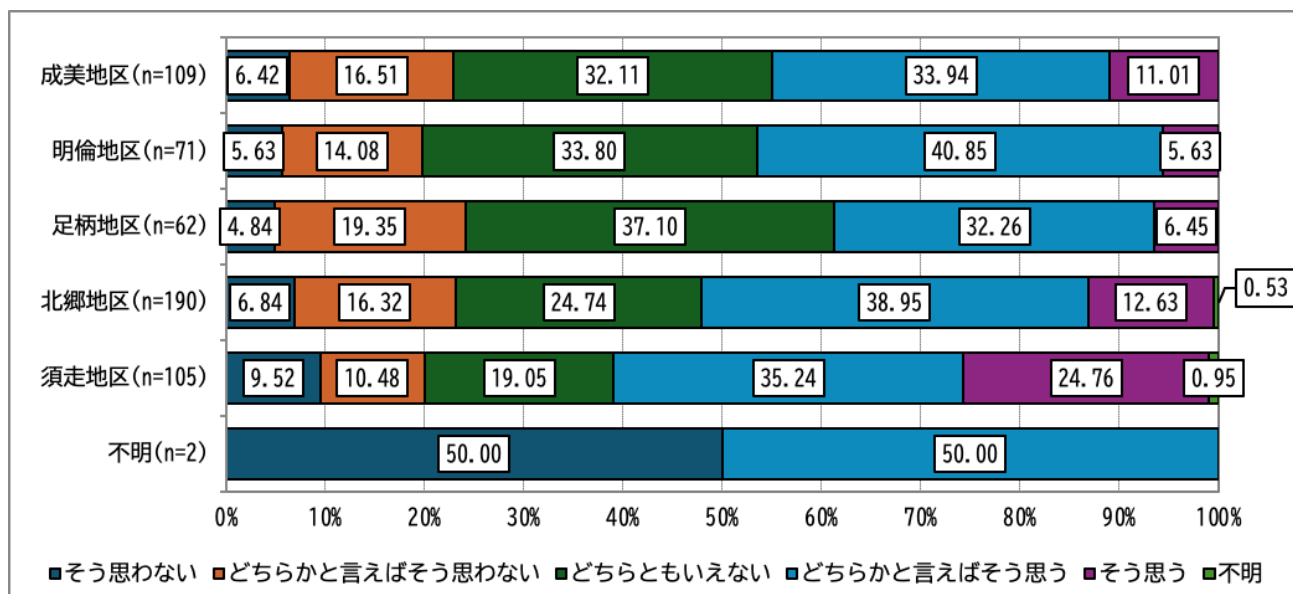
「どちらかと言えばそう思う」が36.73%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.64%、「どちらかと言えばそう思わない」が15.21%となっており、町民の満足度は49.72%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が60.00%と最も高くなっています。一方で、足柄地区の満足度は38.71%で最も低くなっており、約21ポイントの差があります。

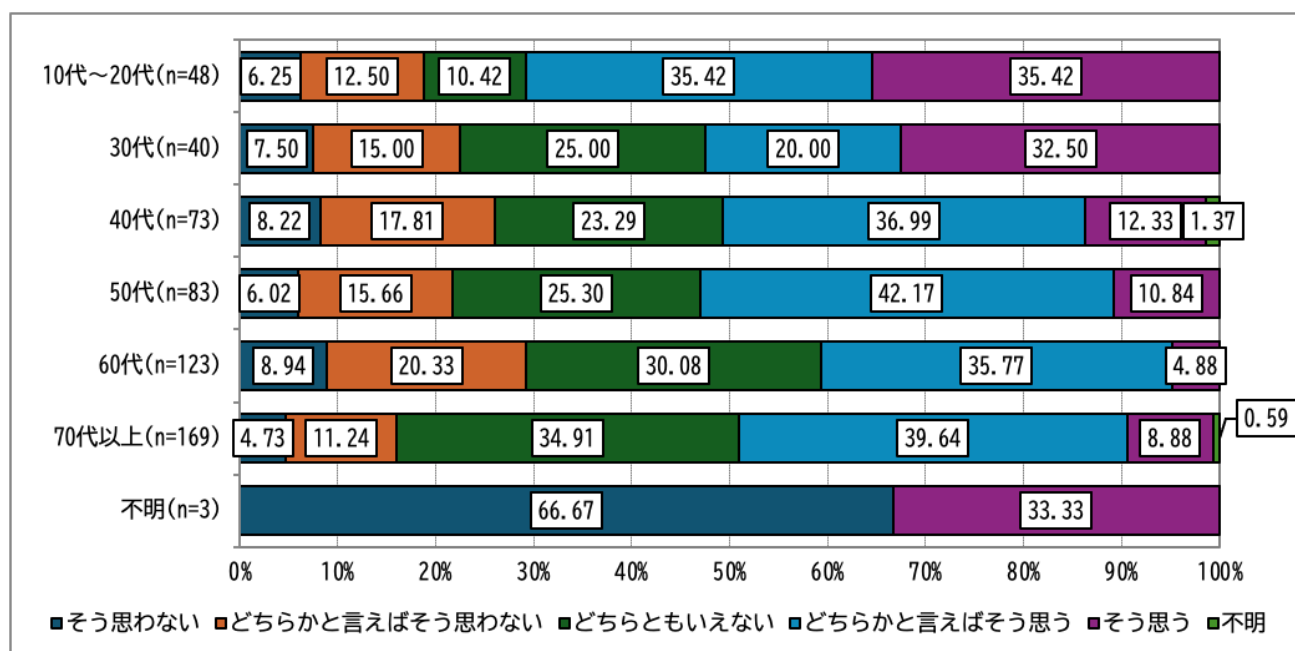
年齢別にみると、10代～20代の満足度は70.84%と最も高い一方、60代の満足度は40.65%となっています。他の年齢は40%台後半から50%台前半となっています。



【地区別】



【年齢別】



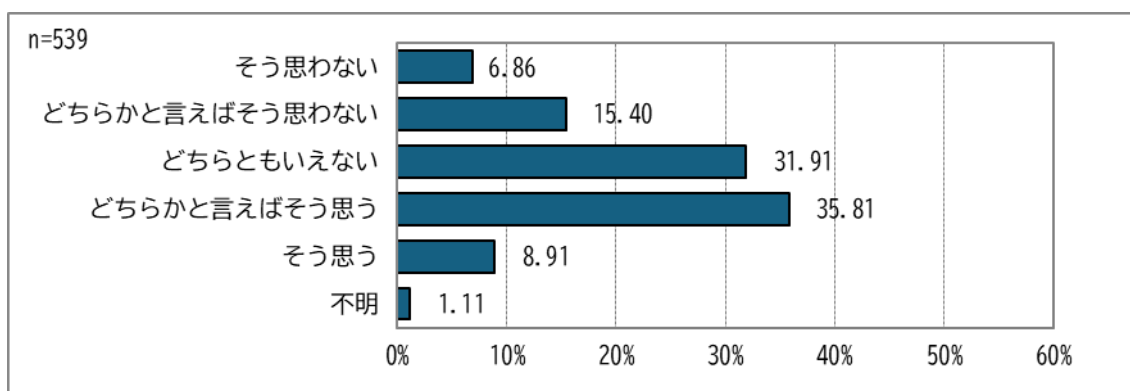
(34)利便性が高い道路網が整備されている

【全体結果】

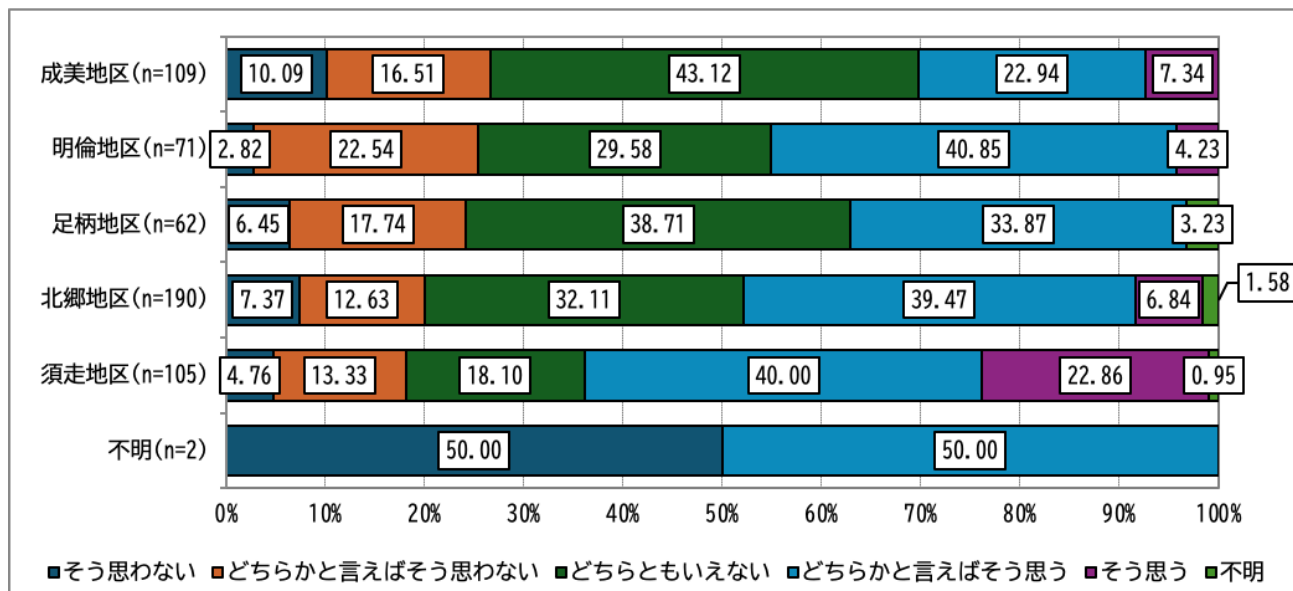
「どちらかと言えばそう思う」が35.81%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.91%、「どちらかと言えばそう思わない」が15.40%となっており、町民の満足度は44.72%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が62.86%と最も高い一方で、他の地区の満足度は50%を超えていません。特に成美地区の満足度が30.28%、次いで足柄地区の満足度は33.87%と最大約30ポイントの差があり、地区ごとの差が大きいことが結果となっています。

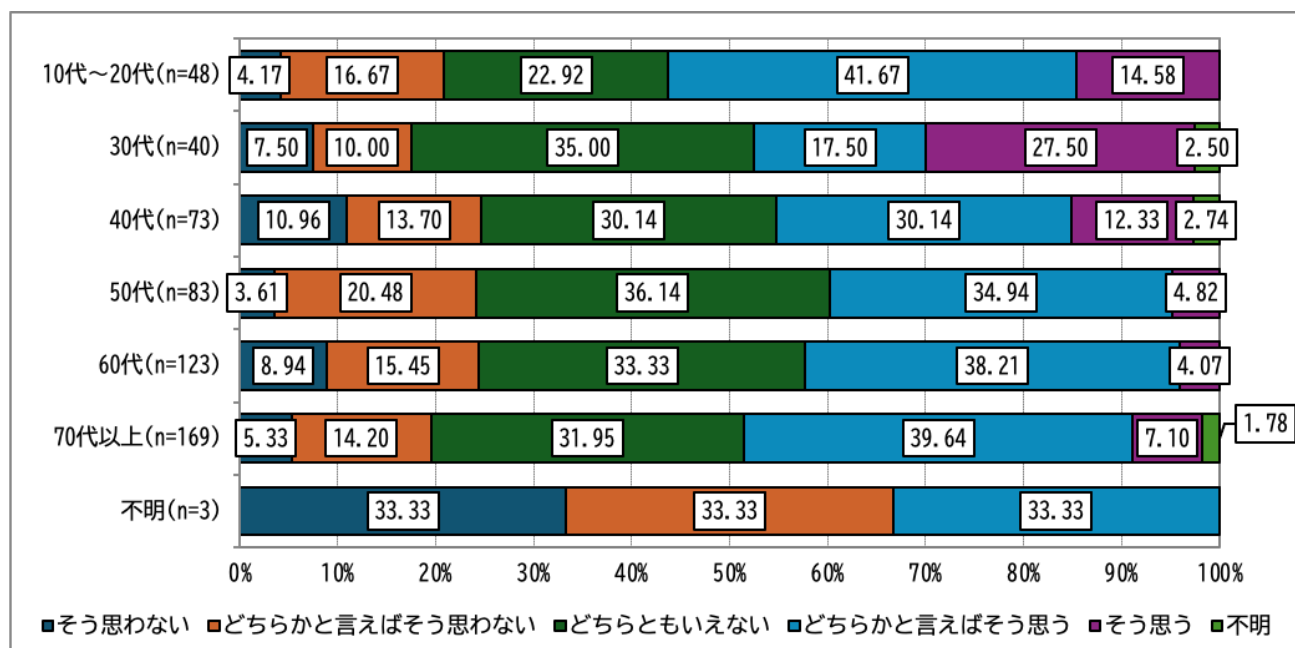
年齢別にみると、10代～20代の満足度が56.25%と最も高くなっている一方で、他の世代では30%台から40%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



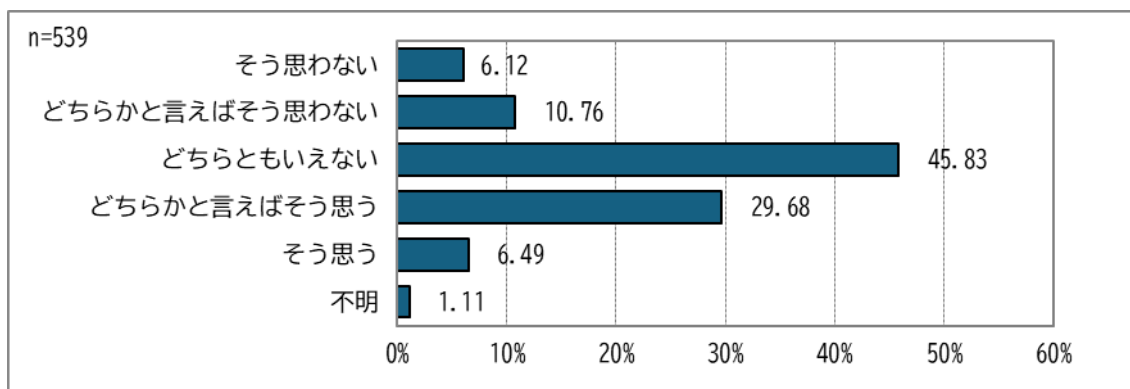
(35)小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている

【全体結果】

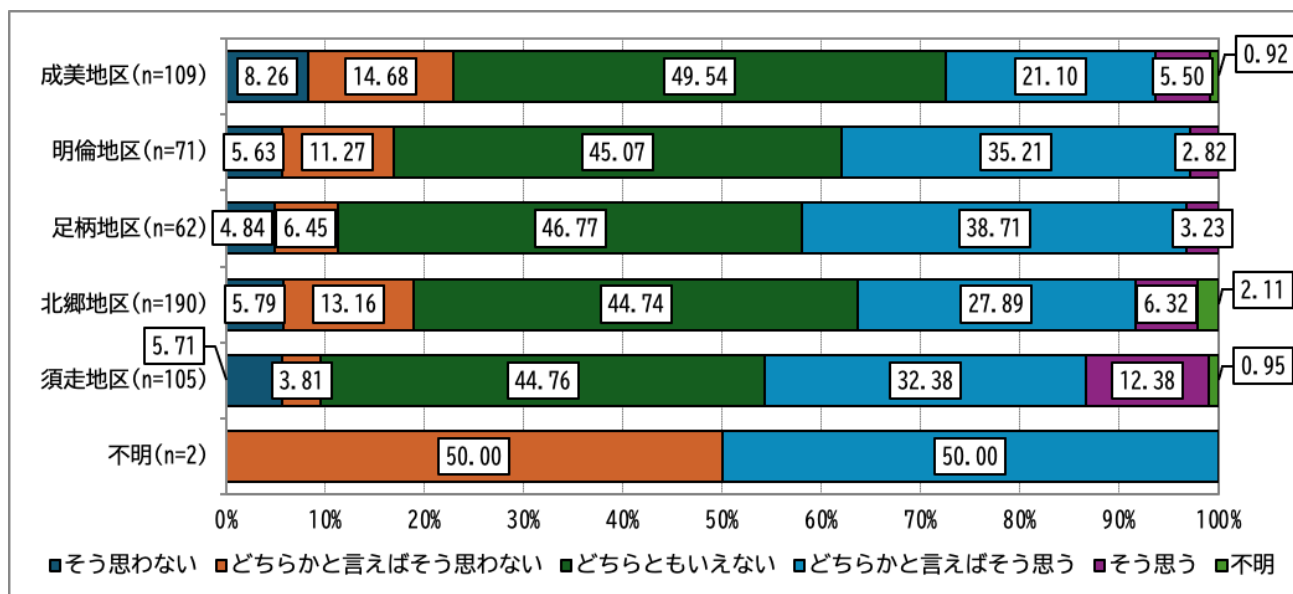
「どちらともいえない」が45.83%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が29.68%、「どちらかと言えばそう思わない」が10.76%となっており、町民の満足度は36.17%となりました。

地区別にみると、成美地区の満足度が26.60%と最も低くなっています。他の地区も30%台から40%台となっています。

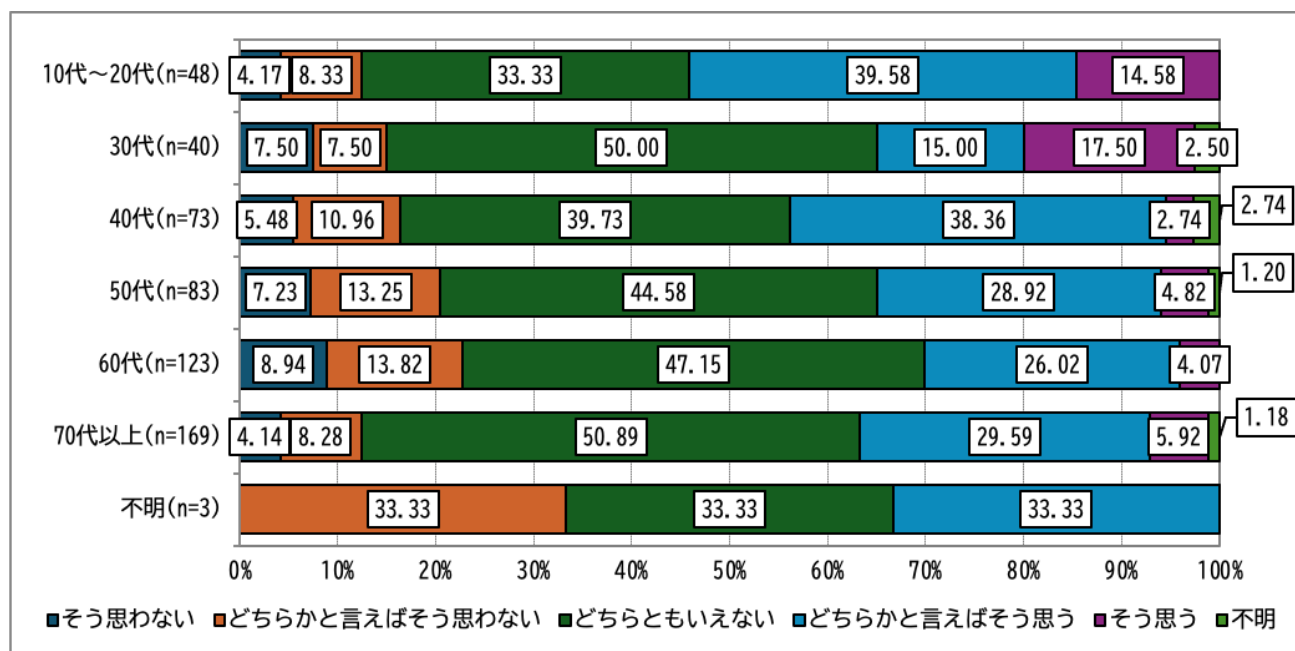
年齢別にみると、10代～20代の満足度は54.16%と最も高くなっていますが、30代、50代、60代で満足度が30%前半となっています。



【地区別】



【年齢別】



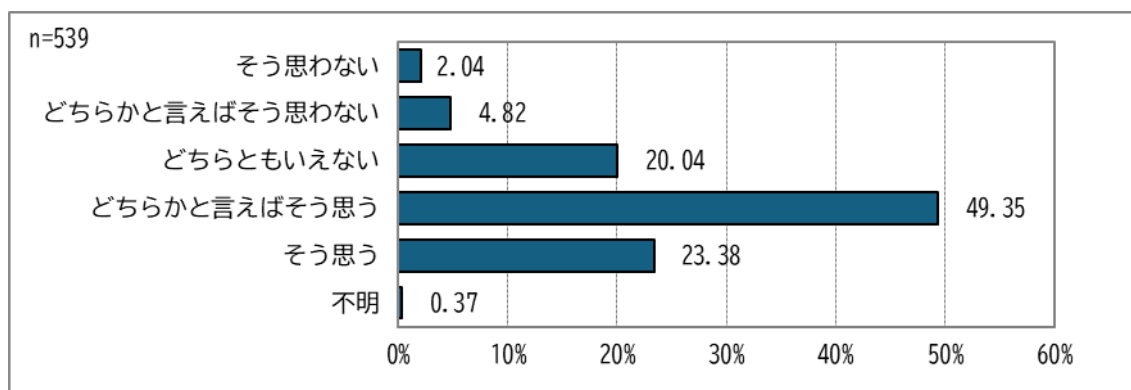
(36)富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている

【全体結果】

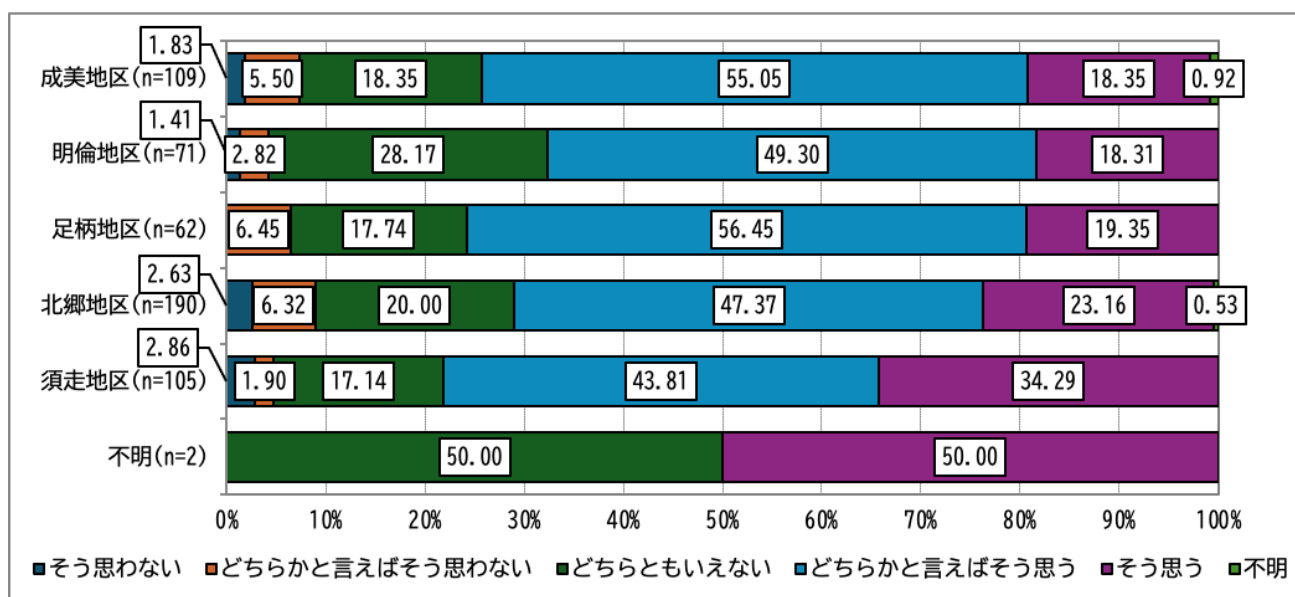
「どちらかと言えばそう思う」が49.35%と最も高く、次いで「そう思う」が23.38%、「どちらともいえない」が20.04%となっており、町民の満足度は72.73%となりました。

地区別にみると、明倫地区以外のすべて地区で満足度が70%台と高くなっています。

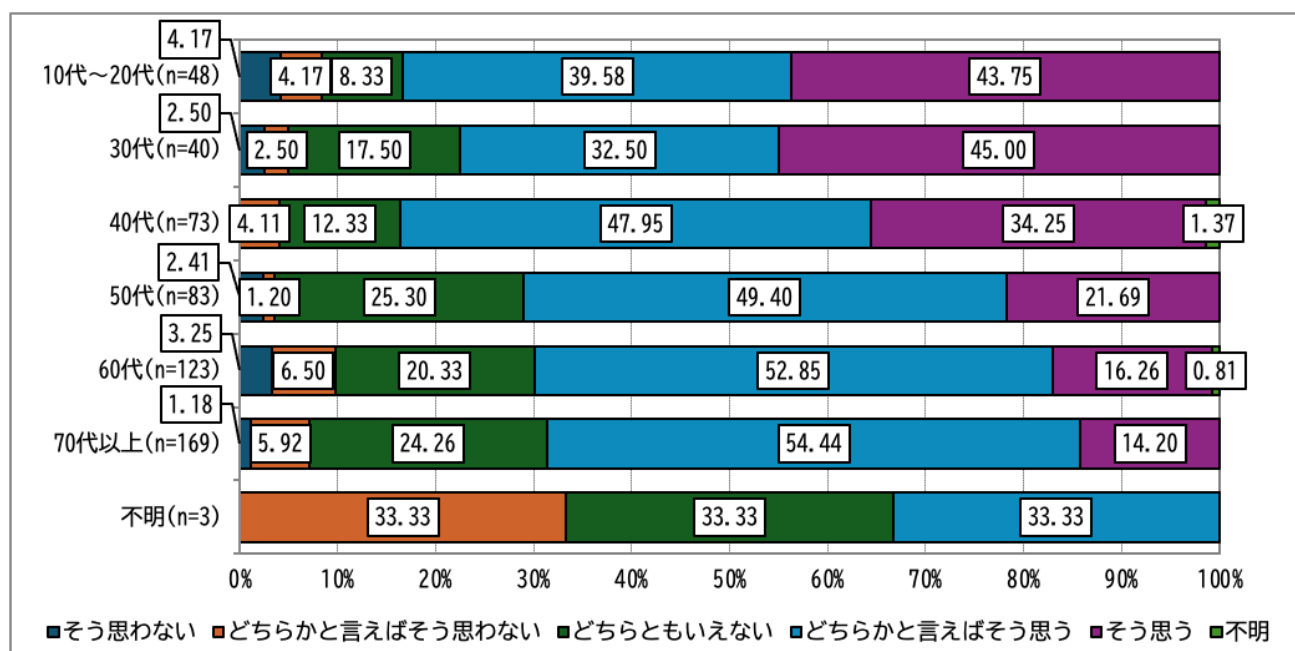
年齢別にみると、10代～20代の満足度が83.33%で最も高く、次いで40代が82.20%と、80%を超えています。他の地区も、60%台後半から70%台と全体的に高くなっています。



【地区別】



【年齢別】



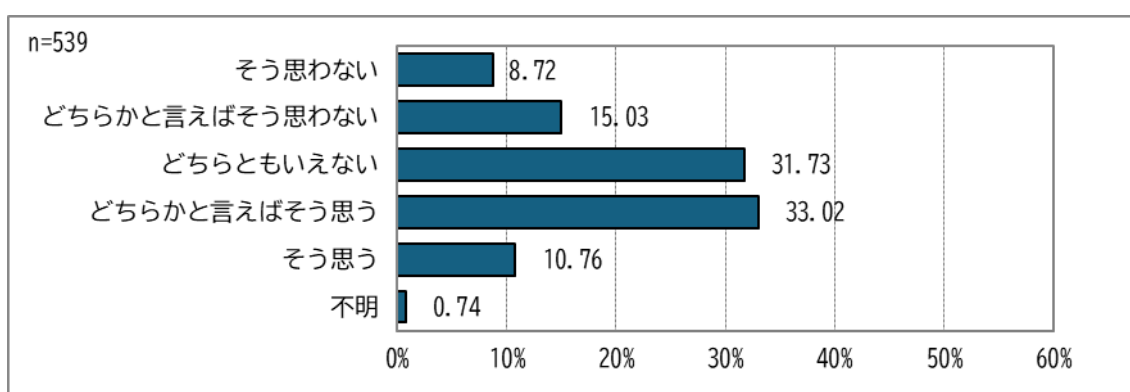
(37)小山町には愛着・親しみを持てる公園・緑地がある

【全体結果】

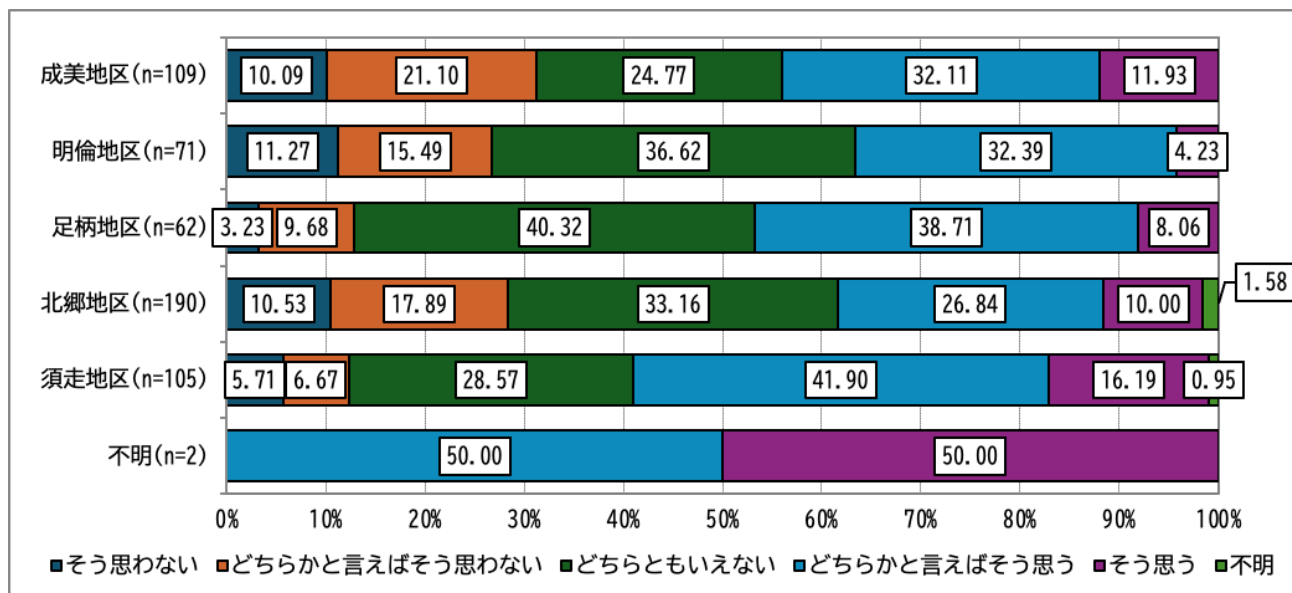
「どちらかと言えばそう思う」が33.02%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が31.73%、「どちらかと言えばそう思わない」が15.03%となっており、町民の満足度は43.78%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が58.09%と最も高くなっています。一方で、明倫地区では36.62%、北郷地区では36.84%となっており、約21ポイントの差があります。地区ごとに差が大きい結果となっています。

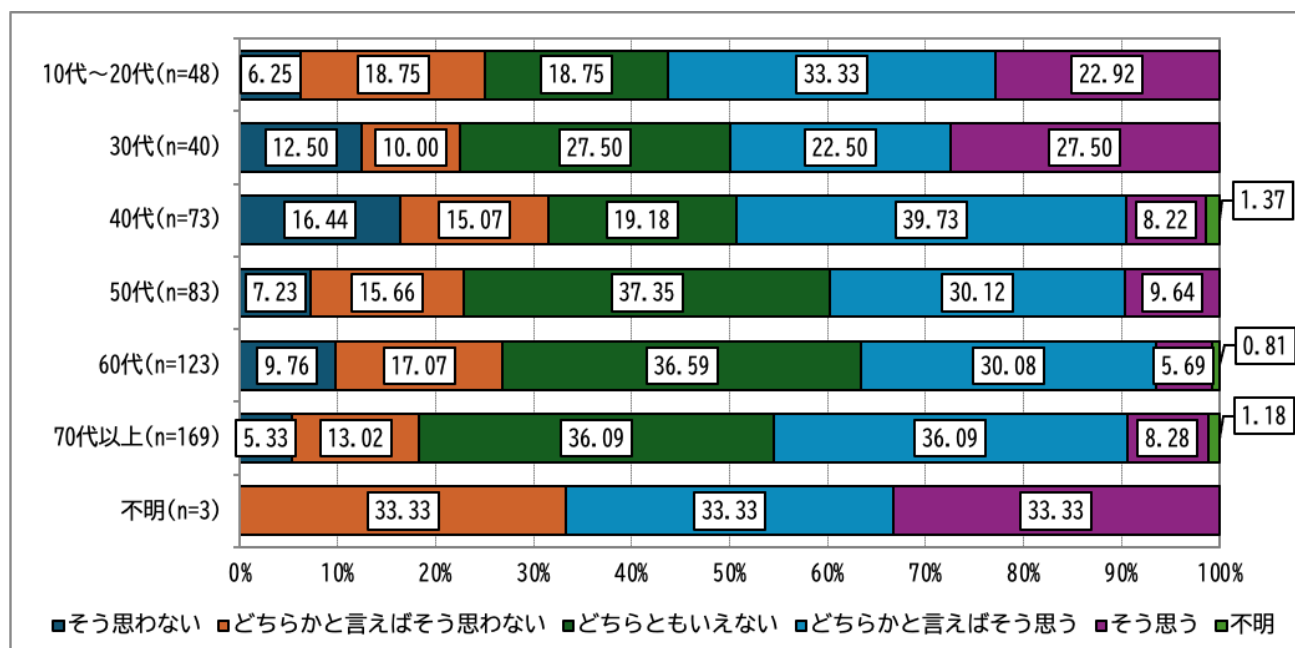
年齢別にみると、年齢が低いほど満足度が高い傾向にあり、10代～20代の満足度が56.25%で最も高くなっています。一方で、60代の満足度は35.77%で最も低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



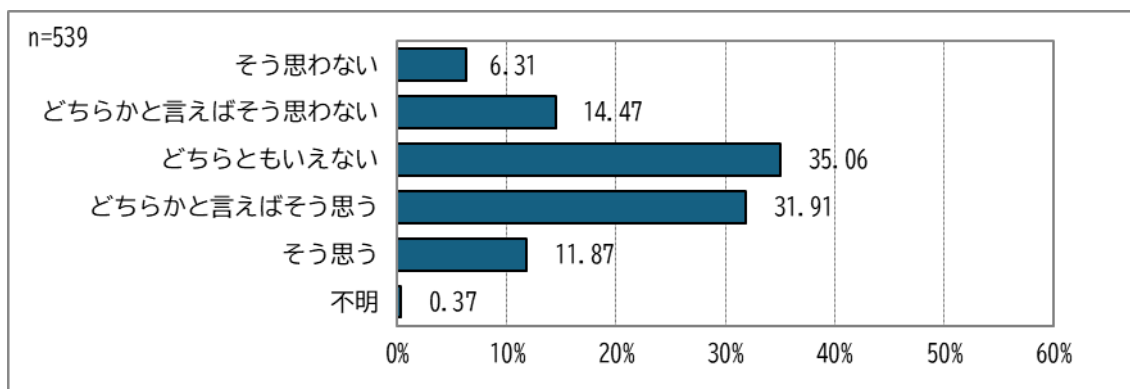
(38)住んでいる地域に良好な住環境が整っている

【全体結果】

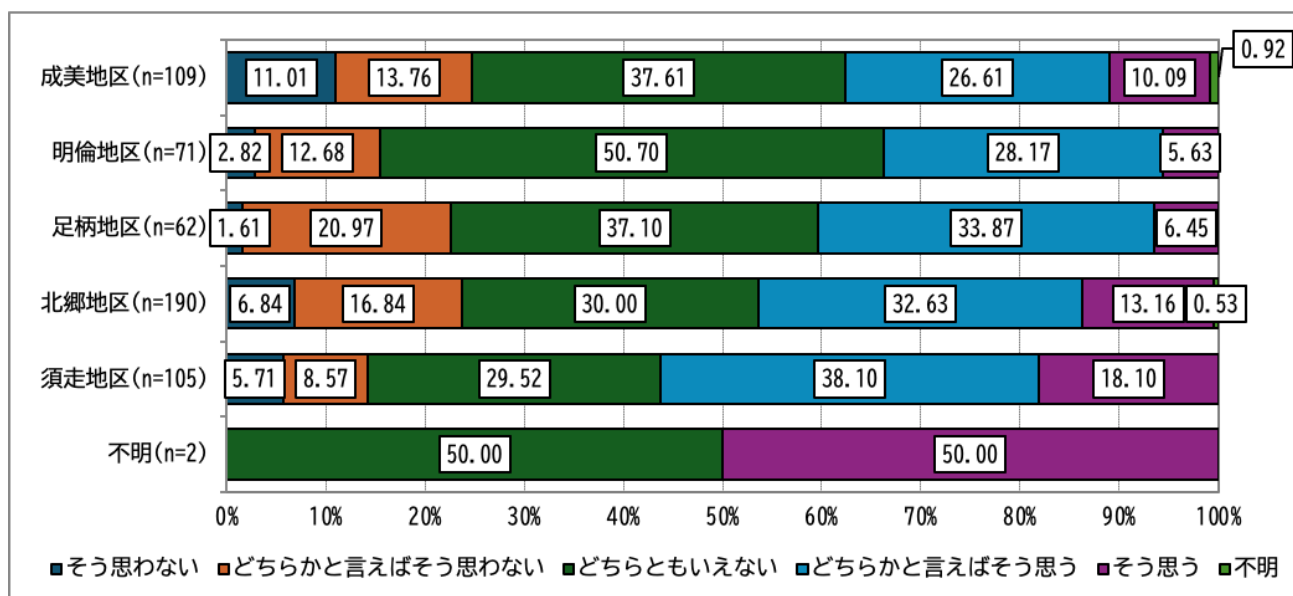
「どちらともいえない」が35.06%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が31.91%、「どちらかと言えばそう思わない」が14.47%となっており、町民の満足度は43.78%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が56.20%と最も高くなっています。一方で、明倫地区と成美地区では30%台と低くなっており、足柄地区と北郷地区では40%台と、地区により傾向が異なります。

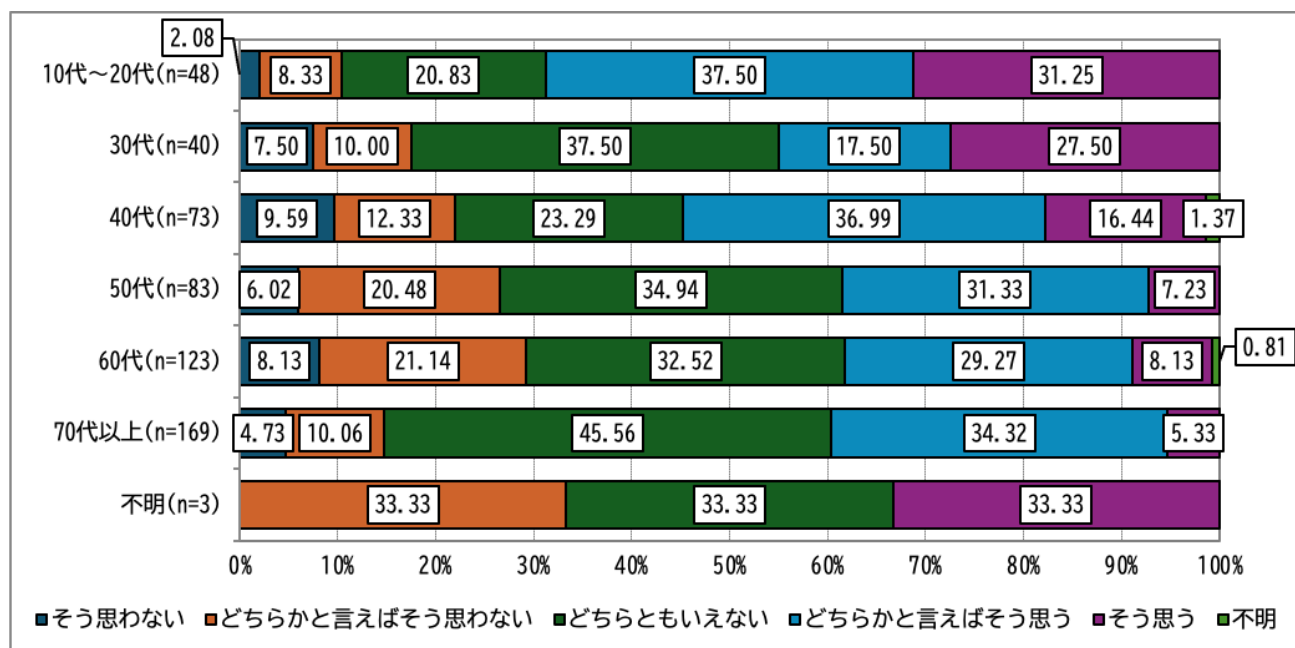
年齢別にみると、10代～20代の満足度が68.75%で最も高く、次いで40代が53.43%となっています。一方で、60代以上の満足度は30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



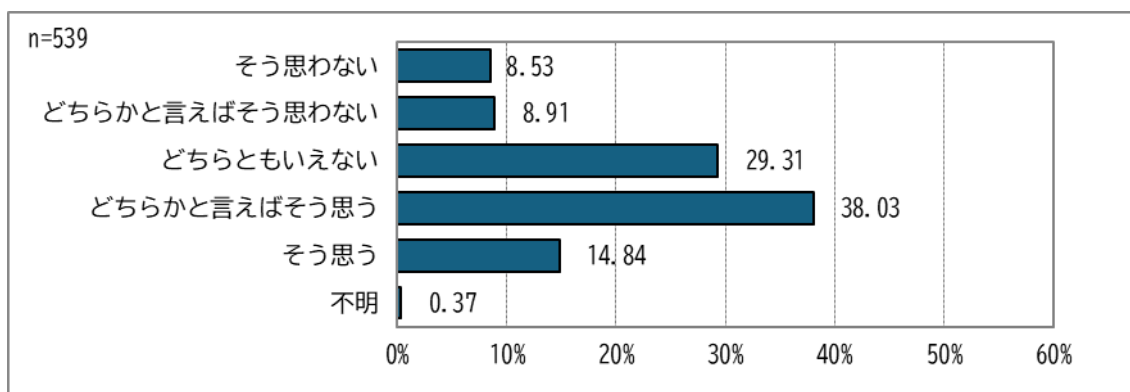
(39)町職員の窓口対応及び各種対応に満足している

【全体結果】

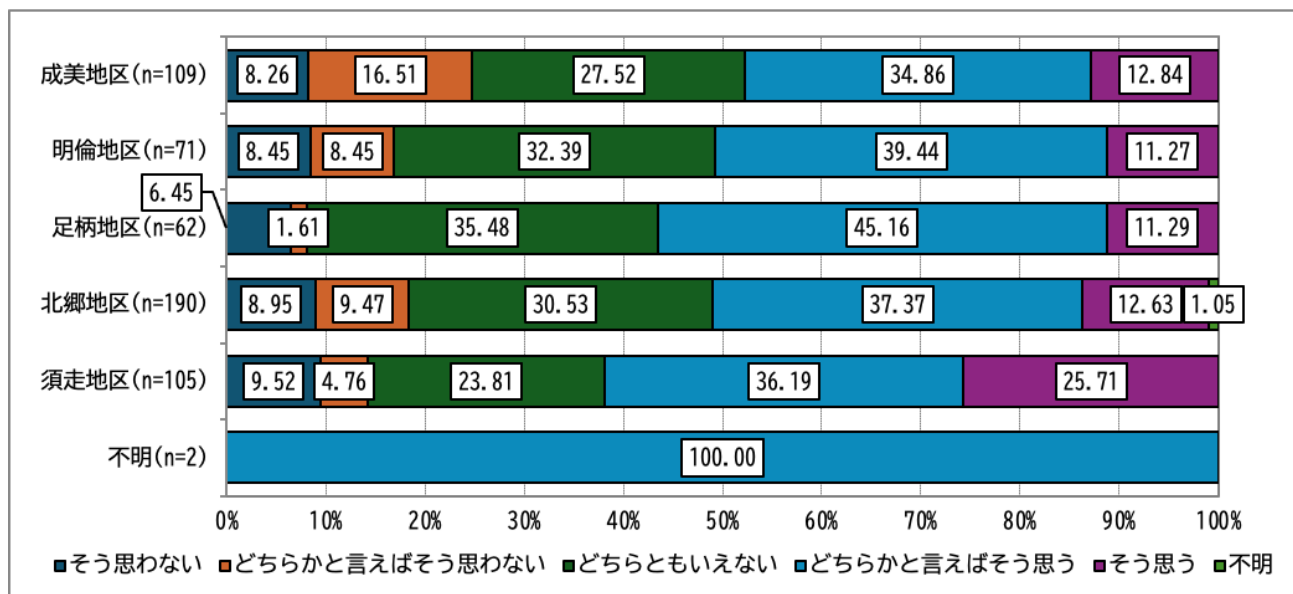
「どちらかと言えばそう思う」が38.03%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.31%、「そう思う」が14.84%となっており、町民の満足度は52.87%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が61.90%と最も高くなっています。他の地区は、40%台後半から50%台となっています。

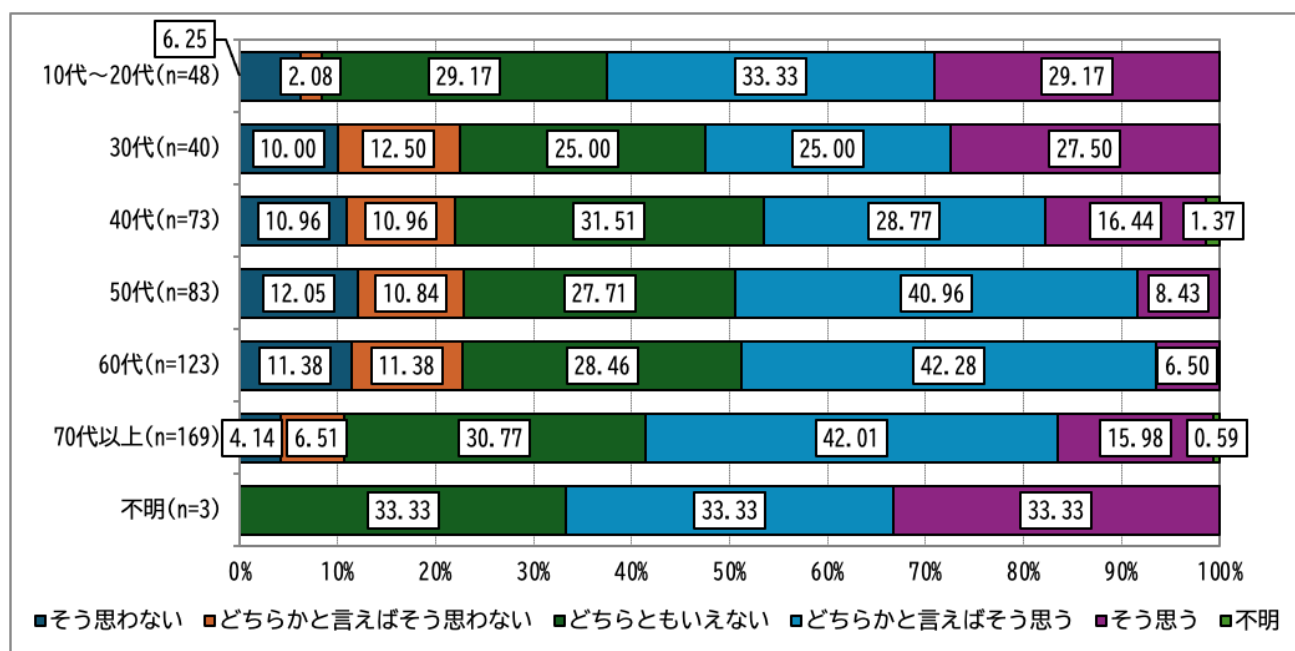
年齢別にみると、10代～20代の満足度が62.50%で最も高く、次いで70代以上が57.99%となっています。他の世代も40%台後半から50%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



(40)小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている

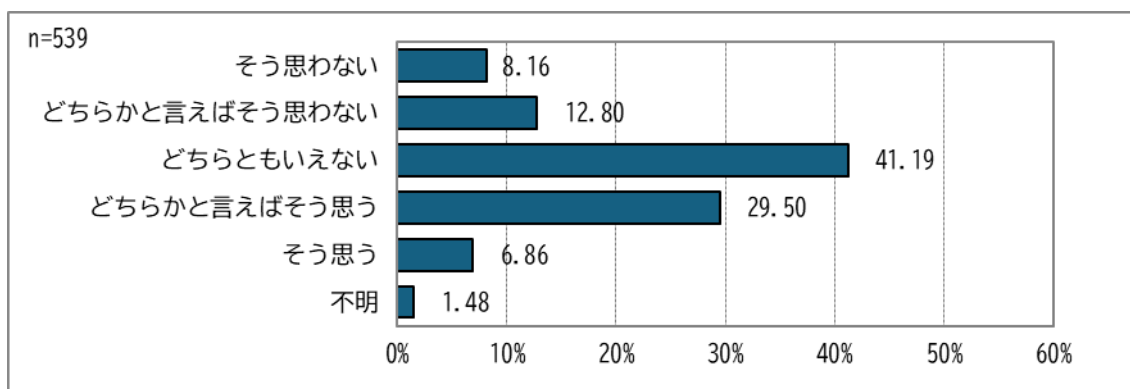
【全体結果】

「どちらともいえない」が41.19%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が29.50%、

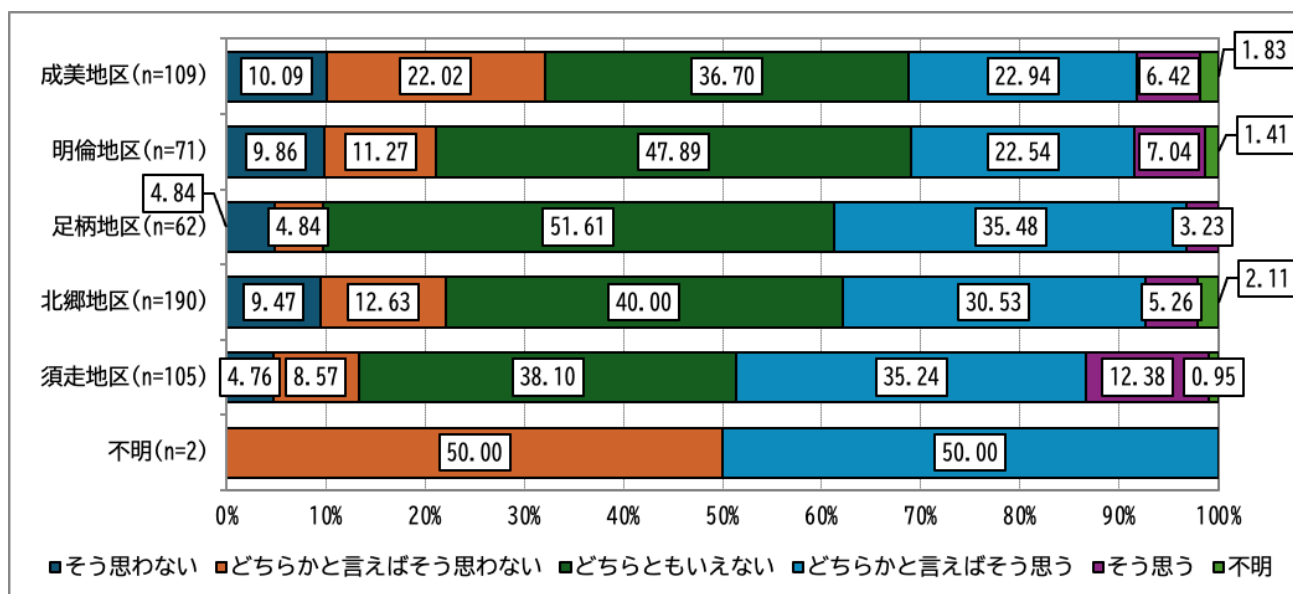
「どちらかと言えばそう思わない」が12.80%となっており、町民の満足度は36.36%となりました。

地区別にみると、どの地区でも満足度は50%に達しておらず、成美地区の満足度は29.36%、明倫地区の満足度は29.58%と30%を下回っています。

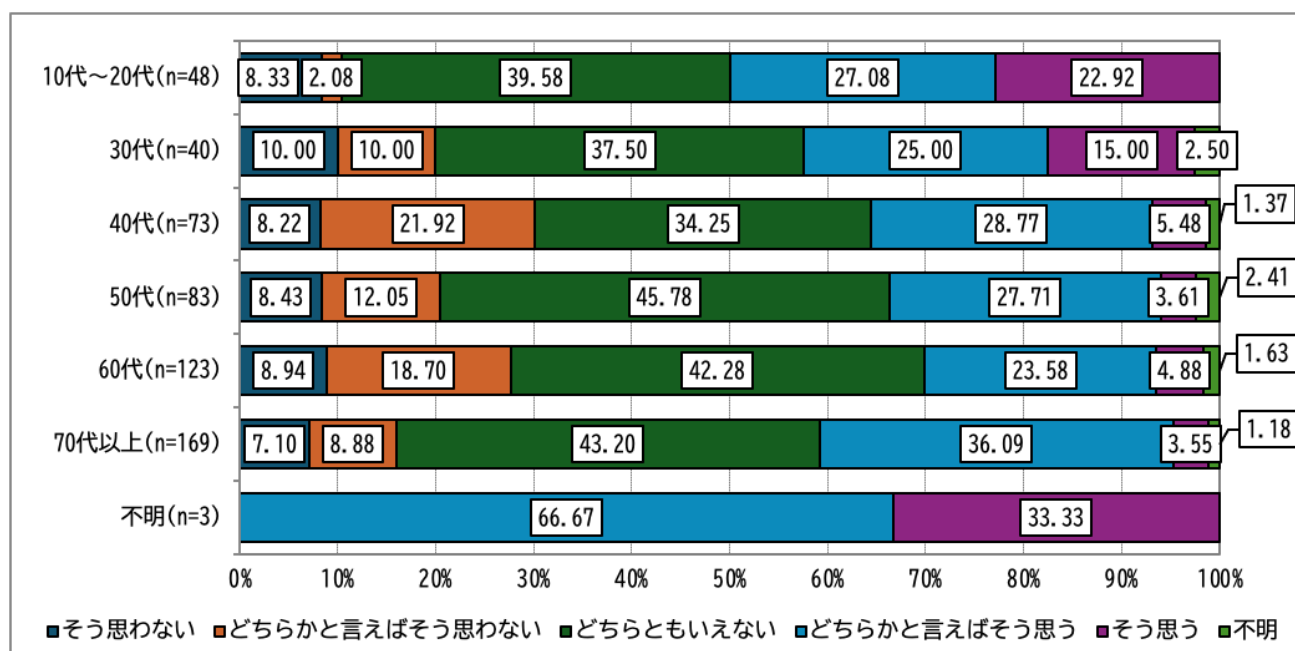
年齢別にみると、10代～20代の満足度が50.00%と最も高い一方で、60代の満足度が28.46%と最も低くなっています。また、40代以上はどの世代も30%台以下となっています。



【地区別】



【年齢別】



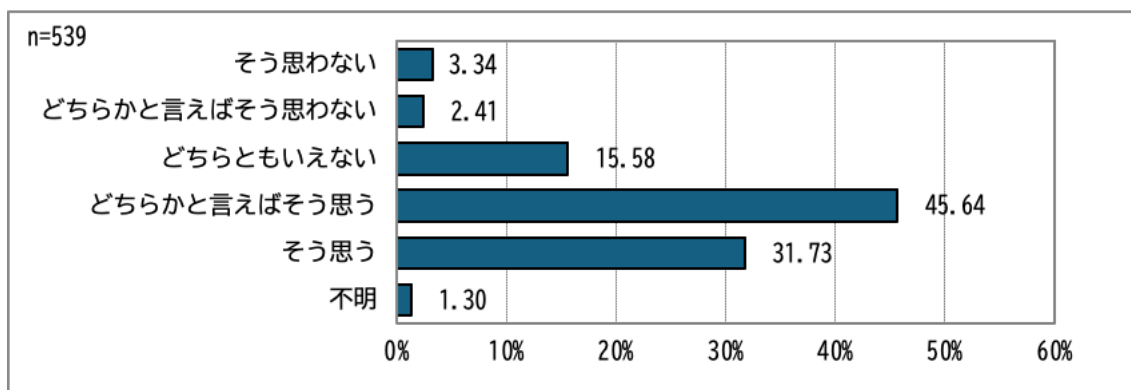
(41)無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている

【全体結果】

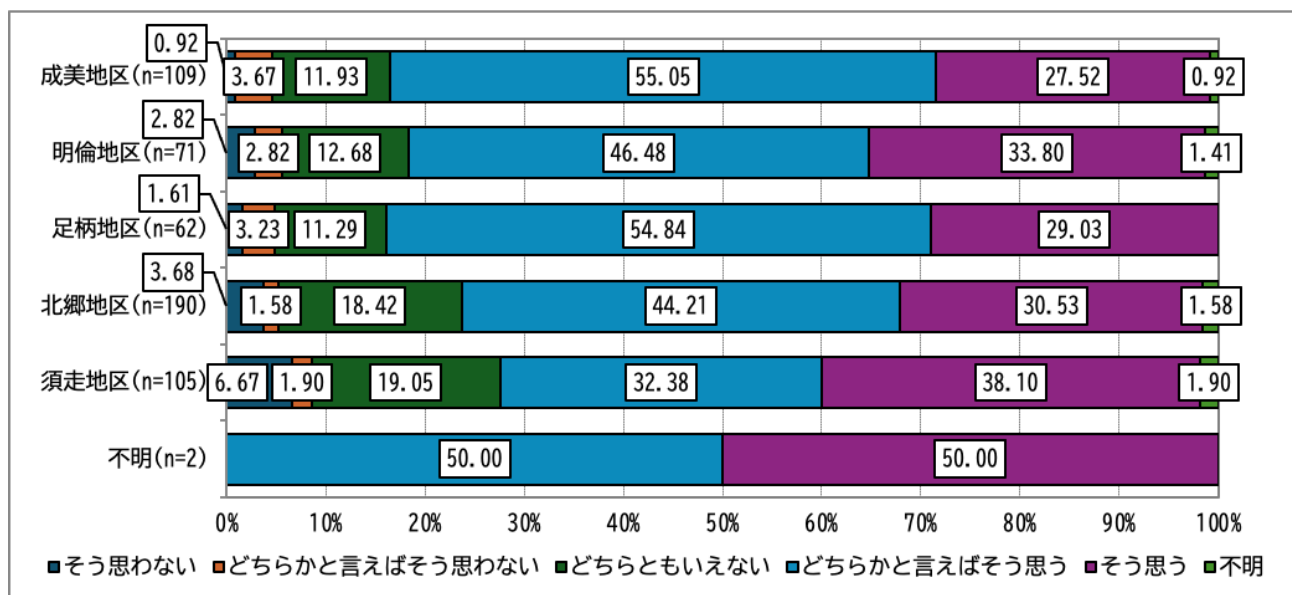
「どちらかと言えばそう思う」が45.64%と最も高く、次いで「そう思う」が31.73%、「どちらともいえない」が15.58%となっており、町民の満足度は77.37%となりました。

地区別にみると、どの地区も満足度が70%以上となっています。

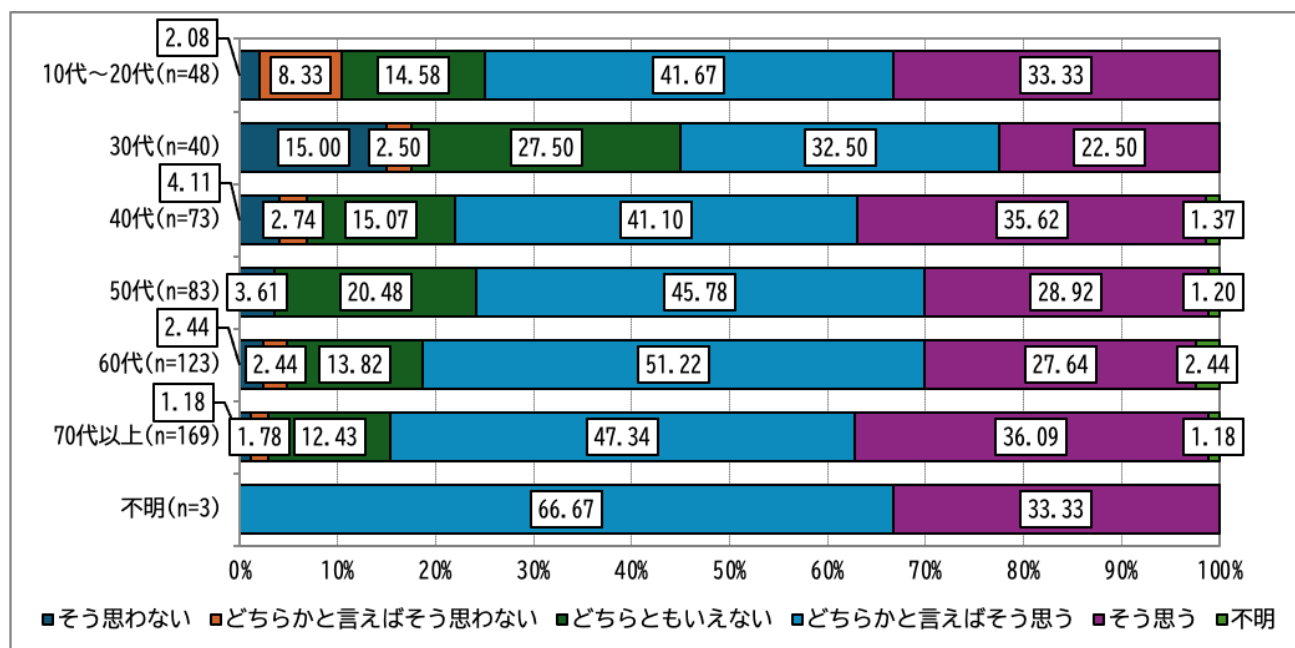
年齢別にみると、30代を除くすべての年齢で70%以上となっています。



【地区別】



【年齢別】



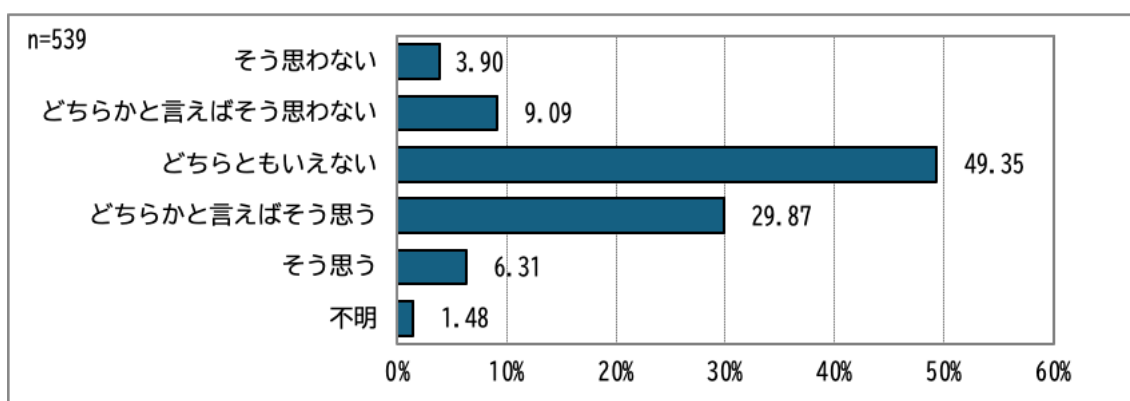
(42)小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる

【全体結果】

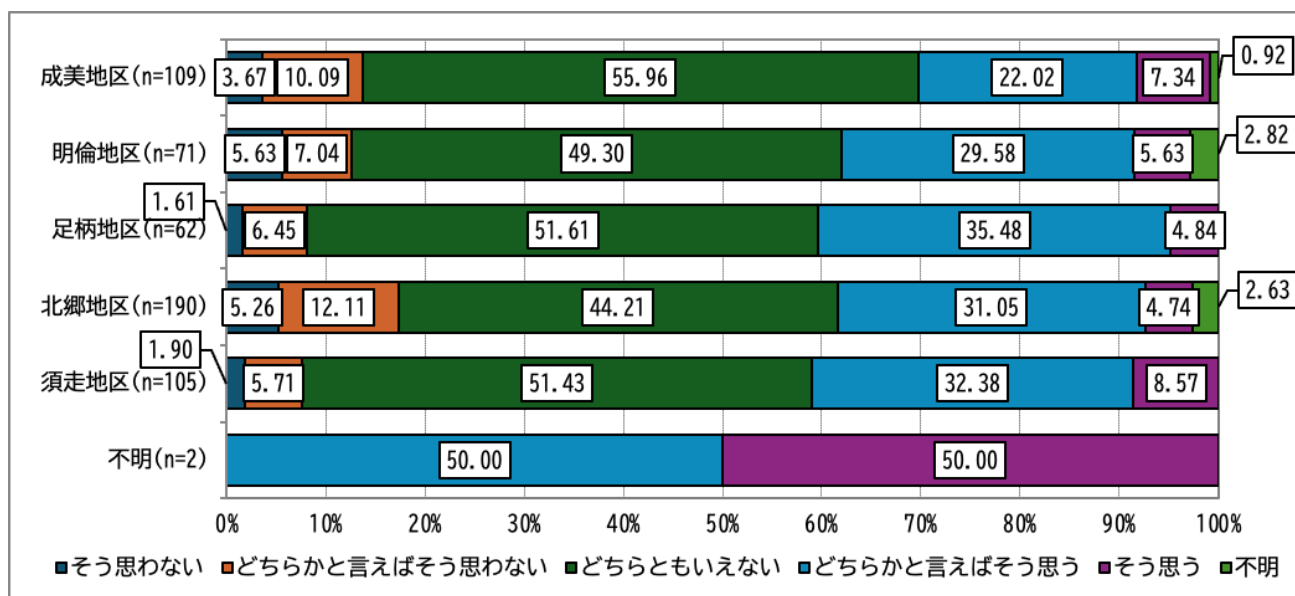
「どちらともいえない」が49.35%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が29.87%、「どちらかと言えばそう思わない」が9.09%となっており、町民の満足度は36.2%となりました。

地区別にみると、どの地区も「どちらともいえない」が40%台から50%台と最も高くなっており、満足度は20%台から40%台前半となっています。

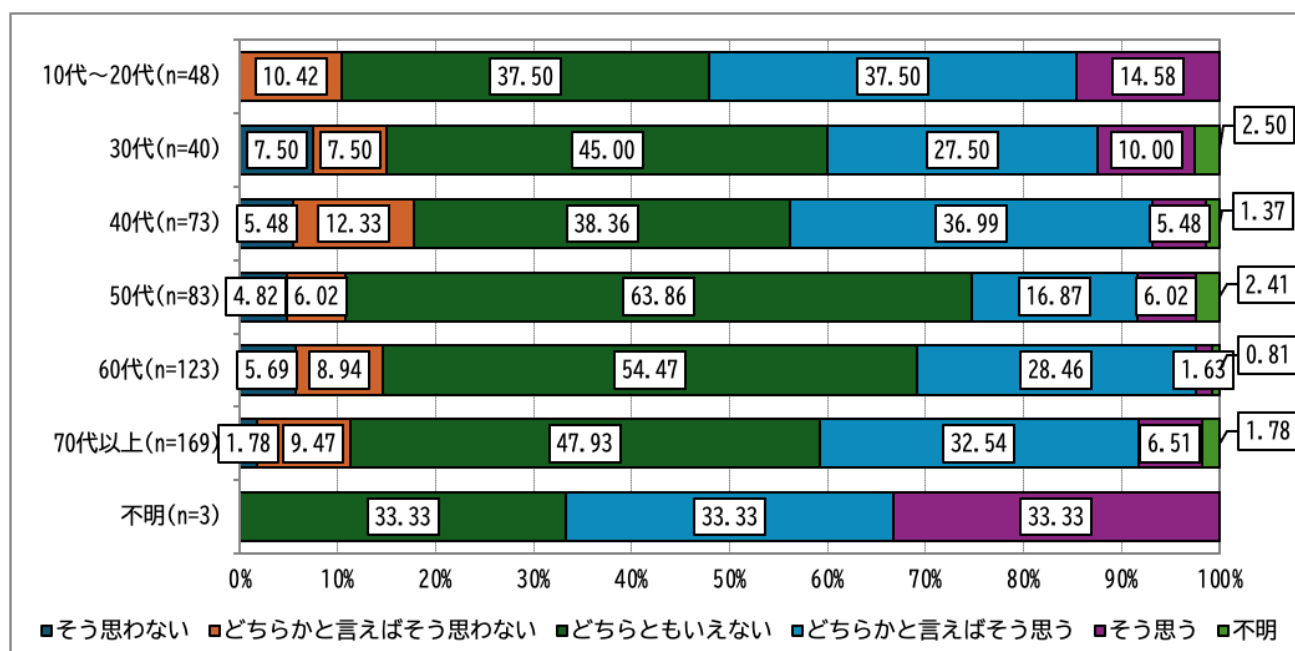
年齢別にみると、10代～20代の満足度は52.08%と最も高くなっています。50代で「どちらともいえない」の割合が63.86%となっていることもあり、満足度が22.89%と最も低くなっています。他の世代の満足度も、30%台から40%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



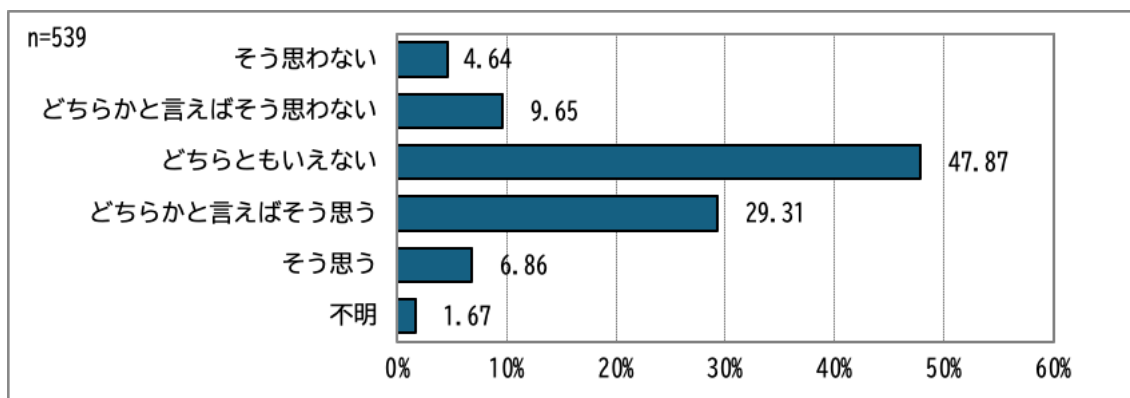
(43)町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある

【全体結果】

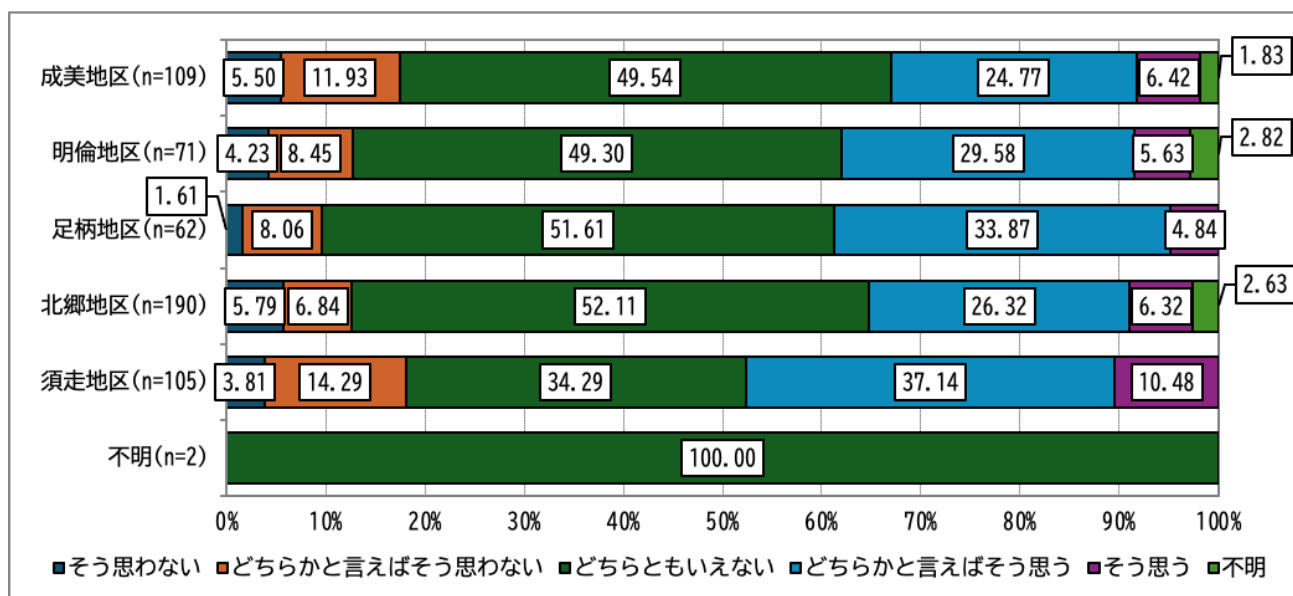
「どちらともいえない」が47.87%と最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」が29.31%、「どちらかと言えばそう思わない」が9.65%となっており、町民の満足度は36.17%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が47.62%と最も高くなっています。一方、他の地区は「どちらともいえない」が50%前後で、満足度が30%台となっています。

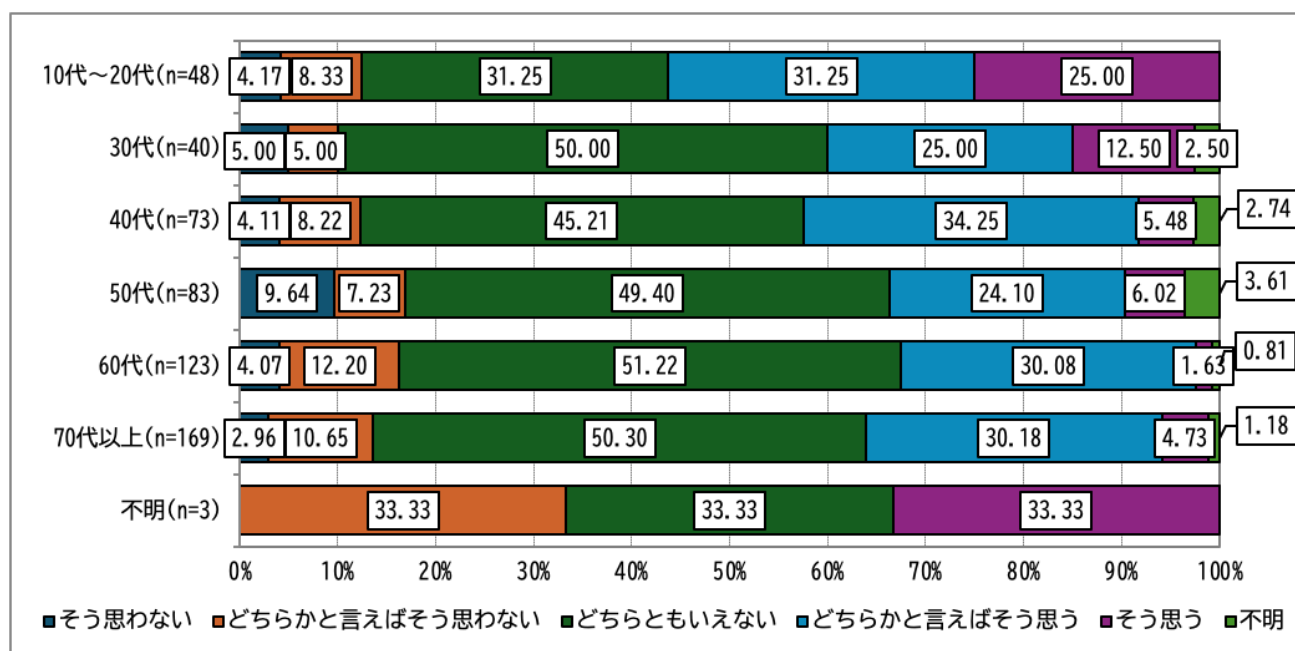
年齢別にみると、10代～20代の満足度が56.25%と最も高くなっています。一方、他の世代は「どちらともいえない」が50%前後で、満足度が30%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



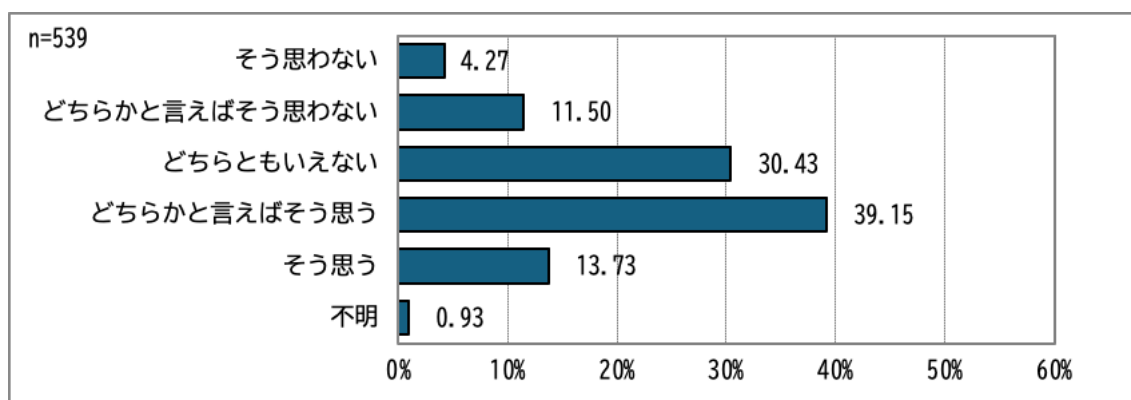
(44) 町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している

【全体結果】

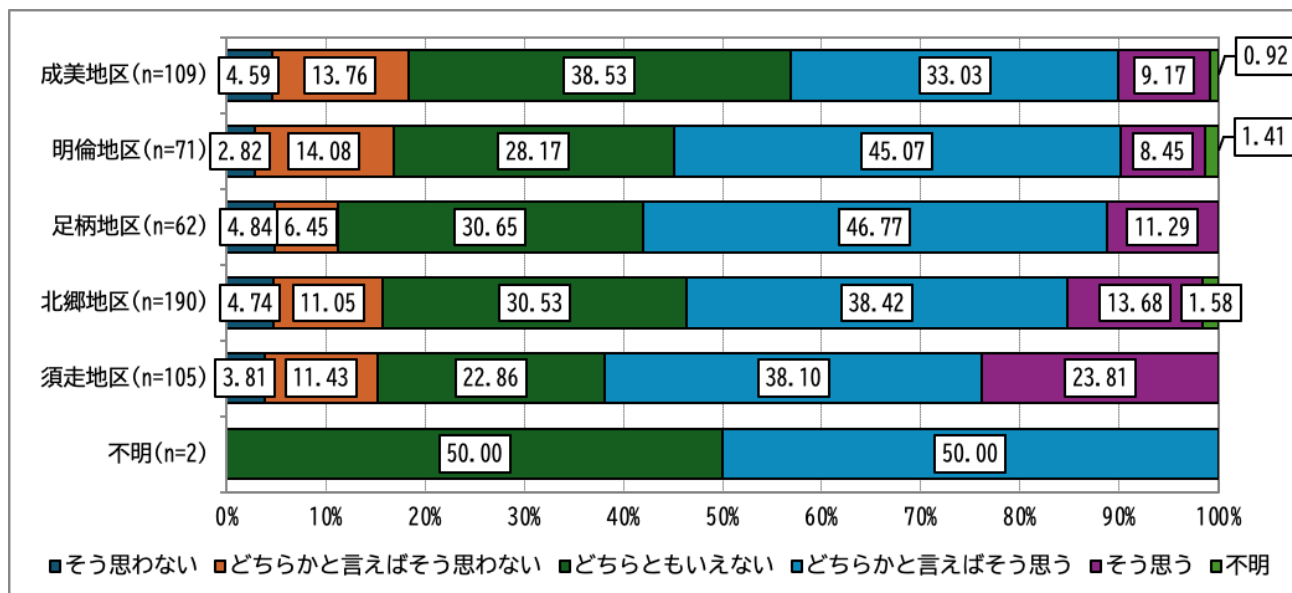
「どちらかと言えばそう思う」が39.15%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.43%、「そう思う」が13.73%となっており、町民の取組度は52.88%となりました。

地区別にみると、成美地区を除くすべての地区の取組度が50%台以上となっています。

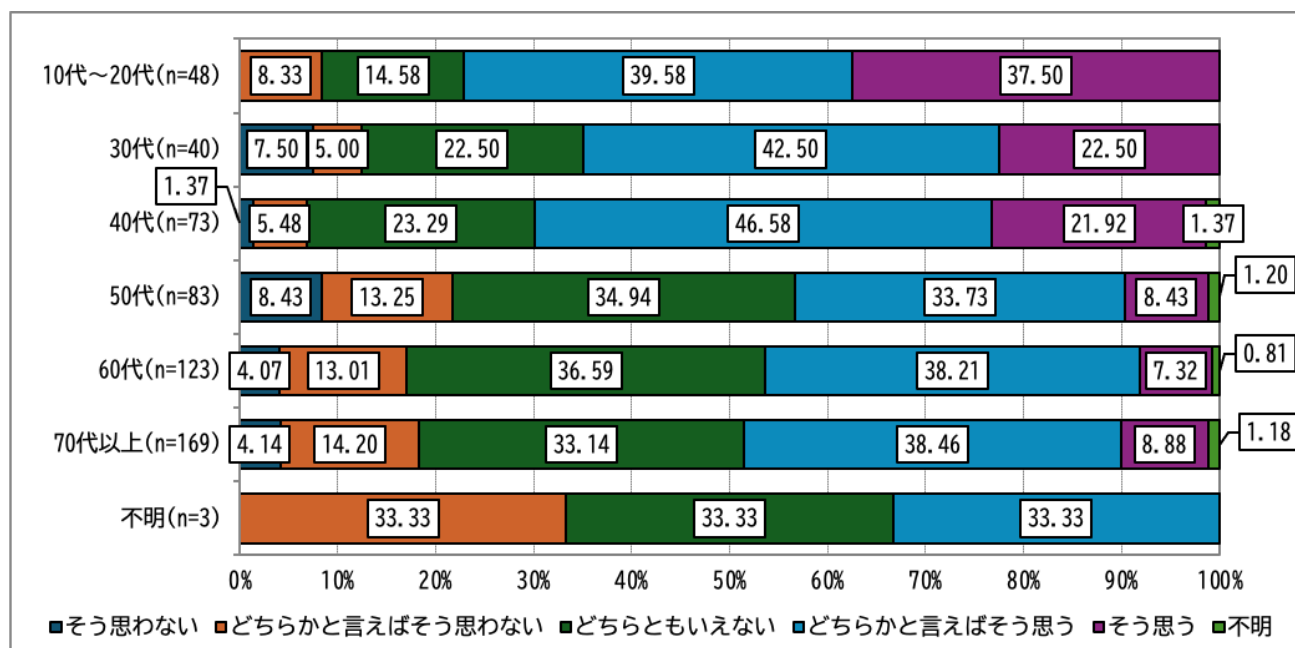
年齢別にみると、年齢が低いほど取組度が高くなっており、40代まではどの年齢も取組度が60%以上となっています。一方で、50代以上になると、取組度が急に低下し、50代の取組度は42.16%と最も低くなっています。



【地区別】



【年齢別】



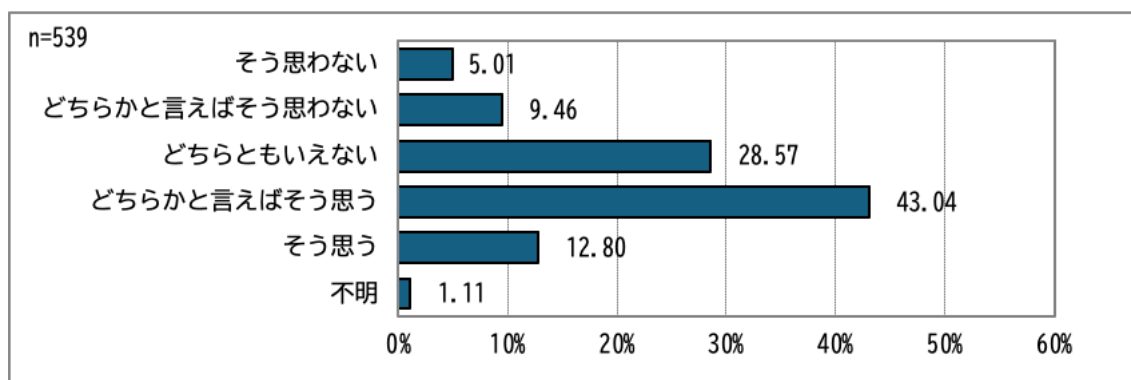
(45)町からの必要な情報が適切に伝わっている

【全体結果】

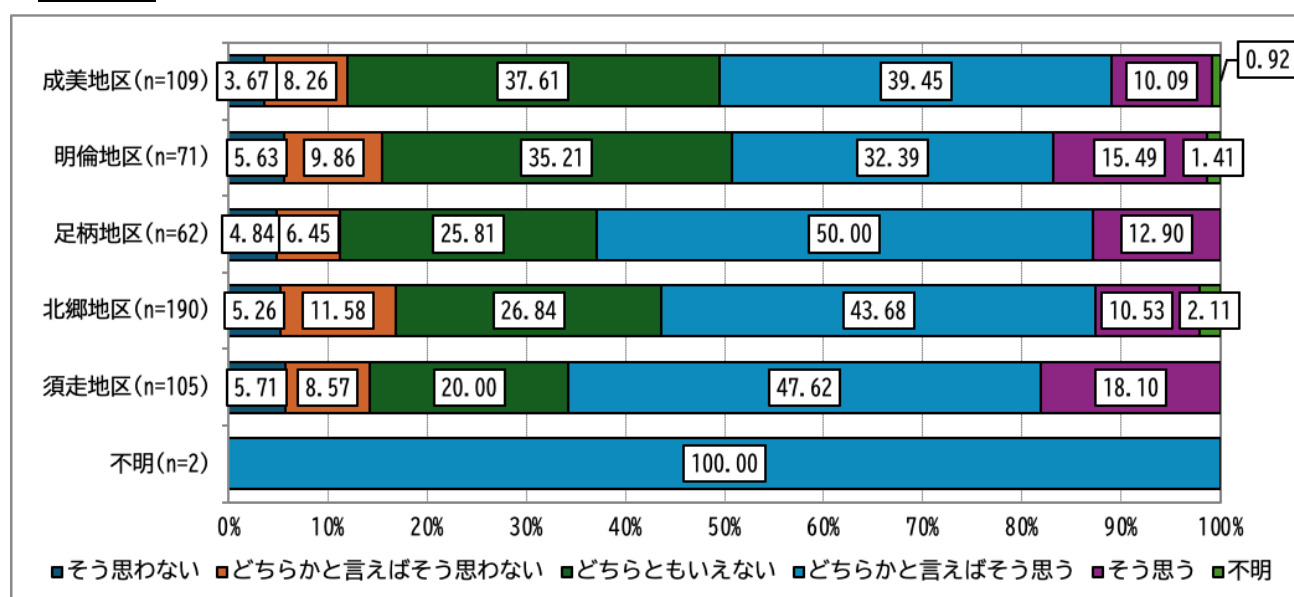
「どちらかと言えばそう思う」が43.04%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.57%、「そう思う」が12.80%となっており、町民の満足度は55.84%となりました。

地区別にみると、須走地区の満足度が65.72%と最も高く、次いで足柄地区が62.90%となっています。他の地区は40%台後半から50%台となっています。

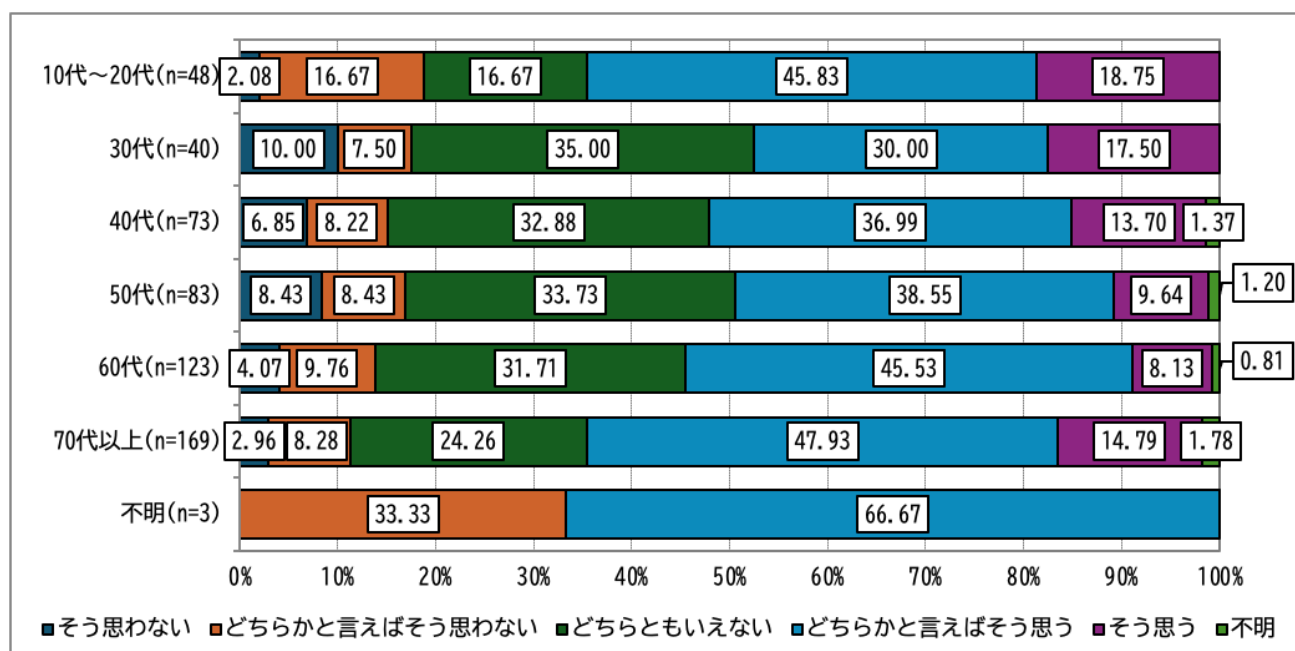
年齢別にみると、10代～20代の満足度が64.58%と最も高く、次いで70代以上が62.72%となっています。他の地区は40%台後半から50%台となっています。



【地区別】



【年齢別】



満足度・取組度のまとめ

【全体】

小山町の暮らしの中で感じていることについて、満足度・取組度が高いものは「安全な水道水が安定供給されている」が最も高く87.9%、次いで「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている」が77.4%、「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」が76.4%となっています。

その他の満足度・取組度の高い項目に着目すると、「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている」や、「清らかで豊かな水資源が守られている」、「汚水(下水)が適切に処理されている」などが上位を占めています。最も満足度・取組度が高い「安全な水道水が安定供給されている」と合わせ、町の豊かな自然環境や水資源(上下水)に対する評価が全般的に高いことが分かります。

また、「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」も上位に入っており、3番目に満足度・取組度が高い「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」と合わせ、町の治安や生活の安心感に対する評価が高いことがうかがえます。

一方、満足度・取組度が低いものは「小山町が観光客でにぎわっている」が最も低く13.7%、次いで「公共交通が必要な時に利用できる」が18.0%、「買い物に不便がないと感じる」が18.4%となっています。

最も満足度・取組度の低い観光について、令和6年度の観光入込客数は340万人となっていますが、住民の実感としては、観光客によるにぎわいを感じにくい状況がうかがえます。

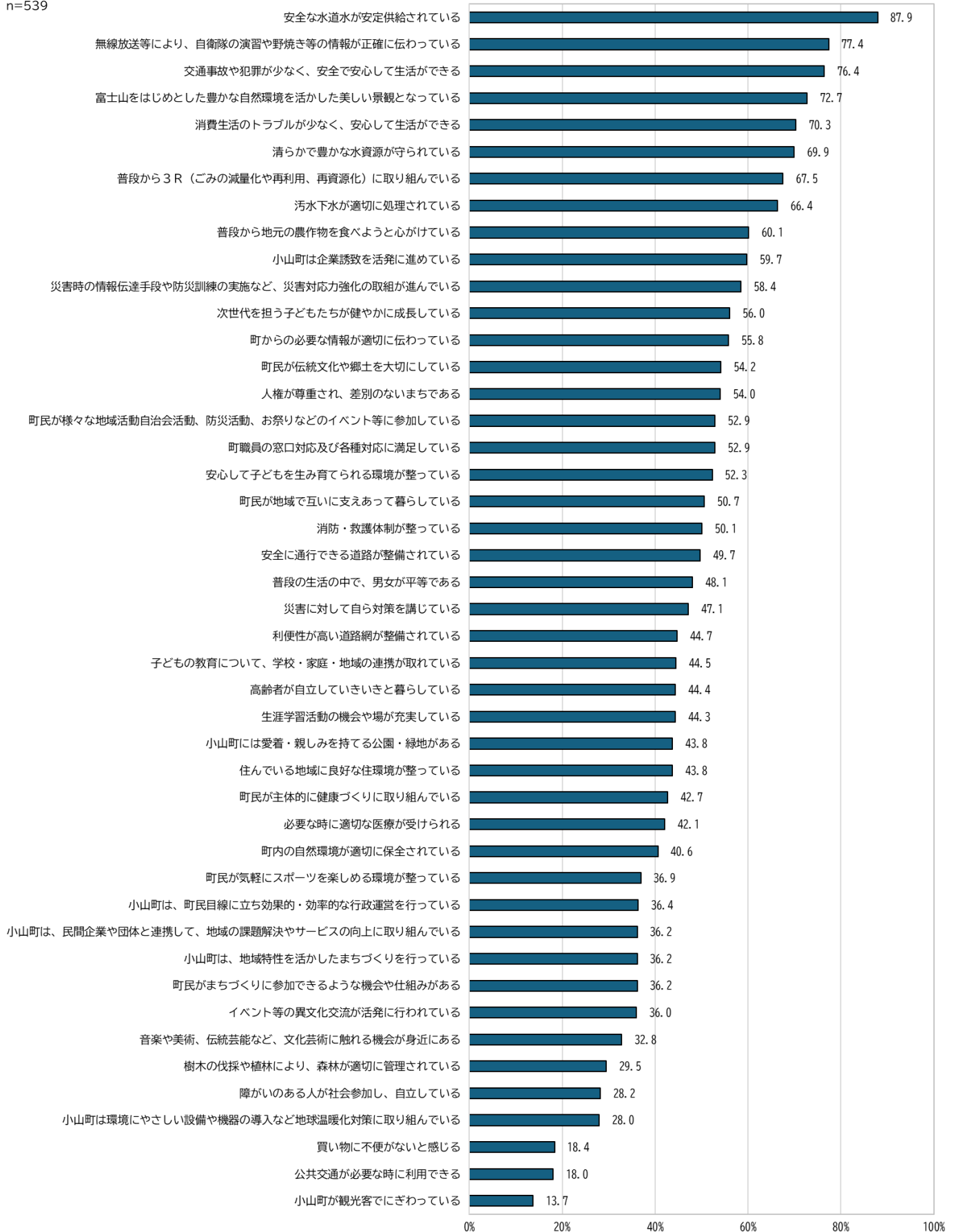
また、「公共交通が必要な時に利用できる」、「買い物に不便がないと感じる」がそれぞれ2番目と3番目に満足度・取組度が低いことについては、日常における生活利便性が低いと感じている町民が多いことが分かる結果となりました。

その他の満足度・取組度が低い項目に着目すると、「音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある」、「町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある」、「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」などがあり、町民が文化・スポーツ、まちづくりなどの分野における参加や鑑賞の機会が十分に確保されていないと感じる方が多いことが分かります。

【暮らし中で感じていること(満足度が高い順)】

※小数点第二位以下は四捨五入

n=539



地区別結果のまとめ

地区別で満足度・取組度の上位、下位の項目に大きな偏りはなく、「安全な水道水が安定供給されている」「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」についてはどの地区でも上位となっています。一方で、「買い物に不便がないと感じる」、「小山町が観光客でにぎわっている」、「公共交通が必要な時に利用できる」については、どの地区でも下位となっています。

地区別傾向は以下です。(上記の通り全体的に傾向が一致している場合の記載は省略)

成美地区は、全地区で最も満足度・取組度が低く、平均満足度・取組度は43.6%となっています。また、満足度・取組度が60%を超えている項目が6項目にとどまっています。「小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている」、「小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる」、「小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている」など、町政運営に関する項目が20%台と低くなっています。

明倫地区は、平均満足度・取組度は46.5%となっています。「安全な水道水が安定供給されている」が、全地区における全項目で最も高い90.1%となっています。一方、「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている」が唯一70%を下回っているほか、「町内の自然環境が適切に保全されている」が20%台と、他地区と比べ環境系の指標が低くなっています。また、「小山町が観光客でにぎわっている」は、全地区における全項目の中で最も低い4.2%となっています。

足柄地区は、平均満足度・取組度は48.4%となっています。「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」が全地区で最も満足度が高いほか、「普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる」が唯一上位5項目に入っています。一方で、「音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある」が唯一下位5項目に入っているほか、下位2項目の「買い物に不便がないと感じる」「小山町が観光客でにぎわっている」はどちらも10%前後と低くなっています。

北郷地区は、平均満足度・取組度は46.0%となっています。他地区と比較して特出した結果が少なくなっています。すべての地区の中で「公共交通が必要な時に利用できる」が最も低いですが、「買い物に不便がないと感じる」、「小山町が観光客でにぎわっている」の下位3項目が12%台から14%台と、ほぼ同程度の低さとなっています。

須走地区は、全地区で最も満足度・取組度が高く、平均満足度・取組度は53.9%となっています。多くの項目で他の地区を上回る結果となっていますが、「汚水下水が適切に処理されている」が唯一上位5項目に入っていることや、「町内の自然環境が適切に保全されている」が唯一50%を超えているなど、水・環境・景観系の複数項目の満足度が特に上位に位置しています。

地区別結果の差が最も大きかったのは、「安全に通行できる道路が整備されている」で、須走地区の満足度・取組度が62.9%で最も高いのに対して、成美地区の満足度・取組度は30.2%、また、足柄地区の満足度・取組度は33.9%となり、約30ポイントの差となっています。すべての地区で満足度・取組度が50%を超えているアンケート項目のなかでは、「清らかで豊かな水資源が守られている」で、須走地区の満足度・取組度が81.9%で最も高いのに対して、成美地区では55.9%となっており、26.0ポイントの差があります。一方で、すべての地区で満足度・取組度が50%を下回っているアンケート項目では「樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている」で、須走地区の満足度・取組度が46.7%で最も高いのに対して、成美地区では18.4%となっており、28.3ポイントの差があります。

上位5項目

下位5項目

※小数点第二位以下は四捨五入

(単位:%)

番号	アンケート項目	成美地区 (n=109)	明倫地区 (n=71)	足柄地区 (n=62)	北郷地区 (n=190)	須走地区 (n=105)
1	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	56.0	53.5	66.1	57.4	61.0
2	災害に対して自ら対策を講じている	49.5	38.0	46.8	39.5	63.8
3	消防・救護体制が整っている	42.2	49.3	53.2	48.4	59.1
4	交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる	71.6	80.3	85.5	73.7	79.1
5	消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	72.5	70.4	71.0	66.3	75.2
6	安心して子どもを生み育てられる環境が整っている	45.9	49.3	46.8	54.2	61.0
7	高齢者が自立していきいきと暮らしている	36.7	40.9	41.9	48.9	47.6
8	町民が地域で互いに支えあって暮らしている	56.0	42.3	53.2	49.0	52.4
9	障がいのある人が社会参加し、自立している	26.6	33.8	19.4	29.0	29.5
10	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる	43.1	46.5	46.8	40.5	40.0
11	必要な時に適切な医療が受けられる	39.5	53.5	38.7	38.4	44.8
12	人権が尊重され、差別のないまちである	49.5	59.2	62.9	46.3	62.9
13	普段の生活の中で、男女が平等である	49.5	57.8	40.3	41.1	56.2
14	子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている	44.0	45.1	48.4	42.1	46.7
15	次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	58.7	53.5	51.6	53.2	62.9
16	生涯学習活動の機会や場が充実している	40.4	49.3	46.8	42.6	46.7
17	町民が伝統文化や郷土を大切にしている	49.5	56.3	50.0	52.6	61.9
18	音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある	32.1	36.6	25.8	30.5	39.1
19	町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	33.0	33.8	40.3	41.1	32.4
20	イベント等の異文化交流が活発に行われている	33.9	33.8	37.1	34.2	41.0
21	小山町は企業誘致を活発に進めている	57.8	57.8	62.9	62.1	56.2
22	買い物に不便がないと感じる	17.4	22.5	11.3	13.7	29.5
23	小山町が観光客でにぎわっている	10.1	4.2	9.7	12.6	28.6
24	普段から地元の農作物を食べようと心がけている	55.1	60.6	64.5	64.7	53.3
25	樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている	18.4	25.4	37.1	25.8	46.7
26	町内の自然環境が適切に保全されている	31.2	29.6	45.2	41.1	54.3

27	清らかで豊かな水資源が守られている	56.0	71.8	71.0	70.5	81.9
28	小山町は環境にやさしい設備や機器の導入など地球温暖化に取り組んでいる	22.0	33.8	27.4	28.4	30.5
29	普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる	68.8	62.0	75.8	64.7	69.5
30	公共交通が必要な時に利用できる	18.4	16.9	19.4	14.7	23.8
31	安全な水道水が安定供給されている	86.2	90.1	83.9	89.0	88.6
32	汚水下水が適切に処理されている	55.0	60.6	59.7	66.8	84.8
33	安全に通行できる道路が整備されている	45.0	46.5	38.7	51.6	60.0
34	利便性が高い道路網が整備されている	30.3	45.1	33.9	46.3	62.9
35	小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている	26.6	38.0	41.9	34.2	44.8
36	富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている	73.4	67.6	75.8	70.5	78.1
37	小山町には愛着・親しみを持てる公園・緑地がある	44.0	36.6	46.8	36.8	58.1
38	住んでいる地域に良好な住環境が整っている	36.7	33.8	40.3	45.8	56.2
39	町職員の窓口対応及び各種対応に満足している	47.7	50.7	56.5	50.0	61.9
40	小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている	29.4	29.6	38.7	35.8	47.6
41	無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	82.6	80.3	83.9	74.7	70.5
42	小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる	29.4	35.2	40.3	35.8	41.0
43	町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある	31.2	35.2	38.7	32.6	47.6
44	町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している	42.2	53.5	58.1	52.1	61.9
45	町からの必要な情報が適切に伝わっている	49.5	47.9	62.9	54.2	65.7
	平均満足度・取組度	43.6	46.5	48.4	46.0	53.9

年齢別結果のまとめ

年齢別でも、上位、下位の項目に大きな偏りはなく、「安全な水道水が安定供給されている」については全年齢でも上位となっています。また、「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」、「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている」については1つの年齢を除き上位となっています。一方で、「買い物に不便がないと感じる」「小山町が観光客でにぎわっている」「公共交通が必要な時に利用できる」については全年齢で下位となっています。

年齢別傾向は以下です。(上記の通り全体的に傾向が一致している場合の記載は省略)

10代～20代は、全年齢で最も満足度・取組度が高く、平均満足度・取組度は62.2%となっています。他の年齢と比較すると突出しており、最も低い60代と比べると約20ポイントの差があります。特に、安全・安心、環境、人権分野を中心に満足度・取組度が75%を超える項目が13項目あります。

30代は、平均満足度・取組度が49.6%となっています。上位5項目(同率を含む)は10代～20代と同じ項目となりました。「災害に対して自ら対策を講じている」は全年齢で最も取組度が高くなっています。一方で、他の年齢で約75%以上となっている「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている」の満足度が55%でとどまっています。

40代は、平均満足度・取組度が50.7%となっています。「安全な水道水が安定供給されている」が全年齢における全項目の中で最も満足度が高く91.8%となっています。水・環境系に関する満足度が全体的に高い一方で、「公共交通が必要な時に利用できる」が全年齢で最も低い12.3%のほか、「音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある」が唯一下位5項目となっています。

50代は、平均満足度・取組度が44.6%となっています。全年齢の中で満足度・取組度が最も高い項目がない唯一の年齢となっています。「小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる」が唯一下位5項目となっています。また「人権が尊重され、差別のないまちである」は、他の年齢がすべて50%を超えているなかで、30%台となっています。

60代は、全年齢で最も満足度・取組度が低く、平均満足度・取組度は43.0%となっています。「小山町は企業誘致を活発に進めている」が全年齢で最も満足度が高い一方で、多くの項目で他の年齢よりも満足度・取組度が低く、「町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」「音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある」など、文化・スポーツに関する項目が全年齢唯一どちらも20%台となっています。

70代以上は、平均満足度・取組度が48.3%となっています。「普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる」、「普段から地元の農作物を食べようと心がけている」といった、取組度に関する項目が全年齢の中で最も高くなっています。一方で、「町内の自然環境が適切に保全されている」が唯一下位5項目となっているほか、「小山町が観光でにぎわっている」は全年齢における全項目の中で最も満足度が低く、7.1%となっています。

年齢別結果の差で最も大きかったのは「町内の自然環境が適切に保全されている」で、10代～20代の満足度・取組度は72.9%で、70代以上は27.8%と約45ポイントの差となっています。この項目は、年齢が低いほど評価が高く、年齢が高いほど評価が低い項目となっています。

すべての年齢で満足度・取組度が50%を超えているアンケート項目のなかでは「無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている」で、70代以上の満足度・取組度が83.4%で、30代で55.0%と約28ポイントの差となっています。

すべての年齢で満足度・取組度が50%を下回っているアンケート項目のなかでは「障がいのある人が社会参加し、自立している」で、10代～20代の満足度・取組度が47.9%で、60代で18.7%と、約29ポイントの差となっています。

上位5項目

下位5項目

※小数点第二位以下は四捨五入

(単位:%)

番号	アンケート項目	10代～ 20代 (n=48)	30代 (n=40)	40代 (n=73)	50代 (n=83)	60代 (n=123)	70代 以上 (n=169)
1	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	70.8	55.0	50.7	59.0	53.7	62.1
2	災害に対して自ら対策を講じている	50.0	60.0	46.6	47.0	47.2	43.8
3	消防・救護体制が整っている	66.7	42.5	43.8	43.4	46.3	55.6
4	交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる	89.6	67.5	72.6	74.7	74.0	79.3
5	消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる	79.2	67.5	74.0	66.3	62.6	75.2
6	安心して子どもを生み育てられる環境が整っている	68.8	57.5	52.1	47.0	44.7	55.0
7	高齢者が自立していきいきと暮らしている	62.5	50.0	50.7	45.8	36.6	40.2
8	町民が地域で互いに支えあって暮らしている	62.5	57.5	58.9	50.6	48.0	43.8
9	障がいのある人が社会参加し、自立している	47.9	25.0	27.4	31.3	18.7	29.0
10	町民が主体的に健康づくりに取り組んでいる	41.7	52.5	49.3	43.4	35.0	42.6
11	必要な時に適切な医療が受けられる	66.7	35.0	42.5	32.5	31.7	48.5
12	人権が尊重され、差別のないまちである	77.1	60.0	58.9	38.6	51.2	52.7
13	普段の生活の中で、男女が平等である	75.0	50.0	60.3	44.6	37.4	43.2
14	子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている	77.1	57.5	48.0	34.9	39.0	39.7
15	次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	77.1	65.0	68.5	44.6	46.4	55.6
16	生涯学習活動の機会や場が充実している	62.5	35.0	50.7	33.7	41.5	46.2
17	町民が伝統文化や郷土を大切にしている	79.2	65.0	57.5	55.4	44.7	49.1
18	音楽や美術、伝統芸能など、文化芸術に触れる機会が身近にある	58.3	50.0	26.0	32.5	26.0	29.6
19	町民が気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている	45.8	40.0	35.6	38.6	27.6	39.7
20	イベント等の異文化交流が活発に行われている	54.2	40.0	41.1	37.4	30.1	30.8
21	小山町は企業誘致を活発に進めている	60.4	42.5	60.3	57.8	62.6	61.5
22	買い物に不便がないと感じる	16.7	25.0	15.1	14.5	16.3	22.5
23	小山町が観光客でにぎわっている	25.0	27.5	19.2	13.3	10.6	7.1
24	普段から地元の農作物を食べようと心がけている	41.7	45.0	57.5	56.6	63.4	68.6

25	樹木の伐採や植林により、森林が適切に管理されている	56.3	50.0	38.4	16.9	21.1	25.5
26	町内の自然環境が適切に保全されている	72.9	52.5	53.4	42.2	33.3	27.8
27	清らかで豊かな水資源が守られている	85.4	70.0	80.8	68.7	65.0	65.7
28	小山町は環境にやさしい設備や機器の導入など地球温暖化に取り組んでいる	41.7	22.5	31.5	22.9	21.1	31.4
29	普段から3R(ごみの減量化や再利用、再資源化)に取り組んでいる	62.5	52.5	61.7	66.3	67.5	76.3
30	公共交通が必要な時に利用できる	22.9	17.5	12.3	13.3	14.6	24.3
31	安全な水道水が安定供給されている	89.6	80.0	91.8	89.2	82.9	90.5
32	汚水下水が適切に処理されている	83.3	75.0	69.9	69.9	60.2	60.9
33	安全に通行できる道路が整備されている	70.8	52.5	49.3	53.0	40.7	48.5
34	利便性が高い道路網が整備されている	56.3	45.0	42.5	39.8	42.3	46.7
35	小山町は、地域特性を活かしたまちづくりを行っている	54.2	32.5	41.1	33.7	30.1	35.5
36	富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しい景観となっている	83.3	77.5	82.2	71.1	69.1	68.6
37	小山町には愛着・親しみを持てる公園・緑地がある	56.3	50.0	48.0	39.8	35.8	44.4
38	住んでいる地域に良好な住環境が整っている	68.8	45.0	53.4	38.6	37.4	39.7
39	町職員の窓口対応及び各種対応に満足している	62.5	52.5	45.2	49.4	48.8	58.0
40	小山町は、町民目線に立ち効果的・効率的な行政運営を行っている	50.0	40.0	34.3	31.3	28.5	39.6
41	無線放送等により、自衛隊の演習や野焼き等の情報が正確に伝わっている	75.0	55.0	76.7	74.7	78.9	83.4
42	小山町は、民間企業や団体と連携して、地域の課題解決やサービスの向上に取り組んでいる	52.1	37.5	42.5	22.9	30.1	39.1
43	町民がまちづくりに参加できるような機会や仕組みがある	56.3	37.5	39.7	30.1	31.7	34.9
44	町民が様々な地域活動、自治会活動、防災活動、お祭りなどのイベント等に参加している	77.1	65.0	68.5	42.2	45.5	47.3
45	町からの必要な情報が適切に伝わっている	64.6	47.5	50.7	48.2	53.7	62.7
	平均満足度・取組度	62.2	49.6	50.7	44.6	43.0	48.3

Ⅲ 自由意見

ご回答いただいた自由意見を政策ごとに仕分けし、分類を行いました。

※1人で複数意見の場合は、分けて記載しています。

自由意見一覧

■ 基本目標1:安全・安心なまち【防災・防犯・町民生活】

意見	件数
道路安全対策(信号・看板・ガードレール等の設置)	6
警察による違法駐車取締や道路巡回の強化	2
情報発信の充実(無線放送・広報など)	2
災害に強い町への要望	1
すべての住民が住みやすい町となるための要望	1
空家の適正管理	1
町民への防災教育の充実	1

■ 基本目標2:健康で笑顔あふれるまち【子育て・福祉・健康】

意見カテゴリ	件数
診療所・病院の設置・医療体制の充実	8
町民の居場所(子育て世代・高齢者等)の設置	2
障害者の運動機会提供	1
保護司負担の軽減	1
教育費の助成	1
子育て支援の充実	1
性的少数者の人権の尊重	1
貧困対策の仕組みづくり	1
児童館の設置	1
犯罪被害者への社会全体のケアの充実	1
介護施設の費用負担軽減	1
生活維持のための補助金・現物の支給	1

■ 基本目標3:文化の薫るまち【教育・文化・スポーツ】

意見カテゴリ	件数
温水プール事業への疑問・反対・不安	19
児童・生徒の遊び場や居場所の設置	3
教師の質への疑問	2
増加している外国人住民への対応	2

スポーツ事業への助成	1
総合体育館の設備充実	1
生涯学習施設の植栽管理	1
文化遺産の保護	1
子どもとシニア世代の接点	1
地域イベントの実施	1
学校施設へのウォシュレット設置	1
学校の校則の見直し	1
命の大切さや世の中で役に立てる人間になれるような教育の実施	1

■ 基本目標4:活力あふれるまち【産業・経済】

意見カテゴリ	件数
買い物できる場所(スーパー・ドラッグストア等)の誘致	19
富士山や米などを活かした観光振興の強化	2
企業誘致の強化	2
町の PR	1

■ 基本目標5:富士山と共に生きるまち【環境】

意見カテゴリ	件数
自然環境の保護	3
町指定不燃ごみ袋の店舗販売	1
熊への対策	1
マダニ対策	1
生ごみ処理への補助金の要望	1
町の自然を生かしたまちづくり	1
捕獲した鳥獣等の有効活用	1

■ 基本目標6:便利で快適なまち【都市計画・都市基盤】

意見カテゴリ	件数
公共交通手段の充実・利便性の向上	13
町道等道路環境の整備	6
公園の整備・遊具等の充実	6
人口減少への対策	3
外資に対する土地の売却への反対・不安	2
交通渋滞対策	1

通学路整備	1
駅のバリアフリー化	1
水道管の取替	1
水道代の減額	1
公共工事への反対	1
県境への橋梁の整備	1
下水道の整備	1
駿河小山駅の場所の移転	1

■ 基本目標7:計画を推進するために【町政運営・協働】

意見カテゴリ	件数
町職員の対応への不満	6
町民意識調査の設問・選択肢への意見	5
町議会議員定数の削減	3
無線放送の改善	2
町役場の機能移転	2
町施策の発信の強化	2
御殿場市との合併	2
町民意識調査の実施方法への疑問・違和感	1
町議会運営に関する改善要望	1
町民負担の少ない施策の実施	1
デジタル環境の整備	1
支所機能の強化・改善	1
町職員の質向上・専門人材の採用	1
町全体でのイベントの実施	1
地域イベントの充実	1
町民が町政に参画できる場の設置	1
地域コミュニティの維持	1
自衛隊機の騒音	1
町職員の残業時間への指摘	1

自由意見の分析

自由意見についての分析として、ワードクラウドを用い、頻出単語(名詞)を抽出しました。

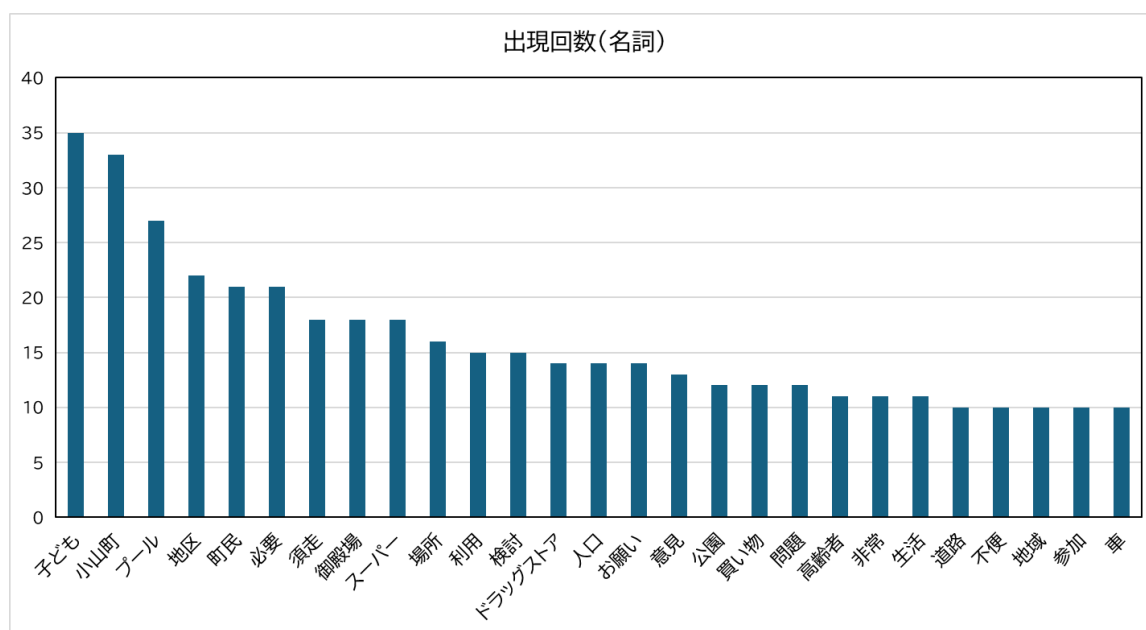
その結果、下図のようになり、「子ども(子供・こどもなど)」「小山町」「プール」「地区」「町民」が上位5項目です。このうち「小山町」「地区」「町民」などは、一般的に町に対する意見や自身の暮らす地区に対する意見を述べるときに用いられる言葉となっています。

最も多い「子ども」については、町の子育て支援や教育に関する意見、「公園」といった子どものあそび場に関する意見、同じくランクインしている「高齢者」「人口」等に関連しての少子高齢化、人口減少に対する課題感など、幅広い意見がみられます。

また、3番目に多い「プール」に関しては、町営温水プール整備事業に関する具体的意見となっています。プールに紐づく意見の趣旨としては反対が高くなっているほか、住民投票の提案などの意見もあります。

また、「スーパー」、「ドラッグストア」、「買い物」、「道路」、「不便」、「車」といった単語からは、問7でも課題となっていた、社会生活を営むうえで重要となる買い物場所やインフラに対する課題が改めて浮き彫りとなったことが分かります。

「御殿場」については、町と隣接する御殿場市と比較しての意見が高く、＜小山町には●●が不足していて御殿場市にはある＞＜御殿場市にしかない＞といった文脈で用いられています。



※10単語以上出現した単語を抽出

なお、それぞれの単語の共起キーワード分析や階層別クラスタリングについて実施しましたが、語数が少なく正確なデータが得られなかったことから、掲載しません。